

令和2年度第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会

日 時：令和3年2月8日（月）14時から16時
開催方法：Web会議システムによるオンライン開催

【次 第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
れんけいこうち広域都市圏ビジョンの改訂について

【配付資料】

資料1	ビジョンのPDCAサイクル及び令和2年度における主な会議の実施状況
資料2-1	れんけいこうち広域都市圏ビジョンの進捗状況について
資料2-2	令和2年度連携事業進捗状況一覧
資料3	事業KPIの達成状況について（令和2年12月末現在）
資料4-1	事業内容及びKPIの見直し（中間年度検証・新型コロナ対応）
資料4-2	事業内容の見直し一覧
資料4-3	KPIの見直し一覧
資料5	令和2年度末ビジョン改訂のポイント
資料6	令和3年度連携事業一覧
資料7-1	改訂ビジョン（案）
資料7-2	ビジョンの主な改訂内容（新旧対照表）
参考資料Ⅰ	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会委員名簿
参考資料Ⅱ	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会設置要綱



令和2年度 第2回 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会資料

令和3年2月8日 高知市総務部市長公室政策企画課



伝統産業推進事業



【新】体験型地域資源開発・活用事業



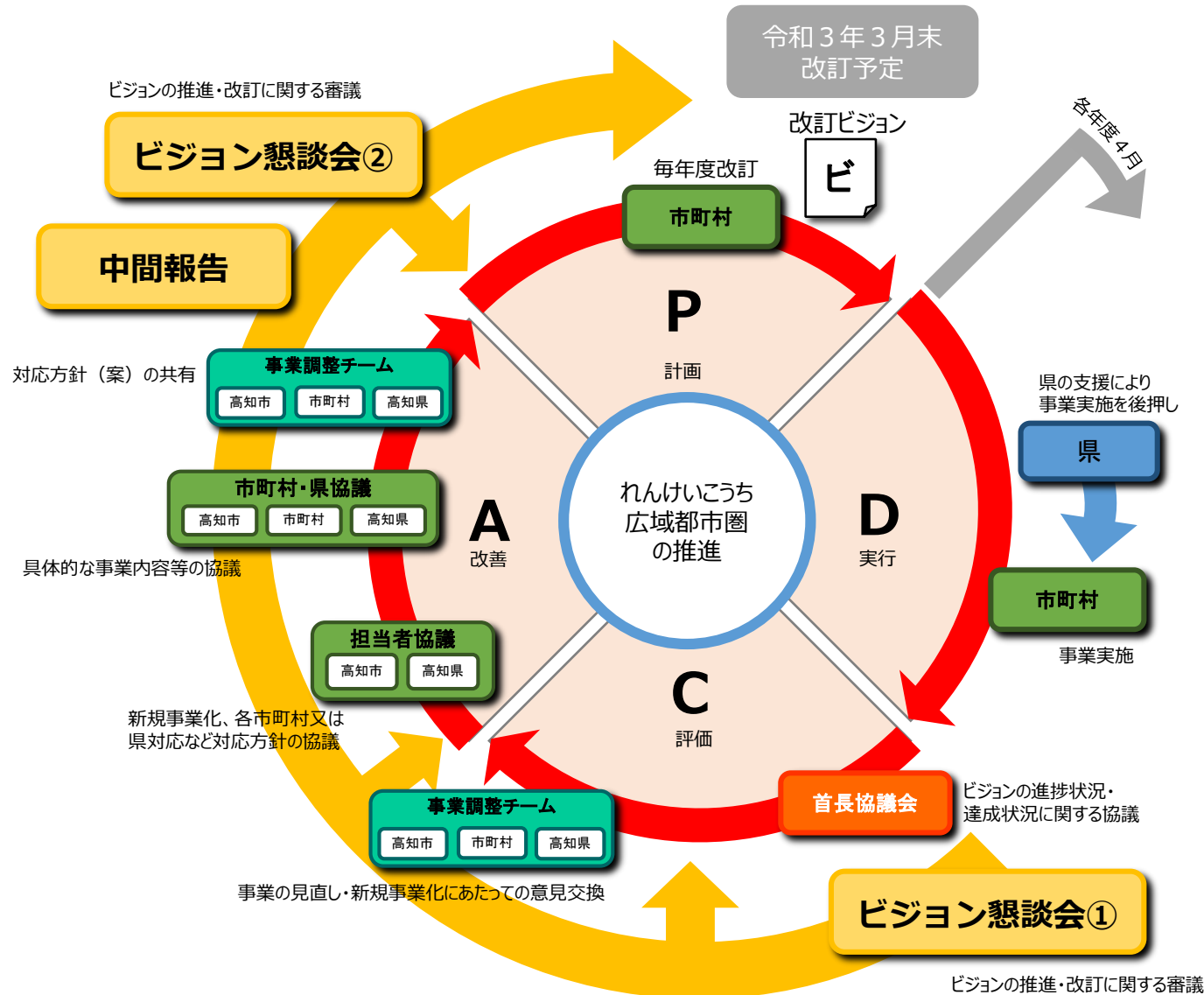
二段階移住 P R 事業

目次

資料 1	ビジョンのPDCAサイクル及び令和 2 年度における主な会議の実施状況	1 ページ
資料 2 - 1	れんけいこうち広域都市圏ビジョンの進捗状況について （1）令和 2 年度連携事業の進捗状況 （2）令和 2 年度連携事業の進捗状況（新型コロナウイルスの影響）	2 ページ
資料 2 - 2	令和 2 年度連携事業進捗状況一覧	6 ページ
資料 3	事業KPIの達成状況について（令和 2 年12月末現在）	10ページ
資料 4 - 1	事業内容及びKPIの見直し（中間年度検証・新型コロナ対応）	12ページ
資料 4 - 2	事業内容の見直し一覧	14ページ
資料 4 - 3	KPIの見直し一覧	16ページ
資料 5	令和 2 年度末ビジョン改訂のポイント	18ページ
資料 6	令和 3 年度連携事業一覧	20ページ
資料 7 - 1	改訂ビジョン（案）	別冊
資料 7 - 2	ビジョンの主な改訂内容（新旧対照表）	別冊

ビジョンのPDCAサイクル及び令和2年度における主な会議の実施状況

- 左図は、ビジョン推進スケジュールの基本パターンであり、会議開催及び時期等については、各種会議の検討状況・事業の実施状況により適宜変更する。
- 右図は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた令和2年度における「れんけいこうち広域都市圏ビジョンの推進体制における主な会議の実施状況」である。



時期	新型コロナウイルス対策の状況	主な会議の実施状況
4月	4/16 全都道府県において、緊急事態宣言の発表（※当初、5/4までとされていた期間は、5/31まで延長）	■ 令和2年度第1回 れんけいこうち広域都市圏市町村担当者会議 ⇒ 中止
5月	5/25 全都道府県において、緊急事態宣言の解除 5/26 高知県から、国の方針決定を踏まえた対応の発表、他県との往来自粛の段階的な解除等	
6月		
7月	7/22 GoToトラベルの実施 ※東京都は9/18~	■ 令和2年度第1回 れんけいこうち広域都市圏推進会議 ⇒ 書面形式での開催
8月		■ 令和2年度第1回 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会 ⇒ 対面形式での開催（市町村等はオンラインにて参加） ■ 令和2年度第1回 れんけいこうち広域都市圏事業調整チーム会議 ⇒ オンライン形式での開催
9月		
10月		■ 令和2年度第2回 れんけいこうち広域都市圏市町村担当者会議 ⇒ 対面形式での開催
11月	11/23 全国知事会において、「第3波」の警戒宣言	
12月	12/9 高知県の感染レベルが「特別警戒」に引き上げ 12/28 GoToトラベルの一時停止	■ 令和2年度第2回 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会の中間報告 ⇒ 資料送付
1月	1/7 1都3県において、緊急事態宣言の発表（2/7まで） 1/13 7府県において、緊急事態宣言の発表（2/7まで）	■ 令和2年度第2回 れんけいこうち広域都市圏事業調整チーム会議 ⇒ オンライン形式での開催
2月		■ 令和2年度第2回 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会 ⇒ オンラインで開催

(1) 令和2年度連携事業の進捗状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大し、多くのイベント等が中止・延期を余儀なくされた。これにより特に医療分野・経済分野は危機的状況に陥っており、緊急かつ有効な支援が求められている。地場産品販路拡大推進事業では、新型コロナウイルス感染症拡大初期から即座に「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」と称して経済対策掲示板を立ち上げ、感染状況を見ながらマーケットを利用しての販売を開催する等、継続的な事業者支援を図ってきた。れんけい事業においても多くの事業が中止・延期となったが、ウズコロナ・アフターコロナの視点により各事業の手法等をブラッシュアップすることで、徐々にではあるが各事業の活動を再開、あるいは新たな取組を模索し、人口減少の大きな波に打ち克つことのできる圏域を目指す。

① 圏域全体の経済成長のけん引

地場産品の販路拡大（地場産品販路拡大推進事業）

● グルメ&ダイニングスタイルショー秋2020への出展（3回目）

日時：令和2年10月7日（水）～9日（金）の3日間 会場：東京ビッグサイト
出展：22事業者 内訳：高知市内13事業者・連携市町村9事業者

（土佐清水市・越知町・大豊町・いの町・北川村・宿毛市・仁淀川町・日高村・南国市）

● 新製品コンテスト

機能素材（株）の「パンおいしいまま」がキッチン&ダイニンググッズ部門において大賞を受賞



● ビジネスマッチング in Gift show

18事業者43件のマッチングが成立し、商談を実施

● 出展事業者の声

来場者は少なかったが、その分ゆっくり話げできた。
冷やかしの来場者が少なく、本気で商品を探しに来ているバイヤーが多かった。

● 事業の必要性

募集数（25事業者）に対し、32事業者が応募。昨年度出展事業者の65%がリピート応募。展示会後のアンケートでは、20事業者が次回の出展を希望。
⇒こうちプレミアムのブランドイメージを維持しつつ、食品加工品以外の事業者の出展等、多彩な特色を持ったブースへの進化を目指す。

● 「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」



● TSUNAGU掲示板

・コロナの影響により売り上げの低迷や過剰在庫等の課題に直面している圏域の農水産物生産者、加工品製造事業者等の情報を、高知市ホームページにて掲示し、事業者と消費者等をつなぐ取組を実施。（掲載事業者数：120事業者）

● TSUNAGUマーケット（6/13～6/14、6/21、6/28、7/3～7/4、7/26、11/22）

・掲示板の派生事業として、スーパーマーケットやホームセンター、日曜市等で「TSUNAGUマーケット」を開催。テイクアウトを中心として、事業者の販路拡大・売上確保を支援。
・事業者数累計：35事業者、売上累計：1,420千円（税込）

● 地産地消マーケット テイクアウトフェスタ（10/3～10/4 @高知市中央公園）

・県内の農産物生産者・加工品製造事業者等の出店による加工品やテイクアウト商品を中心としたマーケットを開催。（県内の38事業者が出店）
・高知民放テレビ三局共同企業体による運営。
・2日間の動員は1.4万人、売上は約6,300千円。

事業者の販売支援（圏域事業者販売等支援事業）

● アグリコレットでの販売支援

高知市北御座「とさのさと アグリコレット」のセレクトショップ内に「れんけいブース」を設置することにより、地場産品の展示・販売の場を確保し、運営事業者と協力しながら事業者の販売支援・商品力向上支援を実施。

● れんけいブースでの販売支援

月	売上金額	売上台数
4月	1,879千円	3,502
5月	2,098千円	4,041
6月	2,732千円	5,227
7月	4,134千円	8,358
8月	4,425千円	8,194
9月	3,854千円	7,771
10月	4,538千円	8,534
11月	4,705千円	8,692
12月	5,389千円	10,115
12月末計	33,754千円	64,434

● マーケティング支援

サポート内容	支援件数
表示・パッケージ	8
衛生	1
店頭販売	22
試食販売	1
販売方法	5
量目・価格変更	4
納品方法（流通）	1
商品絞り込み	0
コロナ対策	16
製品企画書	0
限定販売	2
新商品	10
12月末計	70

● イベント開催

【ゆすはらフェア】

主催：梶原町
期日：R2.10/17～10/18

【黒潮町PRブース】

主催：黒潮町
期日：R2.7/1～12/31

【大月・三原のごちそうマルシェ】

主催：大月町・三原村
期日：R2.11/21～11/22

伝統工芸品等の販売支援（伝統産業推進事業）

● 小学館とのタイアップ通販冊子の作成



株式会社小学館が毎月発行しているライフスタイル情報誌「サライ」と高知市のタイアップ企画として、高知県内の魅力ある伝統的産品が購入できる通販冊子「メイド・イン高知の逸品35」を発行

発売日：令和2年12月9日（水）※全国の書店等で販売

掲載産品：土佐和紙、土佐打刃物、フラフ、宝石珊瑚、土佐硯等 計9品目35種類掲載

購入申込締切：令和3年2月26日（金）

販売実績：受注数199点、受注額4,814千円

（令和3年1月12日現在）

フラフ、珊瑚、刃物、和紙、硯、竹細工、焼き物、塗り物 など

WEBでも販売



※ターゲット像を把握するため、読者アンケートを同梱。令和3年度に分析し、今後の展開を検討する。

① 圏域全体の経済成長のけん引（続き）

二段階移住の推進（二段階移住PR事業）

● 県外での相談会

令和3年1月24日に予定していた大阪での幡多地域6市町村による二段階移住相談会「ハタカラ」は、コロナの影響により開催延期（R3.3月開催予定）

● PR動画の配信等

PR動画「#田舎暮らしは甘くない」が、優れた地方のCMやPR動画に贈られる「ぐろ〜かるCM大賞」を受賞

● WEB広告配信

ヤフー・グーグル・フェイスブック 配信期間：R3.3月予定



インバウンド観光・国内観光の推進（インバウンド観光推進事業）

● 映像等によるデジタルコンテンツを活用した効果的な観光PR NEW

圏域の取組を広く周知・PRするにあたっては映像等によるデジタルコンテンツの活用が重視されることなどから、映像コンテンツによるPRを積極的に活用していく。

仁淀川エリア（土佐市・いの町・仁淀川町・佐川町・越知町・日高村）にて、エリアの魅力をPRするデジタルコンテンツ（動画）を作成し、県内のみならず、全国に向けたプロモーション展開を準備中。また、海外プロモーション用の外国語版も作成する。

③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

おんぱく手法を活用した体験型イベントの実施 （体験型地域資源開発・活用事業） NEW

● 体験型地域資源開発・活用事業の実施

地域の資源（自然・文化・食や、事業者・住民の技術等）をコンテンツ化する方法を地域住民が習得・実践する機会（セミナー・ワークショップ等）を提供し、体験型のイベント等の実施により、地域振興及び交流人口拡大を目指す事業を令和2年度から開始

佐川町：「わんさかわっしょい体験博2020」

1/16~2/28

土佐町：「とさんぼ」3月実施予定

津野町：「つのつねづね」3月実施予定



● 高知市広報紙「あかるいまち」に掲載

1月号 佐川町

2月号 土佐町

3月号 津野町（予定）

※イベント開催にあたっては、実施主体となる市町村でのPRのみならず、圏域内他市町村のホームページや広報紙でのPR協力を依頼

『災害に強い人』の育成による地域の防災力の強化 （防災リーダー育成事業）

● 「防災人づくり塾」の開催

日時：令和3年1月24日（日）13~17時

会場：本会場 高知市総合あんしんセンター
サテライト会場 宿毛市：宿毛文教センター
越知町：越知町民会館
四万十町：四万十町役場

定員：本会場 160人
サテライト会場 各会場30人程度

講座内容：

- ・巨大地震の教訓と備え（高知大学 原忠氏）
- ・南海地震に備える～地震の仕組みと想定される被害～（高知大学 松岡裕美氏）
- ・災害から命を守る（高知市防災政策課）

② 高次の都市機能の集積・強化

高次の理科学習・体験機会の提供 （高知みらい科学館機能の強化）

● 科学館理科学習の実施

市町村教育委員会の所管する学校等の小4・中1を対象に、高知みらい科学館においてプラネタリウム、デジタル地球儀等を活用した理科学習を実施

参加実績：63校3,448人

● 出前教室の実施

新たに移動式プラネタリウムを導入し、出前で理科学習を実施

参加実績：10校407人



● 科学体験展示の実施

展示物を市町村立図書館等に展示し、住民に科学体験機会を提供

展示物：6種類@12施設

情報発信及び市町村間コミュニケーションの強化 （ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発）

● 情報発信の強化

高知市ホームページ内「れんけいこうち広域都市圏の取組」ページにおいて、連携市町村の希望により市町村イベント等を掲載していたが、掲載希望がない場合でも、圏域の活性化に寄与と思われるイベント等を高知市の判断で掲載することとし、情報発信を強化

令和2年度掲載件数 29件
（12月31日までに掲載を開始したもの）

● 市町村間コミュニケーションの強化

高知県の「こうちぎょうせいネット」を活用し、全てのれんけい事業の市町村担当者名簿を共有。市町村担当者同士のコミュニケーションの円滑化及び市町村からの情報発信・情報共有の環境を整備

れんけいこうち広域都市圏ビジョンの進捗状況について

(2) 令和2年度連携事業の実施状況（新型コロナウイルスの影響）

事業名称	各事業の内容	前回懇談会時点での実施状況
れんけいこうち広域都市圏ビジョン懇談会及びれんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営	れんけいこうち広域都市圏推進会議（首長会議）	書面
	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会（ビジョン懇談会）	通常
	市町村担当者会議	中止
統計データ活用事業	基礎研修会 I II	延期
	R E S A S 研修	
	K O C H I 統計データラボの運営（応用学習会）	
日曜日出店事業	日曜日輪番出店	通常
	日曜日れんけい小間スタンプラリー	延期
地場産品販路拡大推進事業	バイヤー招聘型商談会の共同開催	未定
	グルメ&ダイニングスタイルショー	通常
	ビジネスフェア中四国	未定
	首都圏でのアンテナショップ出店（東京都まるごとにつぼん）	通常
圏域事業者販売等支援事業	れんけいブースでの地域産品等の展示・販売	通常
	市町村による P R イベント	未定
伝統産業推進事業	伝統産品カタログへの情報掲載及び販売	通常
6次産業化推進事業	農商工連携（6次産業化）マッチングセミナー	中止
大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知市から連携市町村への無料バス等の運行	中止
広域観光推進事業	旅行商品の造成	通常
	共同観光プロモーション	未定
インバウンド観光推進事業	観光案内所の運営	通常
	市町村と連携した観光 P R	未定
人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応	A I を活用した観光案内システムの運用	通常
空き店舗等情報発信事業	ウェブサイト「こうち創業 v i l l a g e」の運営	通常
二段階移住 P R 事業	二段階移住プロモーション活動	通常
	県外での相談会・交流会	未定
二段階移住推進事業	二段階移住補助、お試し滞在施設の運営	通常



R2年度末時点での実施状況見込み	備考
書面	
通常・オンライン	第1回通常、第2回オンライン
中止・通常	4月中止、10月通常開催
オンライン	基礎研修会 II のみオンラインで実施予定
オンライン	
中止	
通常	
中止	
中止	
通常	
中止	
終了	R2.11月まるごとにつぼん閉館
通常	
通常	
通常	
中止	
中止	
通常	
中止	
通常	
通常	
通常	
通常	
通常	
通常・オンライン	R3.1月に予定していた移住相談会「ハタカラ」（@大阪/一部オンライン）は延期（R3.3月開催予定）
通常	

(2) 令和2年度連携事業の実施状況（新型コロナウイルスの影響）（続き）

事業名称	各事業の内容	前回懇談会時点での実施状況
新高知赤十字病院への支援	津波長期浸水エリア外への移転支援	通常
高知みらい科学館機能の強化	科学館理科学習	通常
	出前教室	
	科学体験展示	
子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）	ファミサポの設置・運営に関するノウハウ等の提供・共有	通常
	講習会の広域受講による資格取得機会の拡大	未定
新規就農者の確保	市町村合同就農相談会	中止
防災リーダー育成事業	防災人づくり塾（県内4会場）※サテライトを含む	延期
水道事業広域実施（人材育成等）	新任研修	延期
	技術研修	未定
職員交流による連携強化と能力向上	高知市職員研修への他市町村職員の参加	未定
ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発	れんけい特設ページの運営	通常



R2年度末時点での実施状況見込み	備考
通常	
通常	
通常	
通常	
中止	
通常	
通常	
通常	
通常	
通常	

令和2年度連携事業進捗状況一覧

資料2-2

令和2年12月31日現在

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和2年度取組予定	令和2年度取組状況 (■：実績 □：予定)
ア 圏域 全体 の 経済 成長 の けん 引	20-1	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及びれんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営	ビジョンの進捗管理や広域的な課題の共有、解決に向けた協議を行うとともに、取組成果の検証やビジョンの見直し作業を適宜実施するため、各種会議を開催する。	れんけいこうち広域都市圏推進会議開催	■れんけいこうち広域都市圏推進会議開催 (7/22) ※書面開催
				れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会開催	■第1回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会開催 (8/5) □第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会開催 (2/8)
				担当者会議開催	■担当者会議 (10/5~10/9、10/12、10/16、10/19~10/23) ・事業の進捗状況の共有、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた事業内容及びKPIの見直し案等の協議を実施 ※4月の担当者会議はコロナの影響で中止
	20-2	統計データ活用事業	各市町村の職員を対象とした基礎研修会を通じて、統計資料等のデータ活用の重要性を共有するとともにそれらを活用できる人材の育成を図る。 また、各種統計データの活用に関するプラットフォームとしての役割を担う研究会組織を設置し、広域エリアにわたり相乗効果を創出するような施策立案につなげる。	基礎研修会開催	□基礎研修会Ⅱ開催 (2/16、2/18、2/24) ・アンケート設計及び分析の基本を実習を交えて学習する研修 ・県内全市町村職員を対象にオンラインで開催 ■□RESAS研修会開催 (12/2、2/19) ・RESAS (地域経済分析システム) の活用方法を習得する研修 ・前半は高知市を除く県内市町村職員を対象にオンラインで開催 ・参加者数：8市町13人 ・後半は高知市職員を対象にオンラインで開催予定
				応用学習会開催	■開催内容の検討 (高知市・市町村・高知大学・高知県立大学)
				出店の輪番調整	■高知県産業振興推進各地域本部の協力により輪番調整 (随時)
	20-3	日曜日出店事業	日曜日の中に圏域市町村の出店スペース (れんけい小間) を設け、各市町村が輪番制で観光PRなどの情報発信や農産物・加工品等特産品の販売等を行う。また、出店市町村と連携しれんけい小間をPRするミニイベント等を行う。	出店	■各市町村による出店 ・出店市町村数：24市町村 延べ開設数：103回 ・来客数：2,112人
				れんけい小間の周知・PR	実績なし ※7月、11月、2月にスタンプラリーを実施予定としていたが、コロナの影響で中止
				ギフトショー (グルメ&ダイニングスタイルショー) 出展	■第28回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2020出展 (10/7~10/9@東京ビッグサイト) ・10市町村22事業者出展 (内訳：高知市13、土佐清水市、越知町、大豊町、いの町、北川村、宿毛市、仁淀川町、日高村、南国市) ・出展者募集 (5/25~6/5)、出展者審査会 (6/15、6/25)、出展者説明会 (8/27) ・機能素材 (株) の「パンおいしいまま」が展示会内新製品コンテストのキッチン&ダイニンググッズ部門において、大賞を受賞 ・展示会終了3か月後・6か月後・12か月後に事業成果報告調査を実施 (3か月後調査実施中)
	20-4	地場産品販路拡大推進事業	バイヤーの多様なニーズに圏域で連携して対応できるよう圏域市町村のネットワークを構築する。 高知市が主催・出展する見本市等について、参加者要件を高知市内事業者から圏域全体に拡大し販路開拓等の機会を創出する。	ビジネスフェア中四国出展	実績なし ※9月~10月に事業者を募集し、2/12に広島市中小企業会館総合展示場にて4市町 (高知市、仁淀川町、南国市、土佐清水市) 9事業者が出展予定としていたが、コロナの影響で中止
				アンテナショップ (東京・まるごとっぽん) 出店	■まるごとっぽん出店 (4月~11月) ・販売商品応募数 (全期)：11市町村56品目 ・売上累計4,767千円 (税込) (うち、オンラインショップでの売上108千円) ※4/8~5/28の間は、コロナの影響により全館休館 ※11/23をもって、まるごとっぽんは閉館 ■「おすすめふるさと」におけるPR ・まるごとっぽん3階の観光物産PRコーナー「おすすめふるさと」にれんけいこうち広域都市圏ブースを設置し、圏域の約50商品を販売するとともに、観光・移住パンフレットを設置しPR

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和2年度取組予定	令和2年度取組状況 (■：実績 □：予定)
ア 圏域全体の 経済成長の けん引	20-4	(続き)		TSUNAGU「～高知家の底チカラ～」の運営	<ul style="list-style-type: none"> ■経済対策掲示板の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策として、売り上げの低迷や過剰在庫等の課題に直面している圏域の農水産物生産者、加工品製造事業者等の情報を、経済対策掲示板「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」に取りまとめて掲載し、継続した情報発信を実施 ・掲載事業者数：120事業者 ■TSUNAGUマーケットの開催（6/13～6/14、6/21、6/28、7/3～7/4、7/26、11/22） <ul style="list-style-type: none"> ・経済対策掲示板の派生事業として、TSUNAGUマーケットを開催、テイクアウトを中心として、事業者の販路拡大・売上確保を支援 ・事業者数累計：35事業者 ・売上累計：1,420千円（税込） ■地産地消マーケット・テイクアウトフェスタの開催（10/3～10/4） <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で大打撃を受けた県内の農産物生産者・加工品製造事業者の出店による、加工品やテイクアウト商品を中心としたマーケットを開催（県内の38事業者が出店） ・高知民放テレビ三局共同企業体による運営 ・2日間の動員は1.4万人、売上は約6,300千円
	20-5	圏域事業者販売等支援事業	JA高知県が整備する新たな複合施設「アグリコレット」において、高知市を訪れる県外観光客等をターゲットとした地場産品の展示・販売の場（「れんけいブース」）を確保し、事業者の販売支援・商品力向上及び連携市町村への周遊促進を図る。	販売促進・地域情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ■れんけいブースにおける販売促進・地域情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・29市町村 ・売上累計：33,754千円
				イベント開催	<ul style="list-style-type: none"> ■イベントブースにおける市町村PRイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆすはらフェア（梶原町・10/17～10/18） ・黒潮町PRブース（黒潮町・7/1～12/31） ・大月・三原のごちそうマルシェ（大月町・三原村・11/21～11/22）
				販路拡大支援・マーケティング支援	<ul style="list-style-type: none"> ■販路拡大支援 <ul style="list-style-type: none"> ・れんけいブース又はイベントスペース等での販売促進・地域情報発信 ■マーケティング支援 <ul style="list-style-type: none"> ・商品のデザインや表示、コロナ対策に関するアドバイスを実施 ・支援件数：70件
	20-6	伝統産業推進事業	伝統産業の強みを活かしたブランド力・知名度の向上、販路拡大に向けた支援を行うことにより伝統産業の振興を図る。	パンフレット作成・配布、ウェブサイト掲載	<ul style="list-style-type: none"> ■支援対象産品・事業者調整（4月、各市町村） ■パンフレット作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> ・14産品のべ56事業者・4卸業者（17市町村）の産品の特徴・作業工程等を掲載 ・主要観光施設等（34市町村）、高知龍馬空港、公立学校（高知市）等で配布 ■ウェブサイト運営 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統産品情報（産品別・市町村別）、後継者情報、イベント情報を掲載 ・市町村はそれぞれのHPにおいて高知市HPにリンク設定するほか、イベント情報や後継者募集情報を高知市に提供 ・サイト閲覧数：60,133ビュー
				タイアップ通販冊子の作成・販売	<ul style="list-style-type: none"> ■タイアップ通販冊子の作成・販売（12/9～2/26） <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社小学館が毎月発行しているライフスタイル情報誌「サライ」と高知市のタイアップ企画として、高知県内の魅力ある伝統的産品が購入できる通販冊子「メイド・イン高知の逸品35」の作成及び販売 ・掲載産品数：9品目35種類
	20-7	6次産業化推進事業	高知市が主催する農商工連携セミナーの参加者要件を高知市内事業者から圏域全体に拡大し、事業者の交流・マッチングの機会を創出・拡充することで、事業者間のコラボレーションによる新商品開発や販路開拓の促進を図る。	-	<ul style="list-style-type: none"> 実績なし ※予定していた6次産業化・農商工連携マッチングセミナーはコロナの影響を踏まえ中止
	20-8	大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知新港への大型客船等の誘致を進めるとともに、連携市町村の新たな観光資源の掘り起こしや磨き上げにより受入態勢を整備し、高知新港に大型客船等が寄港する際に、連携市町村へのシャトルバスを運行することで、乗船客等の圏域での周遊促進や、連携市町村の知名度向上及びリピーターの増加、地場産品の販路拡大等による地域経済の活性化及び観光振興、高知新港の寄港地としての魅力向上を図る。	高知新港でのPRイベント	<ul style="list-style-type: none"> □高知新港でのれんけいこうちPRイベント <ul style="list-style-type: none"> ・客船寄港の機会を有効に活用し、市町村の知名度向上や高知新港の魅力向上につながるようなPRイベントの実施を検討 ※コロナの影響により外国客船寄港自体がなく、シャトルバス運行による圏域周遊促進の実施はなし
20-9	観光客動態調査事業	携帯電話の位置情報ビッグデータを活用し、圏域市町村を訪れる観光客の移動軌跡調査・分析を行うことにより、観光エリアの特徴・課題を把握する。	令和4年度実施予定	同左	
20-10	広域観光推進事業	ビッグデータを活用した観光客動態調査を基に、ターゲット等に応じた効果的な商品開発やプロモーションを圏域市町村で連携して行う。また、必要に応じて観光資源や受入体制の整備を行っていく。	旅行商品造成	<ul style="list-style-type: none"> □商品造成 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度中に旅行商品9本を造成予定 	

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和2年度取組予定	令和2年度取組状況 (■：実績 □：予定)
ア 圏域 全体 の 経済 成長 の けん 引	20-11	インバウンド観光推進事業	外国人観光客に対応するため、外国語対応可能な観光案内所を高知市中心市街地に常設し、専任スタッフによる観光案内及び圏域市町村と連携した観光PR等を行い、周遊促進を図る。	観光案内所の運営	■案内所運営 ・利用・相談実績：21,373人・2,803人（うち外国人180人）
				観光PR等	■広域観光PR素材の活用 ・令和元年度に発行した広域観光ガイドブック「とさめぐり」を増刷し、各市町村で活用 ■観光PR ・TSUNAGUIイベントでの観光PRブース出店（10/3、10/4@高知市中央公園） ・飛鳥Ⅱ（客船）寄港時の特産品販売イベント（11/30）
	20-12	人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応	観光客の満足度及び回遊性向上のため、圏域の観光資源や交通情報、飲食等の情報を多言語で発信する、人工知能（AI）を活用した外国人向け観光案内システムを構築・運用する。	外国語観光案内システムの運用	■操作性・掲載情報等の課題改善（継続実施） ■システムへの観光情報提供（随時） ・観光情報の追加、FAQの更新等情報の充実 ・利用実績：348人（うち外国人46人）から4,990件の質問 ■システムの利用促進 ・チラシ配布追加（旅館ホテル、観光施設など）
	20-13	空き店舗等情報発信事業	圏域内の空き店舗情報及び自治体の支援策を共有し、出店希望者に対し一元的に情報提供することで、出店の促進を図る。	ウェブサイトの運用	■ウェブサイト「こうち創業Village」の運営 ・掲載情報収集（随時） ・主な掲載内容 ：空き店舗情報42件、支援制度高知県及び16市町村26件、チャレンジショップ 10市町村10件、セミナー情報等 毎月5件程度 ・サイト閲覧数：26,424ビュー □「創業者の声」ページの掲載 ・こうち創業Villageに、空き店舗を活用した新たな創業者に対してインタビューし、創業時の苦労や工夫点等、今後創業を考えている方や検討中の方にとって創業をイメージしやすいような情報を「創業者の声」として掲載予定
	20-14	二段階移住PR事業	高知市を拠点とした二段階移住を推進し、圏域全体への移住・定住の促進を図るために、大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象として、二段階移住のPRに取り組む。	既存の情報発信ツール等を活用した広報活動	■□主な広報活動 ・「TURNS×こうち」ハンドブックのリニューアル 発行時期：R3.3月予定 ・ウェブサイトの拡充・強化（オンライン相談窓口の開設（10月）・新コンテンツの開設） ・WEB広告配信 配信期間：R3.3月予定（ヤフー・グーグル・フェイスブック） ・サテライトサイト運営
				PR動画の発信等	■「#田舎暮らしは甘くない」をキーコンセプトにしたPR動画を発信 ・優れた地方のCMやPR動画に贈られる「ぐろ〜かるCM大賞」を受賞
				SNS（インスタグラム・フェイスブック等）を活用した情報発信	■写真共有アプリ「インスタグラム」において、参画できる市町村・県と連携投稿し、日ごとに交代でそれぞれの魅力や移住に関する画像等を情報発信 ・投稿者数：22市町村+県
				二段階移住をテーマとした県外での相談会	□幡多地域6市町村による二段階移住相談会「ハタカラ」開催予定（R3.3月@大阪） ・コロナの影響により、1/24から延期 ・市町村職員はオンラインで参加し、会場とリモートでつなぐ予定
	20-15	二段階移住推進事業	高知市を拠点とした二段階移住を推進し、圏域全体への移住・定住の促進を図るために、一段階目の高知市でのお試し移住補助・レンタカー補助、市町村のお試し滞在施設との相互利用、連携した相談体制の充実などに取り組む。	高知市へのお試し移住費用及び二段階移住先検討のためのレンタカー費用補助	■高知市の窓口における二段階移住相談実績：66件 ■補助金交付決定件数：18件 ・5組が二段階移住（移住先：南国市（2）、香美市、黒潮町、仁淀川町） ・対象者には「すてっぷ移住パスポート」を交付し、最低3市町村で移住相談を行っていただく ■連携市町村における移住相談対応（随時）
				お試し滞在施設の運営	■高知県職員住宅を活用して整備したこうちらいふ体験滞在拠点「いっく」の運営（H29年5月に1号室、H30年11月に2号室、R2年5月から3号室を開設） ・R2年度利用実績：6組（R元年度からの継続利用者1組は除く） ・利用者のうち2組が香美市・黒潮町へ二段階移住 ・稼働率：1号室92.7%（255日/275日）、2号室83.6%（230日/275日）、3号室81.7%（183日/224日） □「いっく」の環境整備 ・Wi-Fi環境の整備予定

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和2年度取組予定	令和2年度取組状況 (■：実績 □：予定)
イ 高次の都市機能の集積強化	20-16	新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院の津波長期浸水エリア外への移転を支援し、救急医療等の拠点機能を確保するとともに、南海トラフ地震発生時の県内の災害拠点病院としての機能を確保し、圏域全体が平時・災害時を問わず必要な医療サービスを受受できる環境の整備を図る。	補助金の交付	■補助金の交付 ・交付決定（令和元～令和10年度）
	20-17	高知みらい科学館機能の強化	圏域の児童・生徒等の科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を養い、次代を担う人材を養成するため、県内唯一の科学館である「高知みらい科学館」の機能を強化し、圏域の小中学校等を対象とした理科学習や出前教室、圏域住民を対象とした科学体験の機会の提供に取り組む。	科学館理科学習の実施	■高知みらい科学館における理科学習 ・小4及び中1を対象に、プラネタリウムやデジタル地球儀等を活用した理科学習を実施 ・実施時期：6～3月の平日（月曜日と学校の長期休業期間除く） ・利用実績：63校3,448人（高知市39校2,605人、連携市町村24校843人）
				出前教室の実施	■市町村における出前教室の実施（遠方市町村） ・市町村の希望に応じ、出前による理科学習・サイエンスショー等を実施 ・R2年度からは移動式プラネタリウムを導入し、複数校を1か所に集めて実施するよう変更 ・実施時期：5～3月の平日（月曜日と学校の長期休業期間除く） ・利用実績：10校407人
科学体験展示の実施	■市町村立図書館等における科学体験展示の実施 ・科学館の展示物を市町村立図書館等に展示し、住民に科学体験機会を提供 ・展示物：6種類@12施設				
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	20-18	子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）	連携市町村のファミリー・サポート・センター設置に向けた支援、市町村域を越えたサービスの提供及び援助会員養成講習会の開催等を行うことにより、圏域全体のサービスの質の向上を図りながら、子育て中の家庭への支援を拡充する。	ファミサポ設置市町村間における広域受講の検討	■広域受講を可能にするルールの調整 広域受講ルール調整の上受講済み市町村：南国市、いの町、香美市、仁淀川町
				ファミサポ設置・設置予定市町村との情報交換	■ファミサポ設置・設置予定市町村からの相談に対応：3市町村、延べ5回
	20-19	新規就農者の確保	高知市と連携市町村が合同で、就業相談会を高知県内で開催する。新規就農者及び研修受入農家等に対する助成、受入農家の交流促進・合同研修なども検討する。	-	実績なし ※予定していた市町村合同就業相談会はコロナの影響を踏まえ中止
	20-20	防災リーダー育成事業	圏域全体の防災力向上を図るため、高知市が開催する防災人づくり塾の参加者要件を高知市内在住・在勤者から圏域全体に拡大するとともに圏域内数か所にサテライト会場を設置し双方向による受講を可能とする。また、高知市会場の講座修了生等を対象に防災士資格取得を支援する。	防災人づくり塾サテライト実施	□防災人づくり塾サテライト実施（1/24） ・高知市会場から県内3会場（宿毛市、越知町、四万十町）に映像と音声リアルタイムで配信 ・参加者募集（12/18～1/15） ・定員160人 ※コロナの影響により6～8月に予定していた塾は中止 ※1/24に規模を縮小して開催、修了は防災士資格取得要件とはならない
	20-21	水道事業広域実施（人材育成等）	水道事業の知識や技術の継承及び災害時対応について、高知市が行う水道事業実務研修の対象者を圏域全体に拡大することで効率的な人材育成に努める。また、圏域市町村での情報の共有・統一化等により業務の効率化を図る。	職員研修（実務講習等）の実施	■研修計画の共有 ■新任者研修（7/7） ・参加者数：10市町村15人 ※コロナの影響により施設（浄水場・水再生センター）見学は中止 ■技術研修（12/3） ・参加者数：8市町村13人
水道事業関連の申請書類等の様式統一化				■課題等の現状分析（10/21～11/20） ・様式統一化に関する意見を集約	
20-22	職員交流による連携強化と能力向上	連携市町村から高知市へ派遣職員の受入及び交流派遣や、高知市職員研修への参加機会の提供等により職員の能力向上を図る。また、共通した行政課題について圏域市町村間での情報交換を行うほか、相互連携が可能な事業については共同して事業を実施する。	高知市職員研修への連携市町村職員の参加	■手話研修（実技1回目：6/3～8/19で10回、実技2回目：10/7～12/9で10回、入門研修：9/3） ・参加者数：5人 ・研修の開催情報等はこうちぎょうせいネットに掲載し周知 ■防災士養成研修（11/25、11/26） ・コロナの影響により連携市町村職員の参加はなし	
			情報交換（随時）	■共通した行政課題について市町村間で適宜情報交換を行う	
20-23	ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発	連携事業の効果の最大化を図るため、ウェブサイトを活用し、圏域内の住民等に広報を行う。また、市町村担当者間の情報共有や意見交換の効率化を図る。	ウェブサイトの運用	■圏域の取組等に関する情報発信ページを高知市HP内に公開 ・圏域市町村イベント等の掲載：29件（令和2年度累計新規掲載数） ・サイト閲覧数：3,035ビュー	

事業KPIの達成状況について (R2実績値はR2.12月末現在の値)

資料3

事業名称	指標	目標値		実績値		見直し案	
		R4	R2	達成率	確定	R4	■ 目標値に関する事項 □ その他参考事項
れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及びれんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営	懇談会の開催回数	3回/年	1	33.3%			□ R3.2月に第2回開催
	推進会議の開催回数	1回/年	1	100.0%	○		
	【移動】ウェブサイトの閲覧件数	4,800ビュー/年	3,035	63.2%			■ 「ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発」との統合によるKPI移動
統計データ活用事業	研修会への参加者数	累計340人	264	77.6%			□ R2年度上半期はコロナの影響により中止。下半期よりオンライン形式で再開
	応用学習会への参加市町村数	22市町村/年	0	0.0%			□ R2年度上半期はコロナの影響により中止。下半期よりオンライン形式で再開も、応用学習会の開催は未定（基礎研修会等の比較的難易度の低い研修を優先）
日曜市出店事業	「れんけい小間」延べ開設数	300回/年	103	34.3%			□ コロナの影響により実績減も、回復傾向により据え置き
	「れんけい小間」への来客数	24,000人/年	2,112	8.8%			□ コロナの影響により実績減も、回復傾向により据え置き
地場産品販路拡大推進事業	見本市等における商談成立件数	75件/年	-	-			□ 事業成果について調査中
	見本市等における参加事業者数	30事業者/年	31	103.3%	○		
	まるとごにつぼんにおける年間販売額	800万円/年	477	59.6%	○	KPI削除	■ R2.11月のまるとごにつぼん閉館に伴いKPI削除 ■ 首都圏以外も視野に入れた新たな出店先検討中 → 新たなKPIを検討予定
	まるとごにつぼんにおけるパンフレット配布部数	3,000部/年	1,550	51.7%	○		
圏域事業者販売等支援事業	「れんけいブース」における年間販売額	3,200万円/年	3,375	105.5%			■ コロナ禍での実績のため、据え置き。次回改訂時を別途に検討。
	「れんけいブース」における事業者支援件数	36件/年	70	194.4%			■ 法改正対応、コロナ対応等特殊要因があったため据え置き。次回改訂時を別途に検討。
伝統産業推進事業	パンフレット配布部数	5,200部/年	641	12.3%			■ パンフレット読者へのアンケートを実施 → 対象者像に応じた効果的なPR手法を検討し、次年度以降KPIについても併せて検討予定
	ウェブサイト閲覧数	36,000ビュー/年	60,133	167.0%		63,000ビュー/年	■ 実績を基に上方修正
6次産業化推進事業	マッチングセミナーへの参加事業者数	50事業者/年	0	0.0%	○		□ コロナの影響により実績なし
大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知新港への大型客船寄港回数	100回/年	2	2.0%			□ コロナの影響により客船寄港は邦船の2回のみ ■ 岸壁での新たなPRイベント実施を検討 → 次年度以降KPIについても併せて検討予定
	無料バス運行地域数	6地域/年	0	0.0%	○		■ 外国人観光客の渡航規制緩和（東京オリンピック開催予定）を見据え、既存KPIは据え置き
	無料バス乗客数	180人/年	0	0.0%	○		■ 寄港回数の目標値については、県計画との整合性を図りながら、次回改訂時を別途に検討
観光客動態調査事業	動態調査地点数	120地点/年	-	-		KPI削除	■ 「広域観光推進事業」との統合により事業削除（KPIも削除）
広域観光推進事業	新規周遊観光商品数	3本/年	0	0.0%			□ R2年度中に9本の商品造成予定
	【新】旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品掲載数	-	-	-		30本/年	■ 新規KPIとして設定。造成商品は必ずしも収益目的ではなく、比較的知名度の低い観光資源PRも目的としており、消費者の目についた実績を把握するための指標として新たに設定。
インバウンド観光推進事業	観光案内所の外国人利用者数	3,370人/年	180	5.3%			□ コロナの影響により外国人観光客減 ■ インバウンド観光の回復状況を踏まえながら、次回改訂時を別途に検討
人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応	外国人観光客のシステム利用者数	3,662人/年	46	1.3%			□ コロナの影響により外国人観光客減 ■ インバウンド観光の回復状況及びAIシステムの検討状況を踏まえながら、次回改訂時を別途に検討

事業KPIの達成状況について (R2実績値はR2.12月末現在の値)

事業名称	指標	目標値	実績値			見直し案	
		R4	R2	達成率	確定	R4	■ 目標値に関する事項 □ その他参考事項
空き店舗等情報発信事業	ホームページの閲覧数	42,000ビュー/年	26,424	62.9%			
三段階移住PR事業	ポータルサイト閲覧数	累計195,000ビュー	145,683	74.7%		KPI削除	■ 「二段階移住推進事業」との統合により事業削除 ■ ポータルサイトや動画配信を基にした幅広い事業PRは一定の成果を得たため、PR活動は引き続き行うものの、次のフェーズ（「PRによる認知度向上」から「新規相談件数の増加」へ）を見据えKPIを削除
	イメージ動画閲覧数	累計214,000ビュー	210,079	98.2%			
二段階移住推進事業	【新】 二段階移住新規相談件数	-	-	-		累計490件	■ ポータルサイトや動画配信を基にした幅広い事業PRは一定の成果を得たため、PR活動は引き続き行うものの、次のフェーズ（「PRによる認知度向上」から「新規相談件数の増加」へ）を見据え新たな指標を設定 (見直し案 = H30・R元実績 + R2見込 + R3・R4目標)
	二段階移住パスポート発行部数	累計450部	83	18.4%		累計185部	■ 二段階移住は先進的な取組として開始しており、より適正な目標値に再設定 (見直し案 = H30・R元実績 + R2見込 + R3・R4目標)
	二段階移住組数	累計150組	16	10.7%		累計60組	
新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院から圏域内への助産師派遣回数	36回/年	6	16.7%			□ コロナの影響により実績減
高知みらい科学館機能の強化	理科学習の実施校数	100校/年	63	63.0%			□ コロナの影響（休校等）により実績減
	理科学習の受講児童生徒数	5,700人/年	3,448	60.5%			
	出前教室の実施校数	40校/年	10	25.0%			
	出前教室の受講児童生徒数	800人/年	407	50.9%			
	科学体験展示実施延べ市町村数	16市町村/年	9	56.3%			
子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）	ファミサポ設置に向けた検討等について高知市が関わった（相談等含む）市町村数	累計12市町村	9	75.0%			
	講習会への広域受講市町村数	累計12市町村	4	33.3%			
	広域利用に向けた検討等について高知市が関わった（相談等含む）市町村数	累計12市町村	1	8.3%			
	情報交換・情報共有した市町村数	累計33市町村	33	100.0%	○		■ 33が最大値であるため据え置き
新規就農者の確保	相談会での個別相談件数	累計150件	18	12.0%	○		□ コロナの影響によりR2年度は実績なし ■ 事業変更・改善の検討、令和3年度実績を踏まえ、次回改訂時を別途に検討
防災リーダー育成事業	防災人づくり塾修了者数	累計1,050人	423	40.3%			□ コロナの影響によりR2年度上半期は実績なし、R3年1月に実施予定 ■ 研修方法の検討状況、令和3年度実績を踏まえ、次回改訂時を別途に検討
水道事業広域実施（人材育成等）	高知市職員研修への参加者数	累計80人	99	123.7%	○	累計127人	■ 実績を基に上方修正（R2年度実績の半数が参加すると仮定）
職員交流による連携強化と能力向上	高知市への派遣職員数	6人/年	0	0%	○		
	高知市職員研修への参加者数	50人/年	5	10.0%			□ コロナの影響により実績減
	防災士資格取得者数	10人/年	0	0.0%	○		□ コロナの影響により実績減（コロナ対策の人数制限によるもの）
ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発	ウェブサイトの閲覧数	4,800ビュー/年	3,035	63.2%			■ 「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及びれんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営」との統合により事業削除⇒KPI移動
【新】 体験型地域資源開発・活用事業	実施プログラム数	累計300件	0	0.0%			□ R2年度途中からの新規事業
	イベント実施エリア外からの参加割合	70%/年	0	0.0%			

見直しにあたっての経緯・ポイント

■ビジョン開始3年目（R2年度）にKPIを検証

- ・ビジョンの計画期間の中間年度（3年目）にあたるR2年度に、これまでの実績を基にして、圏域で取り組んでいる全事業についてKPIの検証を行う。
- ・分野KPIは、関連する県策定の計画指標等に基づき改訂する。

■R2年度第1回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会でいただいたご意見に基づき事業内容等を見直し

- ・ウィズコロナ・アフターコロナの視点を踏まえた事業内容の見直しを行う。またKPIの検証にあたっては、アウトカム指標への見直しを検討する。

KPIの検証の方針

方針① ビジョン開始3年目（R2年度）に目標値を検証

ビジョンの計画期間の中間年度（3年目）に、これまでの実績を基にして、圏域で取り組んでいる全事業について、R3年度に向けたKPIの検証を行う。※上方修正に限らず、KPI自体の修正もあり。

方針② 実績値が目標値以上のもの

原則、方針①とするが、実績値がR4年度目標値以上のもの（目標値の100%以上）については、年度単位で目標値の上方修正を検討する。

方針③ 事業内容が追加・変更された場合は、その都度検討

事業内容が追加・変更された場合は、必要に応じて指標及び目標値が適正であるかを検証し、指標の追加・変更及び目標値の上方修正を検討する。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
ビジョン策定				KPI 中間年度 検証		

新型コロナウイルスを踏まえた事業内容の検証

- ①事業の実施（継続中・中止・延期等）
- ②事業目的（Why）
- ③ターゲット・関係者（Whom・Who）
- ④手法等（What・How・Where・When）
- ⑤KPI

コロナの影響を、項目ごとに見え化する検証を行う

- 各事業について、要素を細分化し検討項目を設定（横軸）
 - ①事業の実施
 - ②事業目的
 - ③ターゲット・関係者
 - ④手法等
 - ⑤KPI
- 各項目について、現状+コロナの影響を明確化した上で、コロナの影響の捉え方（影響の有無・具体的影響）、具体策を検討（縦軸左から右へ）

検証の視点

コロナの影響による事業内容の検討

資料4-2参照

視点① ウィズコロナ・アフターコロナにおける事業の実施可否

実施不可能 → 廃止・休止 0事業

実施可能 → **視点② 変更・改善等の検討**

- 変更なし 13事業
- 目的の変更 0事業
- ターゲットの変更 4事業
- 手法等の変更 10事業
- 新たな取組 3事業

①これまでの事業実施状況を踏まえ、ウィズコロナ・アフターコロナにおいても実施することが可能か検証。実施手法の変更やターゲットの一時的変更も視野に入れ検討。

②併せて、地域の課題等を踏まえたより効果的な事業の在り方について検討。

KPIの検討

資料4-3参照

視点① 事業内容・手法等の変更の有無

視点② アウトプット指標からアウトカム指標の検討

視点③ これまでの実績を踏まえた目標値の修正

- 据え置き 38指標
- 目標値修正 4指標
- 削除 4指標
- 新たなKPI 4指標

①事業内容の検討により、新たな手法・取組を取り入れる場合はそれに合わせたKPIの設定を検討。

②手段が目的とならないよう、アウトプット指標からアウトカム指標への見直しを検討。

③実績及びコロナ禍での状況を基に、指標の追加・変更及び目標値の修正を検討。

← 1事業で複数項目に該当する場合があります。

事業内容及びKPIの見直し（中間年度検証・新型コロナ対応）

（１）ターゲットの変更

インバウンド観光推進事業

課題 外国人観光客の著しい減少（観光案内所）

⇒事業のターゲットを一時的に国内観光客に変更

- ・ コロナ禍において外国人観光客の訪日数が著しく減少していることから、渡航規制期において一時的に事業対象者を日本人観光客に変更する。それに伴い、PR手法を日本人観光客向けにシフトするとともに、インバウンド観光の回復を見据えた環境の整備も検討する。

⇒映像等によるデジタルコンテンツを活用した効果的な観光PR

- ・ KPIについては、需要回復期を見据え、既存KPI（観光案内所の外国人利用者数）は据え置きとする。
- ・ 観光案内所の利用者数（日本人を含む全体）は、参考値として今後のビジョン懇談会で報告する。

伝統産業推進事業

課題 伝統産業に興味のある対象者像が見えない

⇒R2実施のアンケート結果を基に対象者像を把握・分析 **NEW**

- ・ 小学館とのタイアップ通販企画の一環として、読者アンケートを実施。（再掲）
- ・ 読者アンケートを分析し、今後の事業ターゲットの把握・絞り込みを行い、効果的なPR方法を検討していく。

（２）手法等の変更

統計データ活用事業

課題 対面形式での研修開催はコロナ感染拡大のリスクが伴う

⇒研修のオンライン化（手法の変更）

- ・ 対面形式で行っていた統計データ研修をオンライン研修に変更し実施した。これまでは、圏域内で会場を東部・中部・西部に分けて実施していたが、オンライン化することで場所の制限がなくなり、市町村職員がより参加しやすい環境となった。
- ・ 今後は、オンライン形式の研修を基本としながら、研修内容により対面形式も検討する。

防災リーダー育成事業

課題 会場でコロナ対策を講じることにより、参加者数が制限される

⇒講義のオンライン配信（手法の追加）を検討

- ・ 参加者数を制限する等のコロナ対策を講じつつ、引き続き高知市主催で「防災人づくり塾」を開催する。
- ・ 圏域市町村においては、サテライト会場を引き続き設置。また、住民が自宅等でも視聴可能となるような新たな形での配信を検討。

職員交流による連携強化と能力向上

課題 対面形式での研修開催はコロナ感染拡大のリスクが伴う

⇒研修のオンライン配信（手法の追加）

- ・ 対面形式での各種研修会開催は、コロナ感染拡大のリスクが伴うため、高知市での研修は対面形式で行いつつ、研修内容をオンライン上で市町村に配信する。

（３）新たな取組

地場産品販路拡大推進事業

課題 店頭・店舗販売を主とする事業者が多い

⇒インターネットを活用した新たな販路開拓の支援を検討 **NEW**

- ・ 販路拡大支援の一環として、インターネットを活用した新たな販路開拓の支援を検討していく。

空き店舗等情報発信事業

課題 「こうち創業Village」の情報発信強化

⇒新たに「創業者のインタビューページ」を作成 **NEW**

- ・ 空き店舗を活用した創業者に対してインタビューし、創業時の苦労や工夫点等、今後創業を考えている方や検討中の方にとって創業をイメージしやすいような情報を「創業者の声」ページとして新たに発信。

（４）新たなKPI

広域観光推進事業

KPI ⇒「旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品掲載数」を追加 **NEW**

- ・ 商品造成が進み、造成した観光商品のセールスを行うフェーズに入ったことから、旅行代理店等へのセールス成果目標として追加する。
- ・ 旅行商品造成による観光客入込数・消費額の増加は直接的な成果の一つであるものの、「れんけいこうち」において取り組む上では、必ずしも収益目的ではなく、比較的知名度の低い観光資源をPRしていく視点も重要な点であることから、当該数値をKPIとする。
- ・ 把握できる販売実績（販売数・申込人数・売上金額等）については、随時報告する予定。

二段階移住PR事業

KPI ⇒「二段階移住新規相談件数」を追加 **NEW**

- ・ プロモーションの結果を測る指標として「二段階移住新規相談件数」を追加する。
- ・ PR活動から二段階移住達成までの一連の流れをより可視化し、ボトルネックの検証など、今後の改善につなげていく。

（５）その他

人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応

課題 外国人観光客の著しい減少

⇒登載情報の充実を図る
⇒他の手法等の検討

- ・ インバウンド需要の回復期に向けて、掲載情報の充実に取り組む。（国内観光客はAI活用の機会が少ないと想定されるため、インバウンド観光推進事業のようにターゲットの一時的な変更は行わない）
- ・ 他のAI技術等も並行して検討する。

令和3年度に向けた事業内容の見直し一覧(事業統合に伴う見直しは含まない。)

資料4-2

区分	事業No. 事業名称	事業概要	分析・課題 等	変更内容・検討の方向性				
				変更なし	ターゲット	手法等	新たな取組	KPI変更等
ア 圏域 全体 の 経 済 成 長 の けん 引	20-01 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推 進懇談会及びれんけいこうち広域都市 圏推進会議の開催・運営	・ビジョンの進捗管理、各種協議 ・ビジョン懇談会の開催 ・推進会議(首長会議)の開催	対面形式での各種会議開催はコロナ感染拡大の リスクが伴う			コロナ対策を講じて会議を開催。 また、オンラインツールの活用も視野に 入れ状況に応じて開催方法を選択す る。		
	20-02 統計データ活用事業	・統計データ研修会開催 ・統計データ研究会組織の設置	対面形式での各種研修会開催はコロナ感染拡大 のリスクが伴う			各種研修会をオンライン形式で開催		
	20-03 日曜市出店事業	・れんけい小間の運営(輪番出店) ・れんけい小間のPR	県外・海外観光客の減少 れんけい小間のリピーター獲得には出店する市 町村輪番について、情報発信が重要		生活市として利用する地元客をメイン ターゲットとしたイベント開催を検討		れんけい小間の情報発信を強化(HPで の公開・CM 等)	
	20-04 地場産品販路拡大推進事業	・市町村ネットワークの形成 ・見本市等への出展 ・バイヤーを招聘しての商談会開催 ・その他事業者支援	アンテナショップ(まるごとにっぽん)の閉館			県外での新たな出店先の検討		○
			TSUNAGUテイクアウトフェスタを実施			実施は継続しつつ、コロナの状況を踏 まえてテイクアウトに限らず現場調理も 可能とする等、更なる事業者支援を実 施		
			店頭・店舗販売を主とする事業者が多い			インターネットを活用した新たな販路開 拓の支援を検討		
	20-05 圏域事業者販売等支援事業	・アグリコレットでの販売の場の確保 ・その他事業者支援	「れんけいブース」活用の状況が低調	活用について市町村に周知・促進				
	20-06 伝統産業推進事業	・伝統的産品のブランド力・知名度向上 ・販路拡大支援	県外での展示会による販路拡大支援が困難			SNS等を活用した積極的な情報発信を 検討		○
			伝統産業に興味のある対象者像が見えない		アンケート実施による対象者像の把 握、それに伴う効果的なPR方法を検討			
	20-07 6次産業化推進事業	・農商工連携セミナー開催	対面形式でのマッチングの場はコロナ感染拡大 のリスクが伴う	オンライン形式でのマッチングの場を検 討するが、信頼関係が重要となるもの であり、その導入については更なる検 討が必要				
	20-08 大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	・客船誘致 ・客船寄港時の周遊促進等	渡航規制により外国船の寄港なし	寄港が再開されつつあり、状況を見な がら取組を行う				
20-09 観光客動態調査事業	・ビッグデータの調査・分析			※令和4年度に調査実施予定				
20-10 広域観光推進事業	・ビッグデータの分析による効果的な観 光商品の造成 ・観光資源や受入体制の整備	コロナ禍においては、商業施設よりも自然・体験 観光の観光需要が増加しており、そういった背景 を踏まえた商品造成が理想	既存商品に掲載されていない市町村を 中心に引き続き商品造成				○	
20-11 インバウンド観光推進事業	・外国人観光客対応観光案内所の運営	外国人観光客の著しい減少			ターゲットを外国人観光客から国内観 光客に一時的に変更			
		観光案内所自体のPRが不足しており、利用者数 増に結びついていない			観光案内所のホームページを制作する とともに、インバウンド需要の回復期に 向けて、言語等の充実を段階的に図る 予定			

令和3年度に向けた事業内容の見直し一覧(事業統合に伴う見直しは含まない。)

資料4-2

区分	事業No. 事業名称	事業概要	分析・課題 等	変更内容・検討の方向性					
				変更なし	ターゲット	手法等	新たな取組	KPI変更等	
ア (続き)	20-12 人工知能(AI)を活用した外国人観光客への対応	・外国語対応観光案内アプリ「tosatrip」の運営	外国人観光客の著しい減少	インバウンド需要の回復期に向けて、掲載情報の充実に取り組む(国内観光客はAI活用機会が少ないと想定されるため、広域観光推進事業のようにターゲットの一時的な変更は行わない)					
	20-13 空き店舗等情報発信事業	・ウェブサイト「こうち創業village」の運営 ・空き店舗情報及び支援情報等の発信	空き店舗情報を発信しているwebサイト「こうち創業Village」での更なる情報発信が必要				空き店舗を活用した実際の創業者のインタビューページを作成し、創業希望者が出店をイメージし易いような情報発信を強化		
	20-14 二段階移住PR事業	・イベント開催、参加 ・ウェブサイト・動画でのPR 等	対面形式での移住相談会開催はコロナ感染拡大のリスクが伴う				オンライン形式で相談できるように、ウェブサイトにオンライン相談窓口を設置。なお、オンライン参加が困難な移住希望者もいることから、従前どおり対面形式での開催も引き続き検討する。		○
	20-15 二段階移住推進事業	・体験滞在施設の運営 ・補助金等	各種補助制度は引き続き実施が必要					お試し滞在施設のWi-Fi環境を整備	○
イ 高知県・高知市の都市機能の	20-16 新高知赤十字病院への支援	・津波長期浸水エリア外への移転支援		※支援を継続					
	20-17 高知みらい科学館機能の強化	・高知みらい科学館での理科学習 ・出前教室 ・巡回展示	休校等により学習の機会が減少した児童・生徒が多い	引き続き学習の場を提供するとともに、バス移動の際には密にならないよう運行数を増やす等の対策を取る					
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	20-18 子育て支援事業(ファミリー・サポート・センターの広域連携)	・ファミサポ設置・運営検討支援 ・援助会員の広域研修会開催 ・依頼会員の広域利用に向けた検討 ・その他情報共有等	地域ごとにファミサポの需要が異なる	単独でのファミサポ設置までは必要のない市町村に対しては、広域利用に向けた検討を引き続き支援するとともに、その他様々な制度の活用を支援を検討予定					
	20-19 新規就農者の確保	・県内での合同就農相談会の開催	就農相談会をイオンモール高知で開催しているが、不特定多数の方を相手にPRすることになり、成果が得にくい 就農に関するPRが不足している		より効果的な場所での相談会開催を検討		ポータルサイトを制作し、各市町村での取組状況等について積極的にPRしていくことを検討予定		
	20-20 防災リーダー育成事業	・「防災人づくり塾」の開催 ・サテライト会場の設置	コロナ対策を講じることにより、参加者数が制限される	コロナ対策を講じた上で、引き続き事業を継続			Web会議システムを利用し、自宅等でも視聴可能な配信の形を検討予定		
	20-21 水道事業広域実施(人材育成等)	・高知市研修の広域受講化 ・様式統一化の検討等	新任者研修は年度当初ではなく、数か月経過してからの開催の方が理解度が向上するといった意見がある 水道事業に関する各種申請様式等の統一化が進んでいない	研修時期と内容はニーズを踏まえながら適宜変更予定 様式統一化に伴うメリット・デメリットを市町村アンケート調査等により分析し、必要に応じて検討予定					○
	20-22 職員交流による連携強化と能力向上	・高知市研修の広域受講化 ・研修派遣、交流派遣 ・情報交換等	対面形式での各種研修会開催はコロナ感染拡大のリスクが伴う				高知市での研修は対面形式で行いつつ、研修内容をオンライン上で市町村に配信する。		
	20-23 ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発	・圏域の取組の情報発信 ・市町村間情報共有の効率化等	情報の鮮度を意識し、ホームページ掲載内容を随時更新する必要がある	掲載する情報は市町村からの提供のみならず、高知市が積極的に情報収集を行い、より最新の情報を掲載					
	20-24 【NEW】 体験型地域資源開発・活用事業	・地域資源のコンテンツ化 ・体験イベントの開催	令和2年度第1回れんげいこうちビジョン推進懇談会に語りビジョンに掲載されることとなった新規事業	※令和3年1月から実施					

令和3年度に向けたKPIの見直し一覧(事業統合に伴う見直しは含まない。)

資料4-3

区分	事業No. 事業名称	指標 (KPI)	目標値	実績値 (R2.12月末現在)		検討の方向性				見直しにあたっての考え方や参考事項
			R4年度	R2年度	達成率 (R2/R4)	据え置き	目標値修正	削除	新たなKPI	
ア 圏域 全体 の 経済 成長 の けん 引	20-01 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推 進懇談会及びれんけいこうち広域都市 圏推進会議の開催・運営	懇談会の開催回数	3回/年	1回/年	33.3%	○				・R3.2月開催予定
		推進会議の開催回数	1回/年	1回/年	100.0%	○				
	20-02 統計データ活用事業	研修会への参加者数	累計340人	累計251人	73.8%	○				・R2年度上半期はコロナの影響により中止。下半期よりオンライン形式で再開予定
		応用学習会への参加市町村数	22市町村/年	0市町村/年	0.0%	○				・R2年度上半期はコロナの影響により中止。下半期よりオンライン形式で再開も、応用学習会の実施は未定(基礎研修会等の比較的難易度の低い研修を優先)
	20-03 日曜日出店事業	「れんけい小間」延べ開設数	300回/年	103回/年	34.3%	○				・コロナの影響により実績減も、回復傾向により据え置き
		「れんけい小間」への来客数	24,000人/年	2,112人/年	8.8%	○				・コロナの影響により実績減も、回復傾向により据え置き (参考)R2年度上方修正(15,000人/年 → 24,000人/年)
	20-04 地場産品販路拡大推進事業	見本市等における商談成立件数	75件/年	-	-	○				・事業成果について調査中
		見本市等における参加事業者数	30事業者/年	31事業者/年	103.3%	○				
		まるごとにつぼんにおける年間販売額	800万円/年	477万円/年	59.6%		○	○		・R2.11月のまるごとにつぼん閉館に伴いKPI削除 ・首都圏以外も視野に入れた新たな出店先検討中 → 新たなKPIを検討予定
		まるごとにつぼんにおけるパンフレット配布部数	3,000部/年	1,550部/年	51.7%		○	○		
	20-05 圏域事業者販売等支援事業	「れんけいブース」における年間販売額	3,200万円/年	3,375万円/年	105.5%	○				
		「れんけいブース」における事業者支援件数	36件/年	70件/年	194.4%	○				・通年の動向が不明なため据え置き
	20-06 伝統産業推進事業	パンフレット配布部数	5,200部/年	641部/年	12.3%	○				・パンフレット読者へのアンケートを実施予定 → 対象者像に応じた効果的なPR手法を検討し、KPIについても併せて検討予定
		ウェブサイト閲覧数	36,000ビュー/年	60,133ビュー/年	167.0%		○			・実績を基に上方修正(R2年度上半期実績平均ビュー数×12月) (参考)R2年度上方修正(2,500ビュー/年 → 36,000ビュー/年)
	20-07 6次産業化推進事業	マッチングセミナーへの参加事業者数	50事業者/年	0事業者/年	0.0%	○				・コロナの影響により実績なし
20-08 大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知新港への大型客船寄港回数	100回/年	2回/年	2.0%	○				・コロナの影響により客船寄港は邦船の2回のみ	
	無料バス運行地域数	6地域/年	0地域/年	0.0%	○				・岸壁での新たなPRイベント実施を検討 → 次年度以降KPIについても併せて検討予定 ・外国人観光客の渡航規制緩和(東京オリンピック開催予定)を見据え、既存KPIは据え置き ・寄港回数の目標値については、県計画との整合性を図りながら、次回改訂時を目的に検討	
20-09 観光客動態調査事業	無料バス乗客数	180人/年	0人/年	0.0%	○					
20-09 観光客動態調査事業	動態調査地点数	120地点/年	-	-	○				※R4年度実施予定	
20-10 広域観光推進事業	新規周遊観光商品数	3本/年	0本/年	0.0%	○			○	・R2年度中に9本の商品作成予定 ・作成商品は必ずしも収益目的ではなく、比較的知名度の低い観光資源PRも目的としており、消費者の目についた実績を把握するための指標として新たなKPIを設定(旅行会社発行の紙・WEB媒体への掲載商品掲載数)	
20-11 インバウンド観光推進事業	観光案内所の外国人利用者数	3,370人/年	180人/年	5.3%	○				・コロナの影響により外国人観光客減 ・インバウンド観光の回復状況を踏まえながら、次回改訂時を目的に検討	
20-12 人工知能(AI)を活用した外国人観光客への対応	外国人観光客のシステム利用者数	3,662人/年	46人/年	1.3%	○				・コロナの影響により外国人観光客減 ・インバウンド観光の回復状況及びAIシステムの検討状況を踏まえながら、次回改訂時を目的に検討	
20-13 空き店舗等情報発信事業	ホームページの閲覧数	42,000ビュー/年	26,424ビュー/年	62.9%	○				(参考)R2年度上方修正(2,500ビュー/年 → 42,000ビュー/年)	
20-14 二段階移住PR事業	ポータルサイト閲覧数	累計195,000ビュー	累計145,683ビュー	74.7%		○	○		・ポータルサイトや動画配信を基にした幅広い事業PRは一定の成果を得たため、PR活動は引き続き行うものの、次のフェーズ(「PRによる認知度向上」から「新規相談件数の増加」へ)を見据えKPIを削除し、新たなKPIを設定(二段階移住新規相談件数)	
	イメージ動画閲覧数	累計214,000ビュー	累計210,079ビュー	98.2%		○	○		(参考)R2年度上方修正(イメージ動画閲覧数:累計77,000ビュー → 累計214,000ビュー)	
20-15 二段階移住推進事業	二段階移住パスポート発行部数	累計450部	累計83部	18.4%		○				
	二段階移住組数	累計150組	累計16組	10.7%		○			・二段階移住は先進的な取組として開始しており、より適正な目標値に再設定	

令和3年度に向けたKPIの見直し一覧(事業統合に伴う見直しは含まない。)

資料4-3

区分	事業No. 事業名称	指標 (KPI)	目標値	実績値 (R2.12月末現在)			検討の方向性				見直しにあたっての考え方や参考事項
			R4年度	R2年度	達成率 (R2/R4)	据え置き	目標値修正	削除	新たなKPI		
イ 高次の都市機能の集積・強化	20-16 新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院から圏域内への助産師派遣回数	36回/年	6回/年	16.7%	○					・コロナの影響により実績減
		理科学習の実施校数	100校/年	63校/年	63.0%	○					・コロナの影響(休校等)により実績減
	20-17 高知みらい科学館機能の強化	理科学習の受講児童生徒数	5,700人/年	3,448人/年	60.5%	○					
		出前教室の実施校数	40校/年	10校/年	25.0%	○					
		出前教室の受講児童生徒数	800人/年	407人/年	50.9%	○					
		科学体験展示実施延べ市町村数	16市町村/年	9市町村/年	56.3%	○					
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	20-18 子育て支援事業(ファミリー・サポート・センターの広域連携)	ファミサポ設置に向けた検討等について高知市が関わった(相談等含む)市町村数	累計12市町村	累計9市町村	75.0%	○					
		講習会への広域受講市町村数	累計12市町村	累計4市町村	33.3%	○					
		広域利用に向けた検討等について高知市が関わった(相談等含む)市町村数	累計12市町村	累計1市町村	8.3%	○					
		情報交換・情報共有した市町村数	累計33市町村	累計33市町村	100.0%	○					・33が最大値であるため据え置き
	20-19 新規就農者の確保	相談会での個別相談件数	累計150件	累計18件	12.0%	○					・コロナの影響によりR2年度は実績なし ・事業変更・改善の検討、令和3年度実績を踏まえ、次回改訂時を目的に検討
	20-20 防災リーダー育成事業	防災リーダー研修者数	累計1,050人	累計423人	40.3%	○					・コロナの影響によりR2年度上半期は実績なし、R3年1月に実施予定 ・研修方法の検討状況、令和3年度実績を踏まえ、次回改訂時を目的に検討
	20-21 水道事業広域実施(人材育成等)	高知市職員研修への参加者数	累計80人	累計99人	123.7%		○				・実績を基に上方修正(R2年度実績の半数が参加すると仮定)
	20-22 職員交流による連携強化と能力向上	高知市への派遣職員数	6人/年	0人/年	0.0%	○					
		高知市職員研修への参加者数	50人/年	5人/年	10.0%	○					・コロナの影響により実績減
			防災士資格取得者数	10人/年	0人/年	0.0%	○				・コロナの影響により実績減(コロナ対策の人数制限によるもの)
20-23 ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発	ウェブサイトの閲覧件数	4,800ビュー/年	3,035ビュー/年	63.2%	○						
20-24(NEW) 体験型地域資源開発・活用事業	実施プログラム数	累計300件	累計0件	0.0%	○						
	イベント実施エリア外からの参加割合	70%/年	0%/年	0.0%	○					・R2年度途中からの新規事業	

令和2年度末ビジョン改訂のポイント

ビジョンの計画期間の中間年度（3年目）にあたる令和2年度に、これまでの実績を基にした検証を行うとともに、ウィズコロナ・アフターコロナの視点を踏まえた見直しを行い、圏域のめざす将来像や人口目標などビジョンの実現に向けてさらに効果的な取組となるよう高知市・連携市町村・高知県・関係機関と協議を行いながら取組を推進する。また、一部の事業について統合を行う。

(1) コロナの影響を記載

新型コロナウイルスの影響をビジョンに記載。（「IV 将来像の実現に向けた具体的な取組」冒頭に追加） ※ビジョン該当頁：50
 ・令和2年に入り、新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、様々な分野に影響が及び、取組によっては延期・中止・手法の変更等の対応をとることとなった。
 ・地域の経済活動は大きなダメージを受け、特に国外からの移動制限によりインバウンド観光や外国客船の入港は皆無に近い状況となった。
 ・ウィズコロナ/アフターコロナを踏まえた事業内容や事業手法等の見直しを行った。今後も、状況に応じて臨機応変な対応を図っていく。

(2) 連携事業の追加

「体験型地域資源開発・活用事業」を追加。（令和2年度第1回ビジョン推進懇談会にて報告済） ※ビジョン該当頁：72

(3) 連携事業の整理

ビジョンに掲載されている既存事業について、事業目的達成のため本来一連の流れで取り組むべき内容が複数事業に分類されていることから、一部事業を統合する。なおビジョン上での事業統合を行った場合でも、実際の取組内容はこれまでとは変更なく行う。（事業統合によりKPIは一部整理）

事業No.	事業名（現状）	事業名（整理後）	整理理由	ビジョン該当頁
20-01	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及び れんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及び れんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営	No.20-23の圏域市町村間の事業担当者間の情報共有効率化や情報発信はビジョン全体の進捗管理の一部であることから、No.20-01に統合。	52
20-23	ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発	ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発		
20-09	観光客動態調査事業	観光客動態調査事業	No.20-09では、携帯電話の位置情報ビッグデータを活用した観光客の移動軌跡調査を行うこととしており、当該結果を踏まえNo.20-10にて旅行商品を造成していることから、一連の流れでの事業としてNo.20-10に統合。	60
20-10	広域観光推進事業	広域観光推進事業		
20-14	二段階移住PR事業	二段階移住PR事業	二段階移住への取組は本来プロモーションから推進までが一連の流れであることから、No.20-15に統合。	64
20-15	二段階移住推進事業	二段階移住推進事業		

(4) 分野KPIの見直し

高知県の第3期産業振興計画が令和2年度に第4期に改訂された。高知県と圏域の範囲が同じであり、整合性を図る必要があることから、分野KPIについて見直しを行う。また、「ファミリー・サポート・センター設置市町村数」は、令和2年度に目標値13市町村を達成し、新たな指標が設定されたことから、併せて見直しを行う。

分野	指標（現状）	目標値（R4年度）		ビジョン該当頁
		現状	見直し案	
ア 圏域全体の 経済成長のけん引	製造品出荷額等	6,550億円以上	6,400億円以上	47
	県外観光客入込数	455万人以上	454万人以上	
	観光総消費額	1,324億円以上	1,246億円以上	
	県外からの移住組数	1,000組以上	1,225組以上	
イ 高次の都市機能の 集積・強化	高知赤十字病院のドクターヘリ搬入患者数（受入のみ）	150人	150人	47
	高知みらい科学館利用者数	200,000人	200,000人	
ウ 圏域全体の生活関連 機能サービスの向上	新規就農者数	320人以上	320人以上	47
	自主防災組織の組織率	100%	100%	
	ファミリー・サポート・センター設置市町村数 → ファミリー・サポート・センター提供会員数	13市町村	920人以上	

(5) 事業KPIの見直し

ビジョンの計画期間の中間年度（3年目）にあたる令和2年度に、これまでの実績を基にして、圏域で取り組んでいる全事業についてKPIの検証を行う。また、ウィズコロナ・アフターコロナの視点を踏まえた再検証とともに、統合する事業についても再度整理する。

■見直しの種類別

① 事業内容の変更に伴う指標の削除

- **地場産品販路拡大推進事業**：東京都浅草の商業施設「まるごとにつぼん」が令和2年11月に閉館となり、当該施設に関する取組が終了したことから指標を削除する。（実績については、次回ビジョン懇談会で報告予定）なお、当該施設に代わる新たな出店先を検討しており、出店先が確保できた場合には、新たなKPIの設定を検討する。

② 事業が次のフェーズに移行したことによる新たな指標の設定

- **広域観光推進事業**：商品造成が進み、造成した観光商品のセールスを行うフェーズに入ったことから、旅行代理店等へのセールス目標として「旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品掲載数」を追加する。
- **二段階移住PR事業**：二段階移住PR事業におけるポータルサイトや動画配信を基にした幅広い事業PRは、これまで一定の成果を得ており、今後においてもPR活動は引き続き行うものの、次のフェーズ（「PRによる認知度向上」の横展開から「新規相談件数の増加」への縦展開）へ移行すること及び事業の統合を踏まえ、サイトや動画の閲覧数の指標を削除する。（PRの実績については、今後もビジョン懇談会で参考値として報告予定）
- **二段階移住推進事業**：PR活動から二段階移住達成までの一連の流れをより可視化し、ボトルネックの検証など今度の改善につなげていくため「二段階移住新規相談件数」を追加する。

③ 実績に基づく目標値の変更

- **二段階移住推進事業**：二段階移住の取組は全国でも先進的な取組であり、当初の目標値は参考的に先例とするものもなかった。約2年半の実績を基により適正な目標値を設定する。
- **伝統産業推進事業・水道事業広域実施（人材育成等）**：R4年度目標値を達成した実績を踏まえ、上方修正を行う。

④ 事業統合に伴う指標の見直し（※事業統合に伴う指標の移動は記載を省略）

- **観光客動態調査事業**：当初、より多くの調査地点選定を目標として指標を設定したが、後年度で行う検証のための動態調査は前回調査と同地点を調査することが一般的であり、そのことが想定されるため指標を削除する。
- **二段階移住PR事業（再掲）**：二段階移住PR事業におけるポータルサイトや動画配信を基にした幅広い事業PRは、これまで一定の成果を得ており、今後においてもPR活動は引き続き行うものの、次のフェーズ（「PRによる認知度向上」の横展開から「新規相談件数の増加」への縦展開）へ移行すること及び事業の統合を踏まえ、サイトや動画の閲覧数の指標を削除する。（PRの実績については、今後もビジョン懇談会で参考値として報告予定）

■事業別（表内の①～④及び色は上の表記と対応している）

事業名	指標	種類	見直しの内容・理由	ビジョン該当頁
地場産品販路拡大推進事業	まるごとにつぼんにおける年間販売額	①削除	取組の終了	55
	まるごとにつぼんにおけるパンフレット配布部数	①削除	取組の終了	
伝統産業推進事業	ウェブサイト閲覧数	③目標値変更	最終(R4)年度目標値を達成した実績を踏まえた上方修正 (R4目標値：36,000ビュー/年⇒63,000ビュー/年)	57
観光客動態調査事業	動態調査地点数	④削除	事業統合	-
広域観光推進事業	旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品掲載数	②新設	造成した観光商品のセールスを行うフェーズに入ったことから、旅行代理店等へのセールス目標として新設（R4目標値：30本/年）	60
二段階移住PR事業	ポータルサイト閲覧数	②④削除	新たなフェーズへの移行及び事業統合	-
	イメージ動画閲覧数	②④削除	新たなフェーズへの移行及び事業統合	
二段階移住推進事業	二段階移住新規相談件数	②新設	新たなフェーズへの移行及び一連の流れをより可視化するため新設（R4目標値：累計490件）	64
	二段階移住パスポート発行部数	③目標値変更	約2年半の実績を基に、より適正な目標値を設定（R4目標値：累計450部⇒185部）	
	二段階移住組数	③目標値変更	約2年半の実績を基に、より適正な目標値を設定（R4目標値：累計150組⇒60組）	
水道事業広域実施（人材育成等）	高知市職員研修への参加者数	③目標値変更	最終(R4)年度目標値を達成した実績を踏まえた上方修正（R4目標値：累計80人⇒127人）	74

れんけいこうち広域都市圏ビジョン (ビジョン改訂案)

ともにつながり ともに羽ばたき ともに打ち克つ



れんけいこうち広域都市圏

2021 (令和3) 年 3月改訂

高知市

《 目 次 》

I	ビジョンの概要	1
1	策定の趣旨	1
2	圏域の名称・構成自治体	2
(1)	圏域の名称	2
(2)	圏域の構成自治体	2
3	計画期間	2
II	圏域の現状	3
1	構成自治体の概要	3
2	人口の動向	9
(1)	人口の推移と見通し	9
(2)	自然増減の動向	11
(3)	社会増減と移住の状況	11
3	経済・産業の動向	14
(1)	産業構造	14
(2)	農林漁業	16
(3)	製造業	20
(4)	小売業	24
(5)	観光	26
(6)	産業支援機関等の状況	30
4	高次都市機能の状況	31
(1)	行政機関	31
(2)	医療機関	32
(3)	広域的交通網	34
(4)	高等教育機関	35
(5)	文化・スポーツ等関連施設	36
5	生活関連機能の状況	40
(1)	地域医療	40
(2)	介護・障がい者福祉	40
(3)	防災対策	42
III	圏域の将来像と目標	44
1	圏域の特徴・強みと課題	44
2	圏域がめざす将来像	44
3	将来人口の目標	45
4	圏域づくりの基本方針	45
(1)	圏域全体の経済成長のけん引	45

(2) 高次の都市機能の集積・強化	45
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	46
5 成果指標（K P I）	47
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	47
(2) 高次の都市機能の集積・強化	47
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	47
6 ビジョンの推進体制.....	48
IV 将来像の実現に向けた具体的な取組	50
1 圏域全体の経済成長のけん引	50
2 高次の都市機能の集積・強化	65
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	68

I ビジョンの概要

1 策定の趣旨

わが国は、急速な人口減少・少子高齢化という大きな課題に直面しており、その傾向は特に高知県において顕著となっている。

高知県は、人口の自然減で15年、高齢化率の上昇で10年、全国に先行しており、人口減少や少子高齢化の克服に向け、地域活性化による持続可能な社会経済の維持や、地域住民が安心して快適な暮らしを営んでいくための早急な対策が必要となっている。

これまで、県内各市町村では、豊かな自然環境や特色ある歴史文化等の地域の資源を活用しながら、それぞれの特性に応じて観光振興や移住促進等の施策を連携して進めてきており、2010（平成22）年度には県中央部で高知市を中心市として「高知中央広域定住自立圏」を、幡多地域では四万十市・宿毛市を中心市として「幡多地域定住自立圏」を形成し、様々な取組を行ってきた。

一方、2014（平成26）年度に国において策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、地域連携による経済・生活圏の形成に向けた施策として、定住自立圏の形成の促進に加え「連携中枢都市圏の形成」が盛り込まれたことから、高知市では、2015（平成27）年10月に策定した「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に県全体の牽引役としての役割を發揮していく方針を定めるとともに、県内市町村との社会的・経済的な関係の強さ等を踏まえ、これまでの定住自立圏よりも連携機能を高めるため、県内全市町村との連携による広域都市圏の形成を図ることとした。

高知県においては、様々な都市機能が集積する高知市が圏域人口の約46%を擁する一方、他の市町村の人口規模はいずれも5万人以下という一極集中の圏域構造となっているため、高知市と他市町村との社会的・経済的なつながりが強く、相互に補完する関係にある。

こうした特性を踏まえ、人口や都市機能が集中・集積する高知市の持つマーケットや、人やモノのハブ機能等を活かした取組を進めるとともに、高知県による取組の先導性を高める垂直的な補完や、行政サービスへの水平的な補完により、県内全市町村が一体となって人口減少・少子高齢化の克服に向け、強みや特色を活かした魅力ある都市圏の形成をめざし、高知市への通勤通学割合が10%を超える近隣市町村を中心とする範囲において連携中枢都市圏制度を活用することに加え、それ以外の市町村との間においても高知県が新設する交付金等による支援制度を活用することで、県内全市町村との連携による「れんけいこうち広域都市圏」を形成することとした。

本ビジョンは、この圏域の中長期的な将来像を示し、圏域内の各市町村が持つ強みや特色を活かしながら、連携して進める具体的な取組等を取りまとめたものである。

2 圏域の名称・構成自治体

(1) 圏域の名称

圏域の名称は、「れんけいこうち広域都市圏」とする。

(2) 圏域の構成自治体

圏域を構成する自治体は、高知市、室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村、南国市、香南市、香美市、本山町、大豊町、土佐町、大川村、土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村、須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町の34市町村である。

なお、連携中枢都市圏構想推進要綱に基づく連携中枢都市圏の構成自治体は、高知市、安芸市、安田町、馬路村、芸西村、南国市、香南市、香美市、本山町、大豊町、土佐町、大川村、土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村、須崎市、中土佐町、津野町の21市町村である。

3 計画期間

計画期間は、2018（平成30）年度から2022（令和4）年度の5年間とする。

II 圏域の現状

1 構成自治体の概要

■高知市

高知市は、高知県の中央部に位置し、企業や商業施設のほか、大学等の高等教育機関が集積するとともに、県内屈指の施設園芸地域や緑豊かな中山間地域を有する都市である。また、桂浜やよさこい祭り、日曜市等の観光資源が豊富で県外から多くの人々が訪れている。

<安芸地域>

■室戸市

室戸市は、県都高知市の東方 78km に位置し、近海マグロ漁、定置網漁等の漁業や温暖な気候を利用したサツマイモや早出のびわ、土佐備長炭の生産等の農林業が盛んで、地域資源を活用した海洋深層水や室戸ユネスコ世界ジオパーク等、県を代表する観光地となっている。

■安芸市

安芸市は、県東部地域最大の市街地を形成している。産業としては、豊富な水、長い日照時間や温暖な気候を利用して、平地ではナスを中心とする施設園芸、中山間地域では柚子の生産等が盛んである。また、安芸沖はシラス漁が盛んで、ちりめんじゃこの加工も行われている。

■東洋町

東洋町は、高知県の最東端に位置し、ポンカンや小夏などの柑橘栽培や漁業が主産業であり、また全国的に有名な生見サーフィンビーチや清流野根川のアユ釣りなど観光資源も豊富である。

■奈半利町

奈半利町は、県都高知市から東に約 50 km に位置し、農漁業を主要産業とした古くから県東部の交通の要衝として栄えてきた町であり、また、海・山・川と三拍子そろった豊かな自然と伝統的建造物で形成された町並み等、自然と歴史が美しくミックスされた町である。

■田野町

田野町は高知県東部に位置する、四国で一番小さい町である。町の中心にはスーパーなどの商業施設、医療施設、図書館などの文化施設や公共施設が集約しており、コンパクトで住みやすい「暮らしやすさ」が自慢の町である。

■安田町

安田町は高知県東部に位置し、町を南北に貫流する安田川流域に広がる清流のまちで、蔬菜園芸発祥の地としてハウス園芸が盛んなほか、清流の伏流水を活かした醸造業も盛んで、「土佐鶴酒造」「南酒造場」の2蔵元が銘酒を醸している。

■北川村

北川村は、県都高知市から東へ約 60km に位置しており、幕末の志士中岡慎太郎が奨励した柚子栽培は全国有数の産地となっている。また、フランスから世界で唯一認められた北川村「モネの庭」マルモッタンや良質の北川村温泉、中岡慎太郎館などの芸術と文化の観光資源がある。

■馬路村

人口約 860 人、「ごっくん馬路村」で有名な馬路村。おなじみの柚子製品はもちろんのこと、かつて林業で栄えた馬路村では、世界で唯一の成形デザインによる杉のバッグ「monacca」を開発。この地域ならではの「オンリーワンの村づくり」に取り組んでいる。

■芸西村

高知県東部に位置する芸西村は、温暖な気候に恵まれ、施設園芸によるナスやピーマン、花卉栽培が盛んに行われている。また、村の1次2次産品を使った加工品の開発に向けた取組も行われている。現在、建設中の和食ダムは、高規格道路から近く、海が見えるダムとして全国でも珍しい。

<物部川地域>

■南国市

南国市は、高知県の中東部に位置しており、高知龍馬空港や高知自動車道南国 I C を有するなど交通の要衝となっている。また、早場米や園芸野菜の産地として知られており、シトウ・小ナス・ピーマンなどの生産が盛んである。

■香南市

香南市は、高知市東部約 17km に位置し、豊かな自然環境に恵まれ、農林水産業を中心に、商工業地域が加わった理想的なまちである。また、どろめ祭りやみなこい港祭り、手結盆踊りなど、様々なイベントが開催され、県内屈指の人気スポットとして定着している。

■香美市

香美市は、高知県の北東部に位置し、物部川流域の豊かな自然に恵まれ、龍河洞、アンパンマンミュージアムやべふ峡などは多くの観光客に喜ばれている。また、市内にある高知工科大学と連携し、産・学・官の相互的な協力や交流が行われている。

れいほく ＜嶺北地域＞

■ 本山町

本山町は高知県の北部，四国の中央に位置し，90％は森林で水と緑に恵まれた中山間地域である。棚田でのブランド米「土佐天空の郷」の活気ある取組や白髪山・吉野川・棚田等の資源を活かした自然体験，アウトドア体験に多くの方が訪れている。

■ 大豊町

大豊町は，高知県東北端四国山地の中央部に位置し，総面積の88％が森林であることから，森林資源を活用した安定した雇用の創出を目指し取組を進めている。また，碁石茶や銀不老ぎんぶろうといった大豊固有の特産品の他，一級河川吉野川でのラフティングも人気である。

■ 土佐町

土佐町は四国のまんなか，吉野川の源流域に位置し「四国の水がめ」と呼ばれる早明浦ダムがある水源の町。農林業が盛んで，棚田米と「土佐あかうし」の産地である。SDGsを通じた「持続可能なまちづくり」を掲げ，教育や福祉の充実に取り組んでおり，近年は移住者が増加している。

■ 大川村

大川村は，高知県の最北端，県都高知市の真北に位置しており，農畜林業等の第一次産業を基幹産業とした山村である。また，北部の四国山脈に通じる登山道は登山ファンからの人気が高いほか，特産品である大川黒牛・土佐はちきん地鶏を食するイベント「大川村謝肉祭」には，毎年多くの方が訪れている。

＜仁淀川地域＞

■ 土佐市

土佐市は，仁淀川の河口部に位置し，高知市に隣接している。温暖な気候と豊かな自然の恩恵を受け，果物類・野菜類・花卉類など農業のほか，仁淀川の豊かな水を活用した製紙工業や，沿岸漁業，水産物加工など，多彩な産業が成り立っている。

■ いの町

いの町は，高知県の中央部に位置し，県都高知市に隣接しながらも水質日本一の仁淀川や吉野川，また，石鎚国立公園に指定されている瓶ヶ森や寒風山をはじめ山・川の豊かな自然に恵まれ，土佐和紙発祥の地として昔から製紙業が盛んな町である。

■ 仁淀川町

仁淀川町は，高知県の北西部に位置し，農林業や鉱業が主要産業となっている。神楽や秋葉祭り，太鼓踊りなどの伝統文化が多く，また，桜や花桃などの観光資源も豊富である。清流仁淀川の源流仁淀ブルーを活かした観光を推進している。

■佐川町

佐川町は、高知県の中西部、愛媛方面への国道とJR土讃線が通る交通の結節点に位置している。江戸時代から続く酒蔵を中心とした町並みを残し、牧野富太郎博士など多くの偉人を輩出したことから「文教のまち」として知られている。

■越知町

越知町は高知県の中央部、清流仁淀川が流れる中山間地域に位置し、町のシンボル横倉山や、夏のキャンプ、カヌー・ラフティング、秋のコスモスまつりなど多くの人を訪れる。また高知ファイティングドッグスのホームタウンとして、スポーツが身近に感じられる町となっている。

■日高村

高知市から約16kmと意外に近い村でありながら、二つのゴルフ場を有し、仁淀川での屋形船やサップなど自然を生かした体験型観光を推進している。特産品はシュガートマトや霧山茶や芋けんぴ。世界的に有名な土佐和紙の生産やオムライス街道など話題に事欠かない村となっている。

＜高幡^{こうばん}地域＞

■須崎市

須崎市は高知県の中西部に位置し、国の重要港湾である須崎港を有するとともに、名物鍋焼きラーメンをはじめ、みょうがやウツボなど特産品が豊富である。また、須崎市マスコットキャラクター「しんじょう君」のイベントなどで全国から多くの人を訪れている。

■中土佐町

中土佐町は、太平洋岸に面した高知県の中西部に位置し、青い海、日本最後の清流四万十川、緑豊かな山野といった自然環境に恵まれた町で、国の重要文化的景観にも選定され、土佐の一本釣り、大正町市場、沈下橋は全国的に有名で県外からも多くの人を訪れている。

■梶原町

梶原町は、高知県の中西部、愛媛県との県境に位置し、四国カルストに抱かれた山間の町で、「雲の上の町」ともよばれている。主要産業の農林業のほか、町内に6つある建築家の隈研吾氏による建造物を生かした観光の取り組みを進め、多くの方々が訪れている。

■津野町

津野町は高知県の中西部に位置し、日本最後の清流四万十川や日本三大カルストのひとつ四国カルスト天狗高原など観光資源が豊富で、津野山古式神楽や花取り踊りなど伝統文化が息づき、特産品のお茶を使った「満天の星大福」など6次産業化の取組を進めている。

■四万十町

四万十町は、高知県の中西部にある山・川・海の自然に囲まれた中山間地域の町で、特産品としてアユや栗焼酎がある。全国的にも有名な四万十川の中流域に位置し、夏場にはラフティングやカヌーなどの川遊びやキャンプが人気となっており、例年多くの観光客が訪れている。

はた <幡多地域>

■宿毛市

宿毛市は四国の西南端に位置し、黒潮の影響を強く受ける宿毛湾は、豊かな漁場となっている。また、県内唯一の有人離島「沖の島」、「鶴来島」は、磯釣りやダイビングのメッカである。温暖な気候を活かし「文旦」、「直七」など、柑橘系果樹栽培が盛んである。

■土佐清水市

土佐清水市は、四国の最南端に位置し、足摺沖の好漁場と風光明媚な自然美を有することから漁業と観光のまちとして栄え、主要魚種のメジカを原料とする宗田節生産量は全国シェアの7割を占め、足摺岬や竜串海岸を中心に年間約65万人の観光客が訪れている。

■四万十市

四万十市は、高知県の西南部「幡多地域」の中央部に位置し、古くから幡多の政治、経済、文化、交通の中心地として栄えてきた。四万十川に代表される豊かな自然や、土佐の小京都として育まれてきた歴史・文化に魅せられ、四季を通じて多くの観光客が訪れている。

■大月町

大月町は、高知県の西南端に位置し、温暖な気候風土に恵まれている。漁業と農業の盛んな町だが、最近では磯釣りやダイビングが楽しめる柏島をはじめ足摺宇和海国立公園の自然美や海中景観など観光面において全国から注目されている。

■三原村

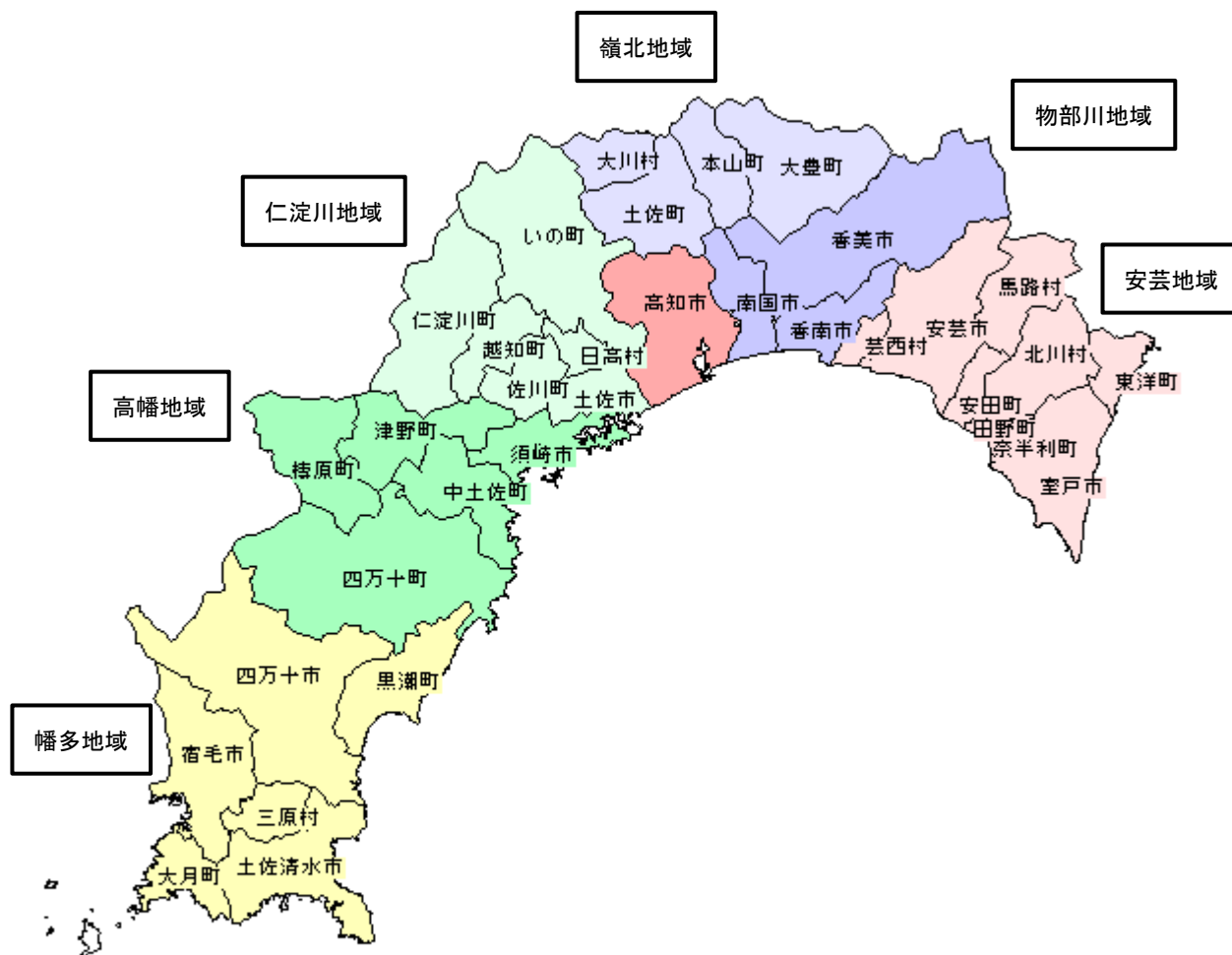
三原村は、高知県西南部の幡多地域に位置し、標高約120mの高原盆地を形成する水と緑の豊かな村である。主要産業は農林業で、米やどぶろくが特産品であるほか、柚子の産地化にも取り組んでいる。

■黒潮町

黒潮町は高知県の西南地域に位置しており、南国特有の温暖な気候で施設園芸や土佐カツオ一本釣り漁業が盛んである。また、美しい4kmの砂浜を活用した「Tシャツアート展」など観光資源も豊富で県外からも多くの人々が訪れている。

図表Ⅱ-1 圏域市町村の位置

国土地理院承認 平14総旗 第149号



高知県

2 人口の動向

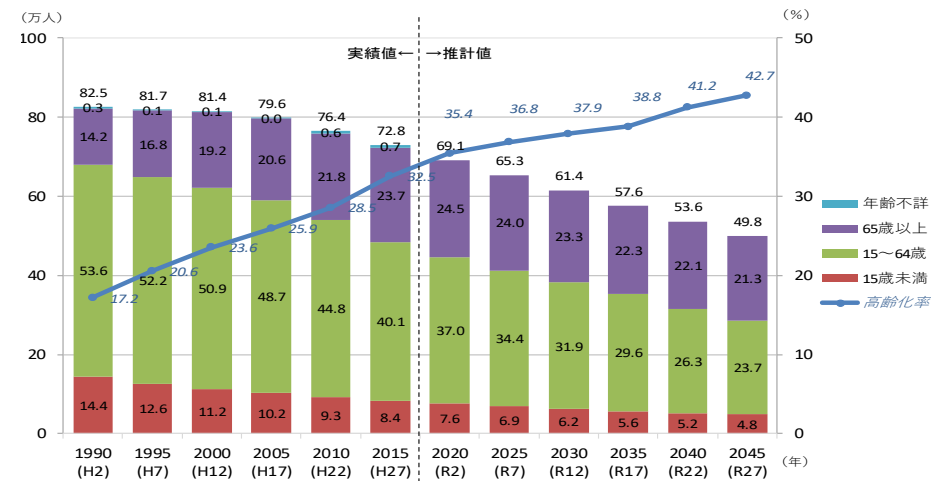
(1)人口の推移と見通し

圏域の総人口は今後も減少することが見込まれており、年少人口と生産年齢人口が減少する一方で、老年人口は2025年以降減少に転じるものの、高齢化率は上昇することが予想されている。

圏域人口を地域別にみると、10万人未満の地域がほとんどである中、高知市は約34万人と圧倒的に多く、人口の約46%が高知市に集中している。また、人口の減少は、連携中枢都市圏に比べ、れんけいこうち広域都市圏においてより顕著に表れており、いずれにおいても高齢化率は上昇し続けている。

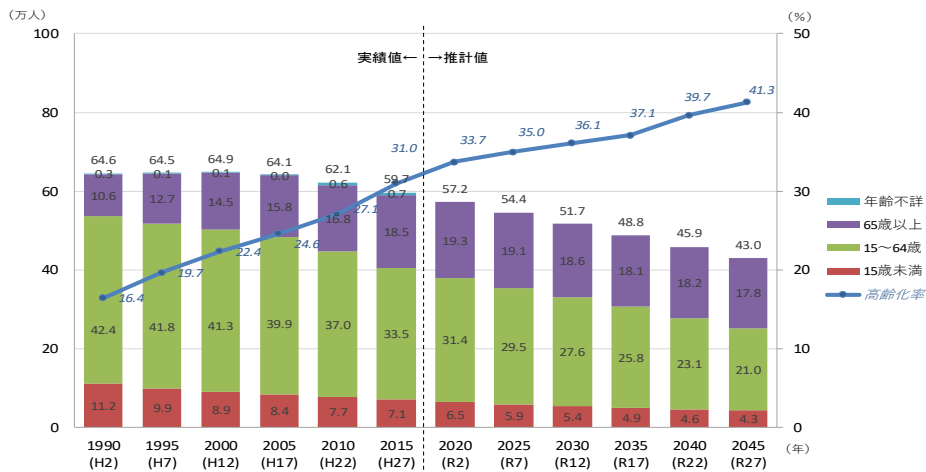
人口減少と高齢化の進行が著しい地域においても、住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、生活関連機能サービスの維持が求められるほか、経済活動の活性化や高知市及び県外との経済交流、それに伴う交流人口の増加等、地域振興につながる取組に圏域全体で取り組むことが必要になる。

図表Ⅱ-2 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し(れんけいこうち広域都市圏)



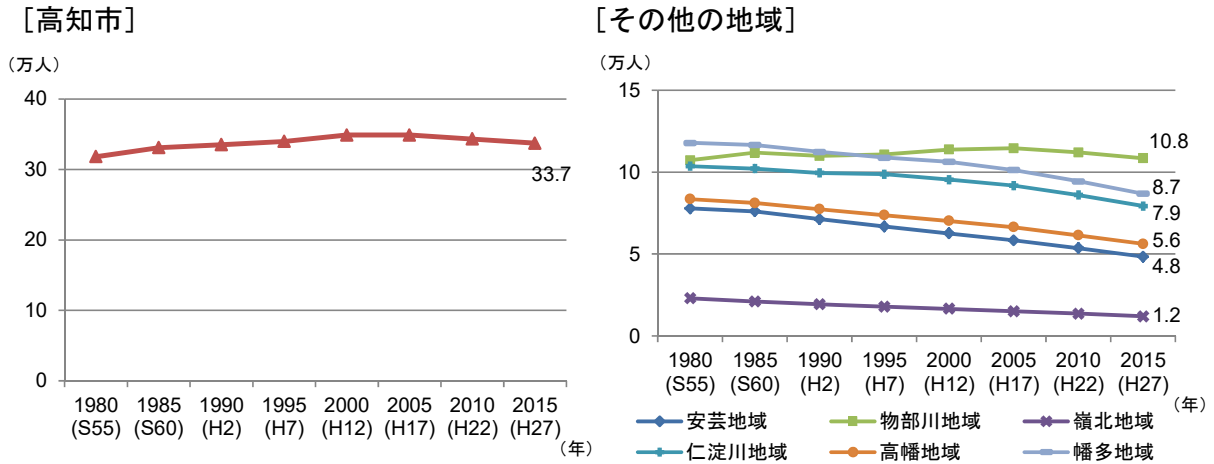
(資料)総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

図表Ⅱ-3 年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し(連携中枢都市圏)



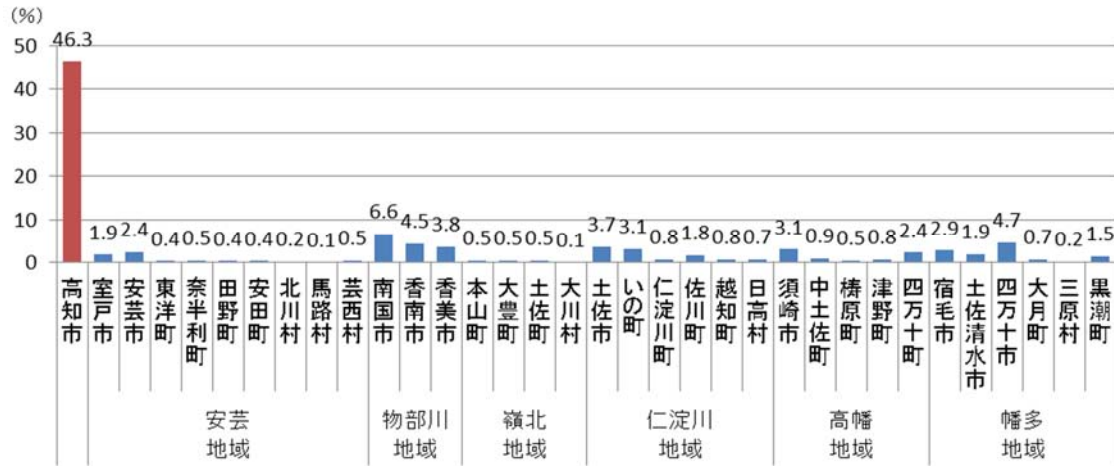
(資料)総務省「国勢調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

図表Ⅱ-4 県の総人口の推移(地域別)



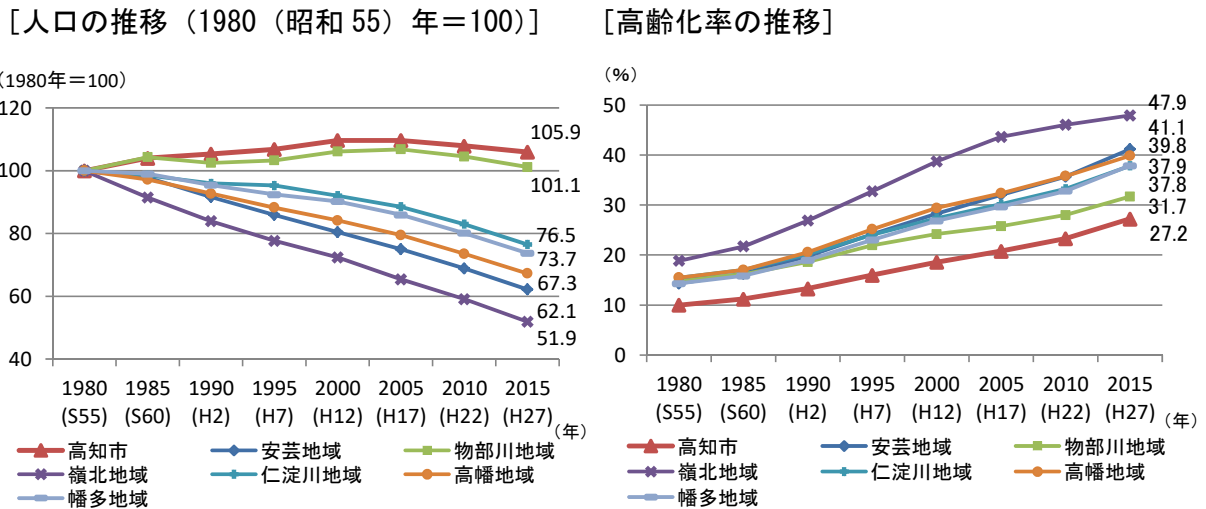
(資料) 総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-5 県の総人口に占める市町村別の人口構成比(2015(平成27)年)



(資料) 総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-6 地域別人口(1980(昭和55)年=100)及び高齢化率の推移

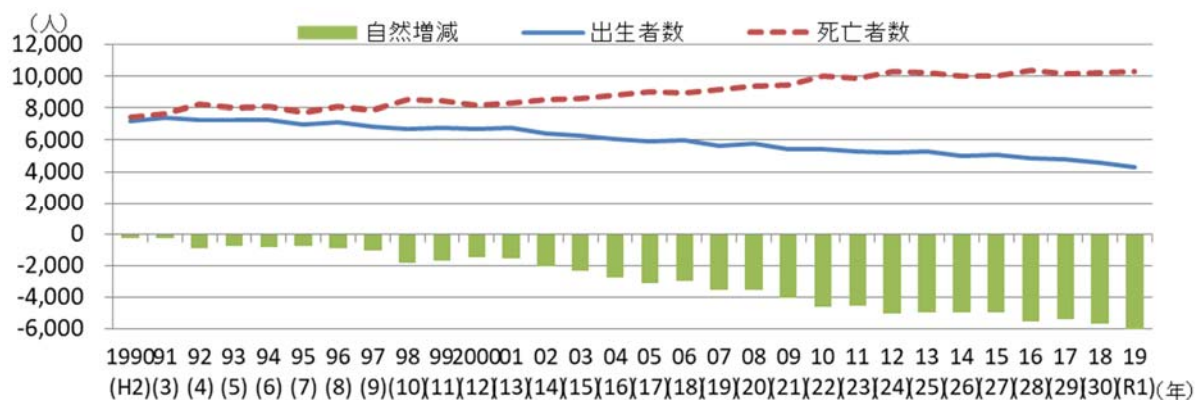


(資料) 総務省「国勢調査」

(2) 自然増減の動向

圏域の自然増減（出生者数・死亡者数）の動向をみると、1990（平成2）年以降一貫して自然減が続いており、またその規模も拡大している。出生者数の増加は地域の活力維持につながるため、どの地域でも安心して出産・子育てができる環境づくりが求められる。

図表Ⅱ-7 自然増減の推移



（資料）国土地理協会「住民基本台帳 人口・世帯数表」

(3) 社会増減と移住の状況

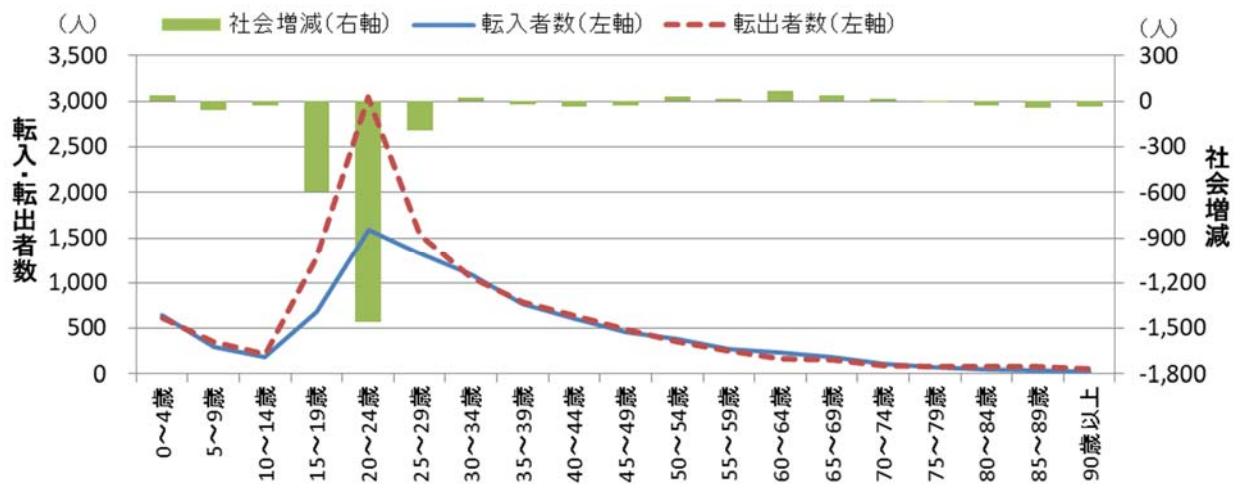
圏域における社会増減（転入者数・転出者数）の状況を年齢5歳階級別にみると、15～19歳や20～24歳における社会減が著しく、多くの若者が進学や就職を機に圏域外に転出していることが推察される。

また、圏域内の地域別に、相手先地域別の純移動数の状況をみると、県内では物部川地域を除く各地域から高知市に向けて人口が流入していること、また、比較的人口規模が大きい物部川地域と仁淀川地域では、高知市以外の県内他地域から人口が流入していることがわかる。一方で、高知市からは、県内から流入した人口以上の規模で県外に人口が流出しており、特に関西地域と東京圏への人口流出が大きい。

若い世代をはじめとする人口ができるだけ地域に留まれるよう、それぞれの地域での雇用の創出や生活利便性の維持・向上が求められるとともに、高知市には、他地域から流入した人口を県外に流出させないダム機能と、高知市から各地域に人口が移動するようなポンプ機能を備えることが求められる。

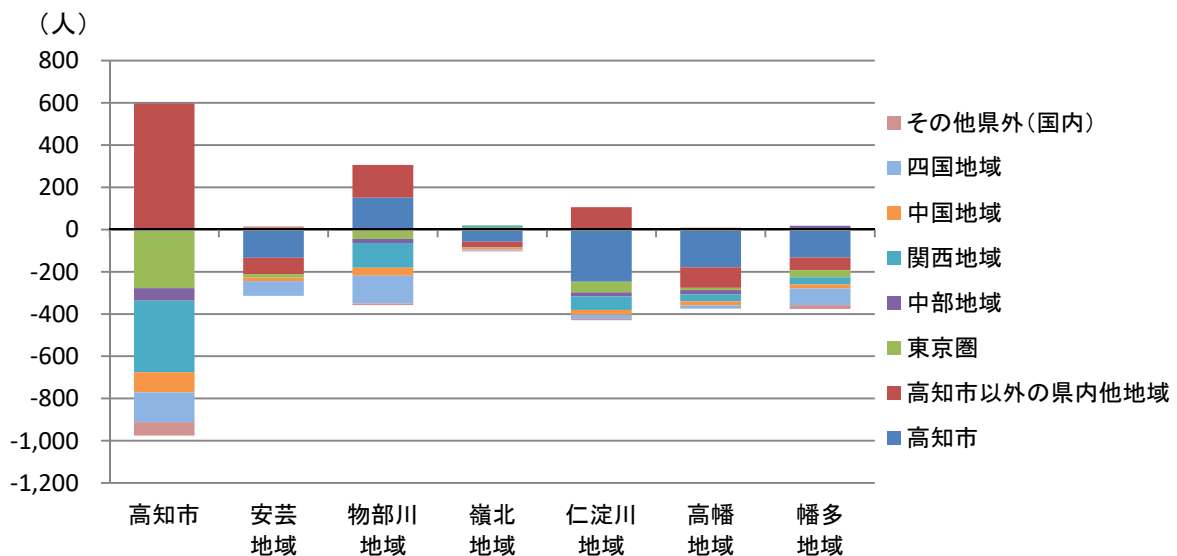
一方で、圏域内各地域への移住組数は年々増加しており、特に2013（平成25）年以降は大きく増加している。また、移住先は各地域に分散しており、特に幡多地域は、高知市から比較的距離があるにもかかわらず多くの移住者を集めているなど、地域ごとの魅力が県外に伝わり、理解されていることがうかがえる。

図表Ⅱ-8 年齢5歳階級別の転出入の状況(2015(平成27)年~2019(令和元)年平均)



(資料)総務省「住民基本台帳人口移動報告」

図表Ⅱ-9 相手先地域別純移動数の状況(地域別・2012(平成24)年・2013(平成25)年平均)



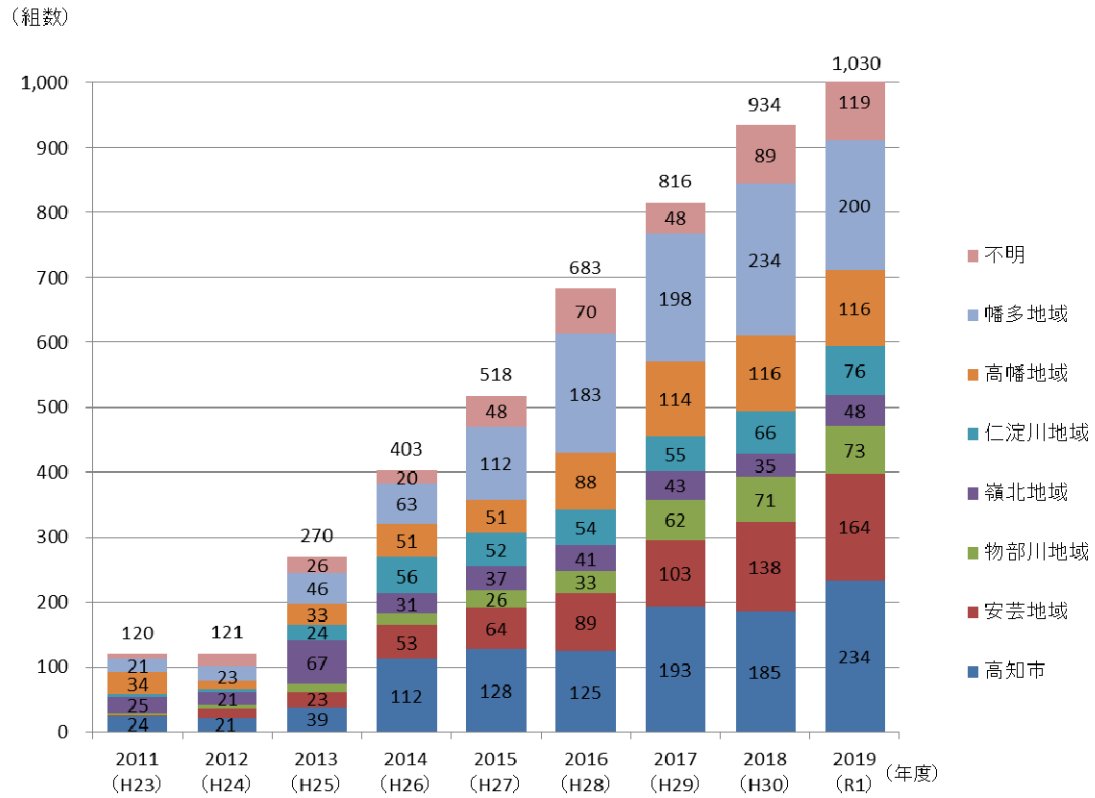
(注)東京圏:埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県

中部地域:新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 愛知県

関西地域:三重県, 滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県

(資料)総務省「住民基本台帳人口移動報告」

図表Ⅱ-10 移住組数の推移(地域別)



(注1) 各年度における移住組数。
 (注2) 20人未満は値ラベルの表示を省略している。
 (資料) 高知県資料より作成

3 経済・産業の動向

(1) 産業構造

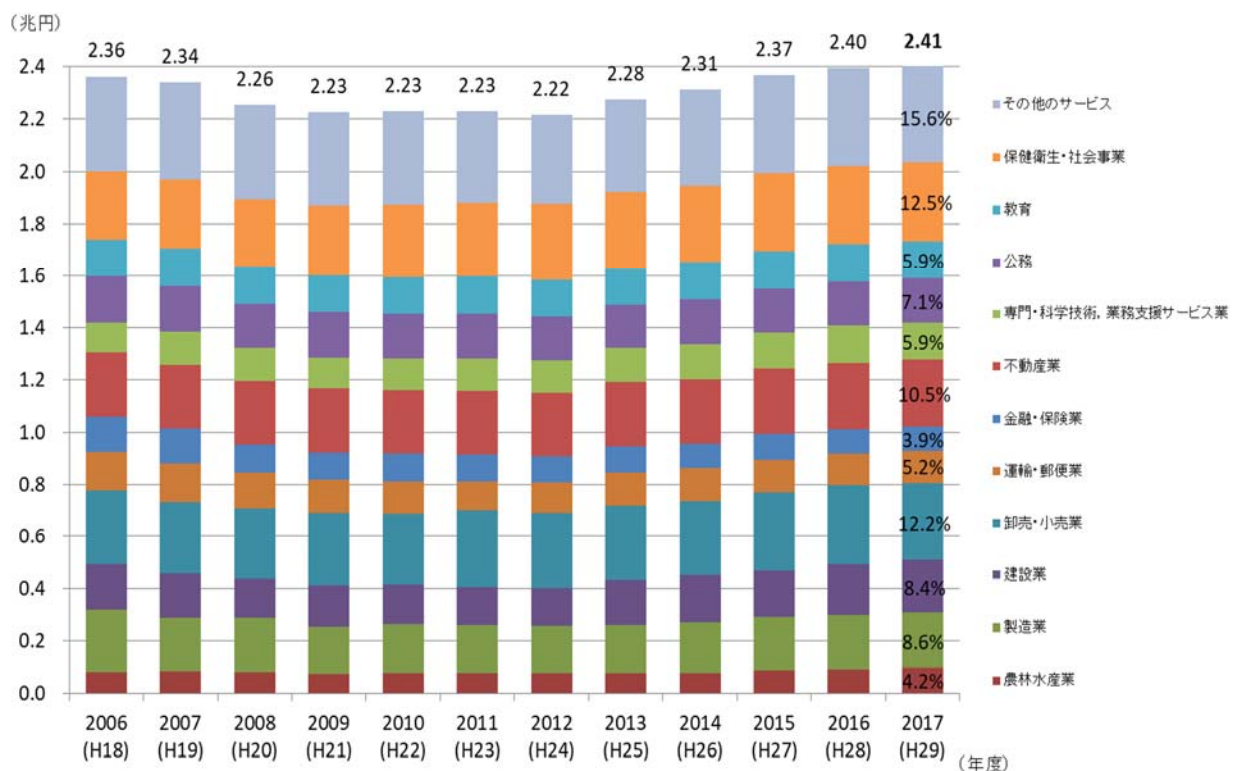
圏域における総生産は、2012（平成24）年度まで減少傾向にあったが、2013（平成25）年度以降は増加傾向に転じている。

圏域の生産額に占める構成比が最も大きい産業は保健衛生・社会事業であり、次いで卸売・小売業、不動産業が大きく、ともに総額の1割以上を占めている。それ以外では、製造業、建設業などの構成比が大きい。

次に、2015（平成27）年における産業別の就業者数から産業構造をみると、全ての地域に共通して構成比が大きいのは、卸売業、小売業と医療、福祉である。また、高知市以外の地域では、農業の構成比も大きく、特に安芸地域や嶺北地域、高幡地域では約2割を占めている。さらに、物部川地域と仁淀川地域では、製造業の構成比が大きく、上記の産業に並ぶ水準である。

就業者数の変化をみると、2005（平成17）年から2015（平成27）年にかけて、いずれの地域でも減少しており、特に農業、建設業、卸売・小売業における就業者数の減少は顕著である。

図表Ⅱ-11 経済活動別総生産の推移



(注1)「輸入品に課される税・関税」及び「(控除)総資本形成に係る消費税」は含まない。

(注2)農林水産業及び1,000億円以上の産業以外は「その他のサービス」にまとめた。

(注3)2016(平成28)年度の基準改定により、経済活動分類及び総生産が過去に遡って変更されている。

(資料)高知県「平成29年度 市町村経済統計」

図表Ⅱ-12 産業別15歳以上就業者数の構成比(地域別・2015(平成27)年)

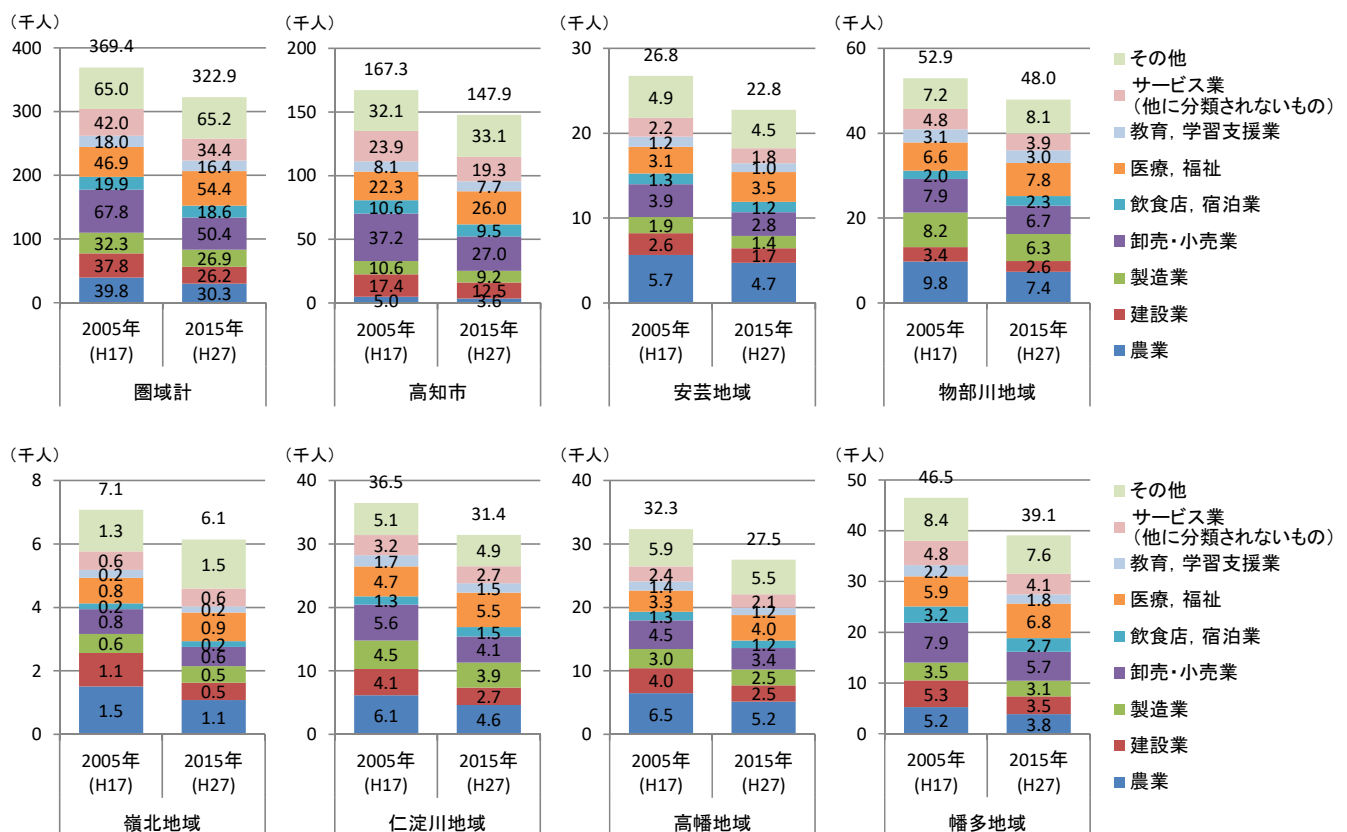
業種	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	322,875	147,948	22,766	47,987	6,142	31,430	27,535	39,067
農業	9.4%	2.4%	20.7%	15.3%	17.6%	14.7%	18.8%	9.8%
林業	0.9%	0.2%	1.7%	0.4%	10.2%	0.8%	2.7%	1.3%
漁業	1.1%	0.1%	3.6%	0.3%	0.1%	0.4%	2.5%	4.3%
鉱業,採石業,砂利採取業	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.5%	0.4%	0.0%
建設業	8.1%	8.5%	7.7%	5.3%	8.9%	8.7%	9.2%	9.0%
製造業	8.3%	6.2%	6.3%	13.2%	8.5%	12.5%	9.0%	7.9%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.5%	0.6%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	0.4%	0.5%
情報通信業	1.1%	1.9%	0.2%	0.9%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%
運輸業,郵便業	3.4%	3.7%	2.4%	4.2%	2.4%	2.5%	3.3%	2.6%
卸売業,小売業	15.6%	18.3%	12.3%	13.9%	9.9%	13.2%	12.3%	14.6%
金融業,保険業	2.2%	3.3%	1.0%	1.2%	0.9%	1.1%	0.9%	1.9%
不動産業,物品賃貸業	1.2%	1.9%	0.4%	0.9%	0.1%	0.7%	0.3%	0.7%
学術研究,専門・技術サービス業	2.4%	3.3%	1.1%	1.8%	1.6%	1.6%	1.3%	2.0%
宿泊業,飲食サービス業	5.8%	6.4%	5.4%	4.8%	2.9%	4.6%	4.4%	6.9%
生活関連サービス業,娯楽業	3.4%	3.9%	3.1%	2.9%	3.0%	2.8%	2.4%	3.5%
教育,学習支援業	5.1%	5.2%	4.6%	6.2%	3.1%	4.7%	4.3%	4.6%
医療,福祉	16.9%	17.6%	15.4%	16.2%	14.8%	17.4%	14.4%	17.4%
複合サービス業	1.6%	0.7%	3.1%	1.7%	3.5%	2.4%	2.8%	2.2%
サービス業(他に分類されないもの)	4.9%	5.9%	3.6%	3.5%	4.6%	4.1%	4.0%	4.9%
公務(他に分類されるものを除く)	4.8%	4.7%	5.5%	4.6%	6.8%	5.1%	4.8%	4.5%
分類不能の産業	3.3%	5.3%	1.6%	2.2%	0.5%	1.7%	1.5%	1.0%

(注1) 従業地による就業者数。

(注2) グレーの網掛けは就業者数の構成比が10%以上の産業。

(資料) 総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-13 主要産業別15歳以上就業者数の変化(地域別)



(注1) 従業地による就業者数。

(注2) 2015(平成27)年の圏域計で構成比が5%以上のものを主要産業とし, それ以外の産業を「その他」として束ねている。

(注3) 産業分類が改訂されているため, 2005(平成17)年の産業分類に合わせて2015(平成27)年の産業分類を統合している。(以下同様)

(資料) 総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-14 産業別15歳以上就業者数の増減(地域別・2005(平成17)年→2015(平成27)年)

業種	(単位:人)							
	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数	-46,564	-19,392	-3,989	-4,953	-935	-5,045	-4,807	-7,443
農業	-9,420	-1,434	-932	-2,411	-426	-1,528	-1,302	-1,387
林業	709	29	40	93	338	42	-46	213
漁業	-1,511	-108	-323	-23	-1	-180	-244	-632
鉱業	-174	-28	-14	-31	-2	-26	-54	-19
建設業	-11,643	-4,878	-813	-856	-511	-1,406	-1,429	-1,750
製造業	-5,412	-1,454	-503	-1,841	-80	-594	-496	-444
電気・ガス・熱供給・水道業	114	119	-5	-3	-6	0	-17	26
情報通信業	-516	-478	-20	-29	1	-11	7	14
運輸業	-2,194	-1,612	-138	31	-16	-134	-108	-217
卸売・小売業	-17,388	-10,153	-1,068	-1,232	-173	-1,477	-1,142	-2,143
金融・保険業	-1,305	-773	-68	-53	-11	-61	-94	-245
不動産業	1,213	608	54	210	7	141	54	139
飲食店、宿泊業	-1,286	-1,108	-31	339	-4	129	-137	-474
医療、福祉	7,548	3,663	368	1,170	99	762	634	852
教育、学習支援業	-1,611	-369	-146	-79	-57	-261	-258	-441
複合サービス事業	-2,336	-654	-260	-246	-127	-320	-308	-421
サービス業(他に分類されないもの)	-7,551	-4,626	-457	-889	-19	-528	-253	-779
公務(他に分類されないもの)	-39	-247	2	212	28	28	-1	-61
分類不能の産業	6,238	4,111	325	685	25	379	387	326

(注1) 従業地による就業者数。

(注2) 産業分類が改訂されているため、2005(平成17)年の産業分類に合わせて2015(平成27)年の産業分類を統合したうえで、増減を計算している。また、データの制約上、2015(平成27)年の「運輸業」には「郵便業」が含まれている。

(資料) 総務省「国勢調査」

(2) 農林漁業

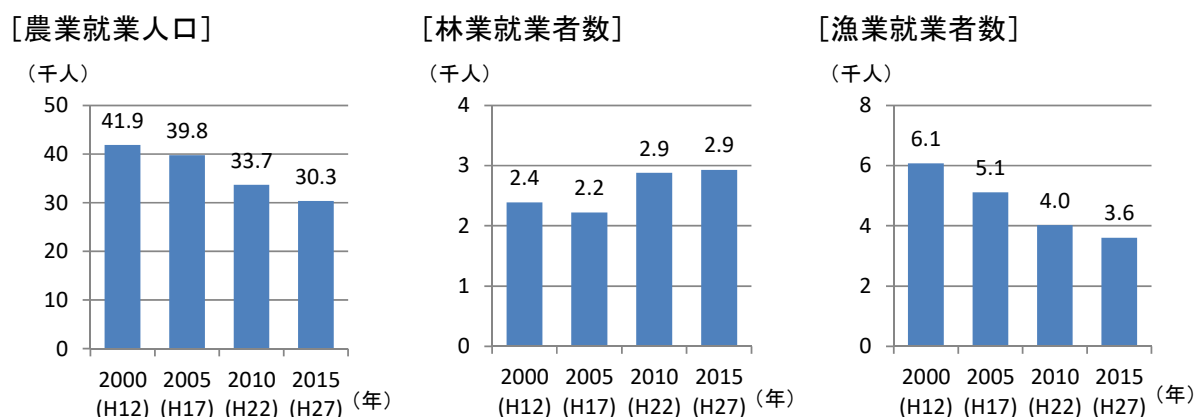
就業者数の構成比が大きい農業における就業人口は、2000(平成12)年から2015(平成27)年の15年間で、約1万2千人減少している。また、漁業についても同様で、約3千人減少しており、農業、漁業については、担い手の確保が喫緊の課題である。

一方、林業では、一度減少したものの、直近では回復しているため、今後もこの傾向を維持していくことが求められる。

圏域における主な1次産業産品には、ナスやしょうがをはじめとする野菜や、文旦、柚子等の柑橘類のほか、杉、桧等の林産品、カツオ、金目鯛等の水産品がある。

また、圏域内の各地で、1次産業を核とした地域産業クラスタープロジェクトの取組が進んでいる。

図表Ⅱ-15 農林漁業就業者数の推移



(注) 従業地による就業者数。(資料) 総務省「国勢調査」

図表Ⅱ-16 圏域における主な1次産業産品

地域	市町村	1次産業産品
高知市	高知市	グロリオサ, きゅうり, トマト, 新高梨, しょうが
安芸	室戸市	金目鯛, ナス, びわ, ナガレコ, サツマイモ
	安芸市	ナス, 柚子, シラス, 土佐ジロー, 入河内大根
	東洋町	トマト, ナス, マグロ, アユ, ポンカン
	奈半利町	いちじく, スイカ, 金目鯛, 豚(肉), 米
	田野町	オクラ, 米, 土佐和牛(肉), ナス, 茶
	安田町	アユ, ナス, 柚子, オクラ, 自然薯
	北川村	柚子, ナス, ミョウガ, オクラ, 鹿(肉)
	馬路村	柚子, 魚梁瀬杉, 桧, アユ, 米
	芸西村	ナス, ピーマン, ブルースター, トルコギキョウ, 土佐鴨
物部川	南国市	米, しょうが, シントウ, 軍鶏, 四方竹
	香南市	シイラ, どろめ, ニラ, みかん, メロン
	香美市	ニラ, やっこねぎ, 柚子, 青ねぎ, オクラ
嶺北	本山町	米(土佐天空の郷), しょうが, 三色ピーマン, 土佐和牛(肉), 米ナス
	大豊町	米, 柚子, 猪・鹿(肉), 銀不老, ぜんまい
	土佐町	米, 米ナス, ゆり, 杉, 土佐あかうし(肉)
	大川村	土佐はちきん地鶏, 大川黒牛, ほうれん草, カラーピーマン, 花卉(ゆり)
仁淀川	土佐市	土佐文旦, しょうが, メロン, ゆり, 一本釣りうるめ
	いの町	しょうが, 白芽芋, マンゴー, 柚子, きゅうり
	仁淀川町	茶, トマト, 杉, 桧, 文旦
	佐川町	いちご, 新高梨, 牛乳(ぢちち), ニラ, 茶
	越知町	山椒, しょうが, 文旦, アユ, 土佐和牛(肉)
	日高村	トマト, しょうが, 米, 茶, オクラ
高幡	須崎市	ミョウガ, きゅうり, ポンカン, ウツボ, ソウダカツオ(メジカ)
	中土佐町	カツオ, ソウダカツオ(メジカ), 米, 七面鳥(肉), 桧
	梶原町	米ナス, ミョウガ, 甘長トウガラシ, 原木しいたけ, 土佐和牛(肉)
	津野町	しょうが, 茶, ミョウガ, シントウ, 米ナス
	四万十町	米, しょうが, 桧, アユ, 豚(肉)
幡多	宿毛市	直七(酢蜜柑), 文旦, イチゴ, きびなご, ぶり(養殖)
	土佐清水市	ソウダカツオ(メジカ), 清水サバ, 土佐極鶏あしずりキング, あしずり黒潮米, きゅうり
	四万十市	ぶしゅかん, 四万十農法米, 栗, アユ, 桧
	大月町	イチゴ, ナス, シントウ, クロマグロ(養殖), ぶり
	三原村	米, トマト, 柚子, 茶, 桧
	黒潮町	カツオ, きゅうり, ニラ, ミョウガ, しめじ

(資料)各市町村への照会により作成

図表Ⅱ-17 第1次産業を核とした地域産業クラスターに関する取組の状況

地域	市町村	プロジェクト名称	取組概要
高知市	高知市	竹資源活用クラスタープロジェクト	県産竹材を活用した素材生産や製品加工を拡大するとともに、竹材の集荷や一次加工、竹加工品の販売など竹資源を活用した新たな事業を展開し、竹産業の振興と中山間地域における雇用の創出を図る。
安芸	安芸市	日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト	県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を目指して、新技術の定着や担い手対策を進める。また、ナスの機能性表示を生かした青果販売や新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店等での利用促進に取り組み、クラスターの形成を図る。
物部川	南国市	南国市農業クラスタープロジェクト	主要農産物であるニラ、シシトウ、ピーマン類と「還元野菜」の生産拡大を核に、市内の消費拡大(地産地消)や加工品の開発及び観光などとの連携(地産外商)を強化し、「南国野菜」の産業クラスター化を通じて、南国市の特色を生かした「稼げる農業」の実践により、地域活性化に繋げる。
	香南市・香美市	日本一のニラ産地拡大プロジェクト	日本一の生産量を誇るJA高知県(香美地区)におけるニラの生産拡大を目指し、3つの生産拡大プロジェクトに取り組むとともに、新たな加工品の開発、地元飲食店でのメニュー開発等により、クラスターの形成を図る。
嶺北	全域	嶺北畜産クラスタープロジェクト	「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さめうら湖や山岳資源を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業等の展開も検討する。
		嶺北林業クラスタープロジェクト	嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。
		本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト	次世代型園芸ハウスの整備等による農産物の生産拡大や担い手の確保を行うとともに、交流人口の拡大に向けた取組等との連携により、クラスターの形成を図る。
仁淀川	日高村	日高村トマト産地拡大クラスタープロジェクト	日高トマト生産団地の拡大の取組を核として、中山間複合経営拠点の整備とも併せ、関連するJA出荷場、農産品加工施設、直販所、地元レストラン等が連携し、クラスターの形成を図る。
	いの町	いの町生姜生産・販売拡大クラスタープロジェクト	いの町での生姜生産を核として、生姜の集出荷場整備を契機に、生姜生産農家、地元加工業者や直販所、道の駅、学校及び商工会等が連携し、生産から販売、人材育成までの好循環を生み出す。
	佐川町	佐川町における自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化クラスタープロジェクト	自伐型林業の取組を中心に、担い手の育成確保を含めた自伐型林業のビジネスモデルづくりのほか、町産材等を使ったモノづくりの人材育成や拠点整備、道の駅等の整備により、町内の6次産業化を進める。

地域	市町村	プロジェクト名称	取組概要
仁淀川	仁淀川町	仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業クラスタープロジェクト	(株)フードプランの県外量販店等との取引拡大を図る。併せて、流域食材のブランド化による観光振興、加工・業務用野菜の産地形成を推進する。
仁淀川 高幡	土佐市・ 須崎市	宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト	うるめいわし、あさり、ブランド真鯛の水産資源を活用した加工業や、ホエールウォッシング、釣り筏などの遊漁、周辺の宿泊施設等が連携してクラスターの形成を図る。
高幡	四万十町	四万十次世代ハウス団地におけるトマト栽培の経営強化クラスタープロジェクト	次世代施設園芸団地で栽培されているトマトの病虫害防除対策の確立により生産を安定させるとともに、加工品の販売促進や輸出の検討を行い、次世代団地の経営強化を図る。
		四万十のうまい豚クラスタープロジェクト	安心・安全な豚肉を安定的に消費者に提供できる体制を再構築し、関係機関が連携して一体的な取り組みを進め、四万十町産豚肉のブランド価値の向上と関連産業を含めた収益性の向上を目指す。
		四万十のうまい栗クラスタープロジェクト	北幡地域で生産される栗の産地力強化に向け、新改植を進めるとともに、低樹高栽培の普及や労働力補完の仕組みづくり等により生産拡大を図る。また、2次加工施設の整備などを行い、安定的な加工商品の生産と需要の拡大を図り、中山間地域の活性化を目指す。
幡多	土佐清水市	土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト	地域の基幹産業であるメジカ加工業を核に、漁業者から飲食・観光を含めた産業クラスターの川上から川下に至る各業種が有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。
	宿毛市・ 大月町	宿毛・大月養殖ビジネス高度化クラスタープロジェクト	県内屈指の生産量を誇る宿毛湾の養殖業を核に、生産者はもとより養殖業に直接関わる餌や種苗の販売事業者に加え、流通・加工・販売関連の事業者、さらに飲食や観光など地域の賑わいを支えている事業者などが有機的に連携し、新たな雇用の創出や交流人口の拡大につなげ、地域全体の拡大再生産を目指す。
	宿毛市	宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	宿毛市の主要農産物である文旦等の柑橘類とイチゴの生産拡大を核に、食品加工、観光などと連携して産業クラスター化を図り、地域の活性化を目指す。

(資料)高知県資料

(3) 製造業

2018（平成30）年における業種別の従業者数構成比で製造業の構造をみると、圏域全体では食料品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、生産用機械器具製造業における構成比が大きくなっており、特に食料品製造業では2割を超えている。

地域別では、嶺北地域を除いて食料品製造業の構成比が大きいほか、製造業の従業者数構成比が大きい物部川地域では生産用機械器具製造業が2割以上、仁淀川地域ではパルプ・紙・紙加工品製造業が4割以上にのぼる。また、嶺北地域と高幡地域では、木材・木製品製造業と窯業・土石製品製造業の構成比が比較的大きい。

圏域における主な2次産業産品には、農水産物を活用した加工食品や、皿鉢料理、田舎寿司等の郷土料理のほか、和紙、紙加工品、打刃物、木製品・木工品等の地場産業産品、室戸海洋深層水等がある。

圏域における製造品出荷額等は、2009（平成21）年に大きく落ちこんだものの、2011（平成23）年に増加に転じて以降増加を続けており、特に機械器具製造業で増加している。しかし、従業者数は物部川地域を除く地域で減少しており、特に電気機械器具製造業での落ち込みが顕著である。

多くの地域で一定の集積があり、製造品出荷額等の規模も比較的大きい食料品製造業は、圏域内で一定の従業者規模をもつ農業とつながりが強いため、地産地消はもちろんのこと、6次産業化やブランド化により外貨を獲得できる産業に育成することが求められる。

また、食料品以外で圏域の強みや特徴となり得るパルプ・紙・紙加工品製造業や、機械器具製造業についても、地域経済をけん引する産業として規模の維持・拡大を図ることが望ましい。

図表Ⅱ-18 製造業の業種別従業者数の構成比(地域別・2018(平成30)年)

		(単位:人)							
業種	圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域	
総数	25,553	7,303	1,261	7,223	450	4,069	2,426	2,821	
食料品製造業	24.1%	31.3%	25.2%	17.2%	12.2%	14.9%	21.7%	40.1%	
飲料・たばこ・飼料製造業	2.3%	1.2%	20.0%	0.4%	3.3%	2.0%	3.4%	1.2%	
繊維工業	5.3%	1.8%	6.5%	3.5%	32.9%	7.4%	4.6%	11.4%	
木材・木製品製造業(家具を除く)	4.2%	2.5%	4.1%	1.1%	29.6%	5.0%	14.3%	2.6%	
家具・装備品製造業	1.1%	1.3%	0.0%	1.4%	0.0%	0.3%	0.7%	2.1%	
パルプ・紙・紙加工品製造業	10.9%	5.6%	5.8%	7.6%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	
印刷・同関連業	3.0%	6.7%	0.0%	1.8%	1.1%	2.0%	0.7%	1.6%	
化学工業	1.1%	1.7%	3.4%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	3.0%	
石油製品・石炭製品製造業	0.2%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	2.6%	2.0%	0.5%	4.7%	0.0%	1.0%	0.7%	3.4%	
なめし革・同製品・毛皮製造業	0.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
窯業・土石製品製造業	5.7%	3.3%	8.3%	3.3%	13.1%	4.1%	18.4%	6.6%	
鉄鋼業	3.8%	8.8%	8.7%	2.9%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	
非鉄金属製造業	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%	0.0%	
金属製品製造業	4.1%	5.7%	1.3%	4.3%	4.2%	3.6%	1.5%	3.1%	
はん用機械器具製造業	3.1%	4.3%	7.6%	4.9%	3.6%	0.3%	0.0%	0.3%	
生産用機械器具製造業	11.6%	9.4%	1.4%	22.7%	0.0%	2.8%	13.7%	6.7%	
業務用機械器具製造業	2.4%	2.0%	0.0%	3.6%	0.0%	2.8%	3.5%	0.0%	
電子部品・デバイス・電子回路製造業	3.0%	1.0%	0.0%	6.3%	0.0%	4.2%	0.5%	1.8%	
電気機械器具製造業	3.0%	1.7%	0.8%	2.0%	0.0%	5.5%	1.8%	8.0%	
輸送用機械器具製造業	3.2%	5.4%	1.9%	3.8%	0.0%	0.1%	0.6%	4.1%	
その他の製造業	4.3%	3.9%	4.5%	7.3%	0.0%	0.7%	4.4%	3.8%	

(注) グレーの網掛けは就業者数の構成比が10%以上の産業。

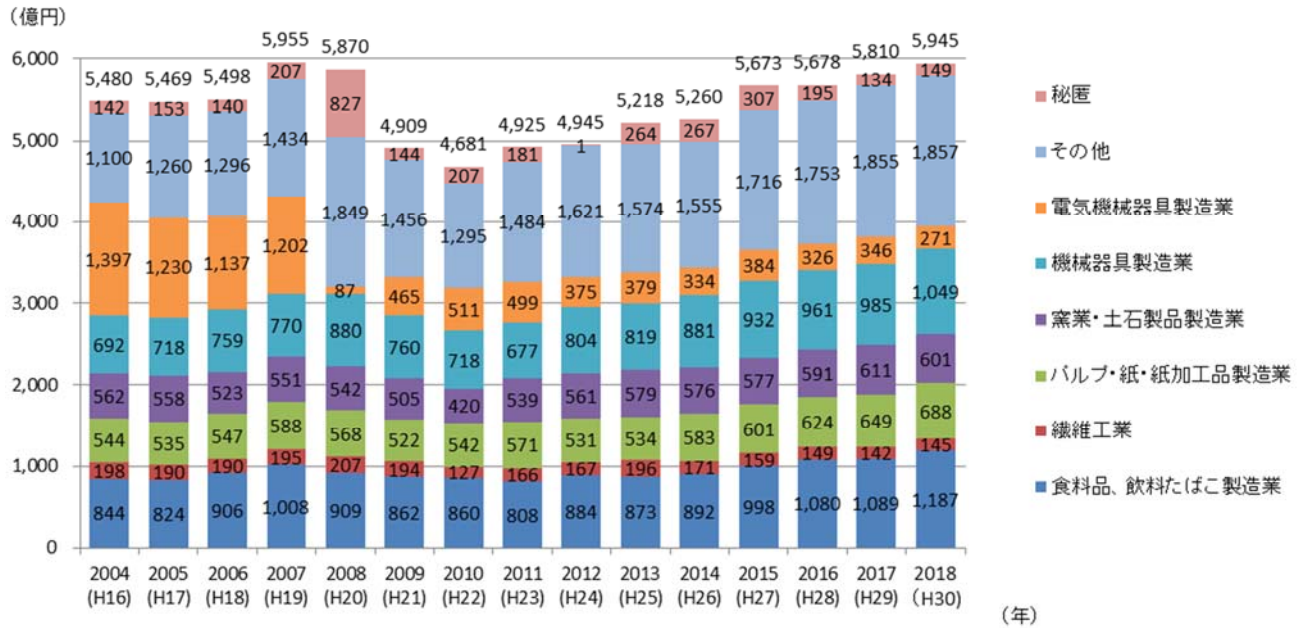
(資料) 高知県「工業統計調査」

図表Ⅱ-19 圏域における主な2次産業産品

地域	市町村	2次産業産品
高知市	高知市	皿鉢料理, 石灰石, 紙加工品, 宝石珊瑚, 油圧機械
安芸	室戸市	室戸海洋深層水, 土佐備長炭, 塩干品, 水産練製品, 鍛造品
	安芸市	芋ケンピ, ちりめんじゃこ, 陶芸品, 土佐瓦, 土佐の清酒
	東洋町	こけら寿司
	奈半利町	船舶, 塩干品, 皿鉢料理, 田舎寿司, 味噌
	田野町	アイスクリン, 塩干品, 皿鉢料理, 土佐の清酒, 天日塩
	安田町	土佐の清酒, 土佐の焼酎, 土佐の名水, 田舎寿司, 塩干品
	北川村	柚子加工飲食料品, 田舎寿司, かんばんもち(芋の餅)
	馬路村	柚子加工飲食料品, 木製品, 木工品, 化粧品
	芸西村	白玉糖(黒砂糖), 土佐の清酒(しらぎく), 黒砂糖加工品
物部川	南国市	農器具部品, 猟銃, 電子部品, 土佐打刃物, ちりめんじゃこ
	香南市	ちりめんじゃこ, 水産練製品, 土佐の清酒, 工作機械, 鋳造品・鋳鋼品
	香美市	土佐打刃物, フラフ・のぼり, 木工品, 土佐瓦, 猟銃部品
嶺北	本山町	木レース等の木工製品, 柚子加工品, しそ加工品, 米焼酎, どぶろく
	大豊町	碁石茶, 柚子飲料, どぶろく, 製材製品, 柚子製品
	土佐町	土佐の清酒(桂月), 米粉・米粉加工品, 木工品, 柚子加工品, ワイン
	大川村	木材加工品(家具等)
仁淀川	土佐市	土佐和紙, 紙製品, 土佐の地酒, ウツボのたたき, 鯉節
	いの町	手漉き和紙, 機械抄き紙, 不織布, 土佐の清酒, 氷菓
	仁淀川町	石灰石, 土佐和紙, 木工品
	佐川町	土佐の清酒(司牡丹), デジタルによるものづくり, 土佐瓦, 山椒餅, アイスクリン
	越知町	芋ケンピ, 柚子飲料
	日高村	機械抄き紙, 紙加工品, 芋ケンピ, トマト加工品, オムライス
高幡	須崎市	鍋焼きラーメン, 石灰石, 土佐打刃物, 竹加工品
	中土佐町	カツオのたたき, 精密機械器具, 土佐の清酒, 土佐の名水, 天日塩
	梶原町	皿鉢料理, 木質ペレット, 猟銃部品, ジビエ加工品
	津野町	田舎寿司, 茶製品(菓子等), 精密機械器具
	四万十町	田舎寿司, 皿鉢料理, 集成材, 土佐の焼酎, 土佐の清酒
幡多	宿毛市	宝石珊瑚, 木質ペレット, 水産練製品, 土佐の焼酎, 塩干品
	土佐清水市	宗田節, 姫カツオ, 焼きサバ寿司, 塩干品
	四万十市	ぶしゅかん加工品, 水産練製品, 柚子加工品, 田舎寿司, 皿鉢料理
	大月町	塩干品, 海藻加工品, 水産練製品, 土佐備長炭, 宝石珊瑚
	三原村	皿鉢料理, トマト加工品, 柚子加工品, 土佐硯, どぶろく
	黒潮町	天日塩, 黒砂糖, ジーンズ, カツオのたたき, 和紙の手漉き製紙

(資料)各市町村への照会により作成

図表Ⅱ-20 製造業の産業別製造品出荷額等の推移



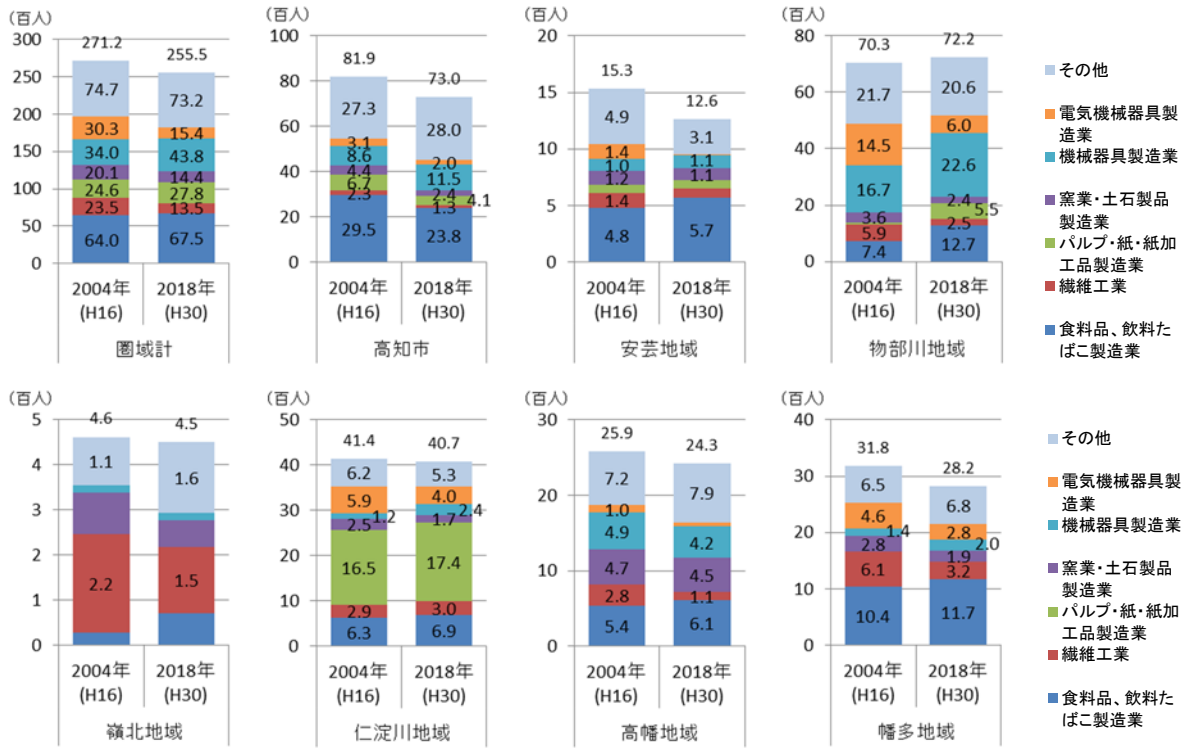
(注1) 産業分類が改訂されているため、2004(平成16)年の産業分類に合わせて産業分類を統合している。
 (注2) 秘匿業種があるため、合計から公表業種の値を引いたものを「秘匿」として表示している。
 (注3) 2008(平成20)年のみ、「電気機械器具製造業」に含まれる「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の値が秘匿されている。
 (資料) 高知県「工業統計調査」

図表Ⅱ-21 製造業の業種別従業者数の増減数(地域別・2004(平成16)年→2018(平成30)年)

業種		圏域計	高知市	安芸地域	物部川地域	嶺北地域	仁淀川地域	高幡地域	幡多地域
総数		-1,566	-884	-272	192	-12	-74	-159	-357
	食料品、飲料たばこ製造業	350	-574	95	531	43	61	71	123
	繊維工業	-1,003	-104	-56	-332	-71	15	-163	-292
	木材・木製品製造業	-380	9	-139	-93	32	-25	-65	-99
	家具・装備品製造業	-124	-32	-9	-61	0	-17	-12	7
	パルプ・紙・紙加工品製造業	324	-254	2	484	0	92	0	0
	印刷・同関連業	-291	-175	-14	22	-2	-64	-46	-12
	化学工業	10	3	-43	20	0	-1	0	31
	石油製品・石炭製品	19	13	0	0	0	1	0	5
	プラスチック製品製造業	24	-36	6	-12	0	29	-19	56
	なめし革・同製品・毛皮製造業	-14	-7	0	47	0	-12	-24	-18
	窯業・土石製品製造業	-567	-200	-17	-122	-33	-85	-18	-92
	鉄鋼業	270	56	36	167	0	-5	16	0
	非鉄金属製造業	134	0	0	-61	0	0	206	-11
	金属製品製造業	48	71	-5	7	19	19	26	-89
	機械器具製造業	985	285	11	590	0	116	-74	57
	電気機械器具製造業	-1,499	-109	-127	-848	0	-190	-45	-180
	輸送用機械器具製造業	75	83	2	-102	0	-5	-2	99
	その他の製造業	73	87	-14	-45	0	-3	-10	58

(注) 産業分類が改訂されているため、2004(平成16)年の産業分類に合わせて2018(平成30)年の産業分類を統合したうえで増減を計算している。
 (資料) 高知県「工業統計調査」

図表Ⅱ-22 製造業の主要業種別従業者数の変化(地域別)



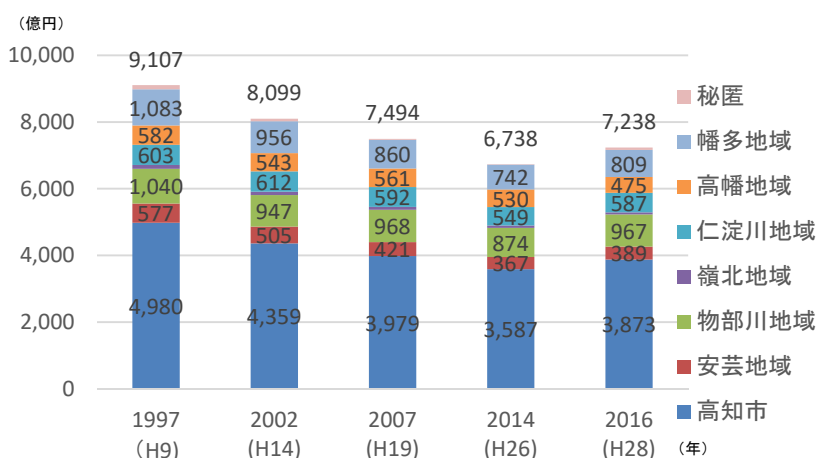
(注1) 産業分類が改訂されているため、2004(平成16)年の産業分類に合わせて2018(平成30)年の産業分類を統合している。
 (注2) 2018(平成30)年の圏域計で構成比が5%以上の業種を含むものを主要業種とし、それ以外の業種を「その他」として束ねている。
 (注3) 100人未満は値ラベルの表示を省略している。
 (資料) 高知県「工業統計調査」

(4)小売業

小売業の売場面積は 2007（平成 19）年以降全ての地域で減少しているが、年間商品販売額は 1997（平成 9）年以降減少していたものの、2014（平成 26）年を底として 2016（平成 28）年には増加に転じている。2014（平成 26）年以降の売場面積の減少と商品販売額の増加という状況からは、店舗数が減少しているものの、1店舗当たりの商品販売額は増加していると推察される。

店舗の減少は、人口減少が進行している地域では住民の利便性の低下につながる恐れがあることから、生活に欠かせない小売業を維持するための取組が必要になると考えられる。

図表Ⅱ-23 地域別小売業の年間商品販売額の推移

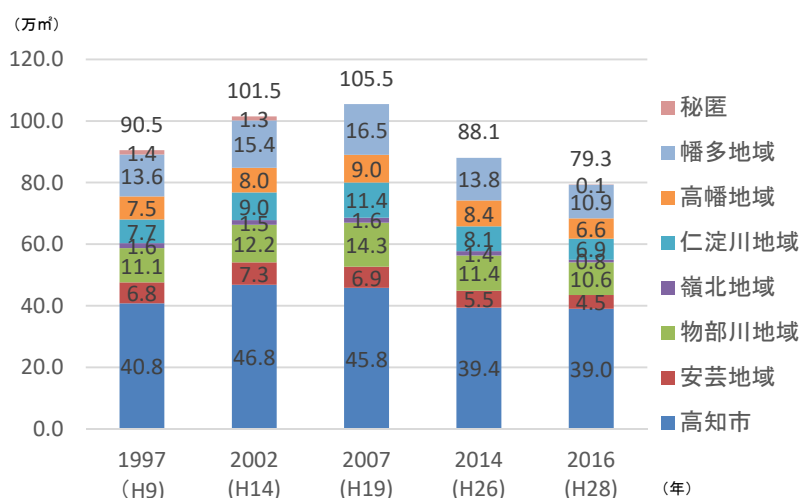


(注1) 秘匿町村があるため、合計から公表市町村の値を引いたものを「秘匿」として表示している。

(注2) 300億円未満は値ラベルの表示を省略している。

(資料) 経済産業省「商業統計」, 「経済サンセス-活動調査」

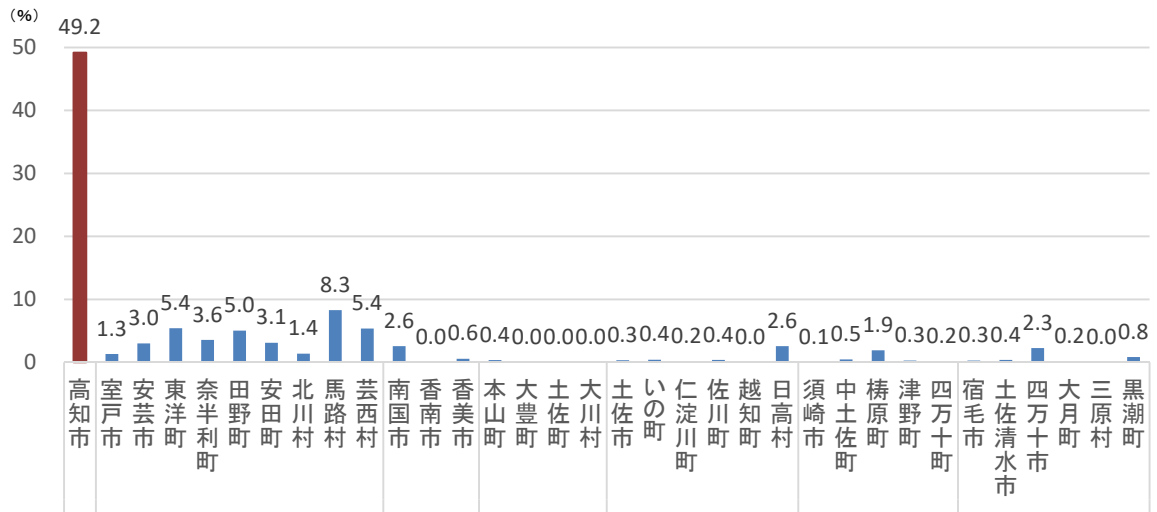
図表Ⅱ-24 地域別小売業の売場面積の推移



(注) 秘匿町村があるため、合計から公表市町村の値を引いたものを「秘匿」として表示している。

(資料) 経済産業省「商業統計」, 「経済サンセス-活動調査」

図表Ⅱ-25 県全体の売場面積に占める市町村別売場面積の構成比(2016(平成28)年)



(注)「0.0」表示の町村には、秘匿町村を含む。

(資料)経済産業省「経済サンセス-活動調査」

図表Ⅱ-26 主な大型商業施設(店舗面積 5,000 m²以上)

所在地	店舗名	売場面積(m ²)
高知市	イオンモール高知(イオン高知店)	44,464 m ²
	高知大丸本館・東館	14,613 m ²
	フジグラン高知	14,360 m ²
	イオン高知旭町店	13,217 m ²
	高知パワーセンター(スポーツデポ高知店)	11,015 m ²
	フジグラン葛島	10,868 m ²
	Shimadaya HOME&LIFE 高知店	7,267 m ²
	家電住まいる館 YAMADA 高知本店	6,988 m ²
	コンピュータタウンこうち, ちより街テラス	5,585 m ²
	DCM ダイキ御座店	5,570 m ²
	ニトリ高知店	5,317 m ²
	ニトリ高知土佐道路店	5,132 m ²
南国市	マルナカ南国店食彩館 B	6,147 m ²
	サニーアクシス南国店	5,883 m ²
土佐市	Shimadaya HOME&LIFE 土佐店	6,065 m ²
須崎市	マルナカ須崎店	8,002 m ²
	フジ須崎店	5,874 m ²
四万十市	フジグラン四万十	10,491 m ²
	マルナカ四万十店	8,127 m ²
	サニータウン四万十(サニーマート四万十店)	7,600 m ²
香南市	フジグラン野市	11,435 m ²
いの町	サニーアクシスイの店	8,110 m ²

(資料)東洋経済新報社「全国大型小売店総覧 2021」

(5) 観光

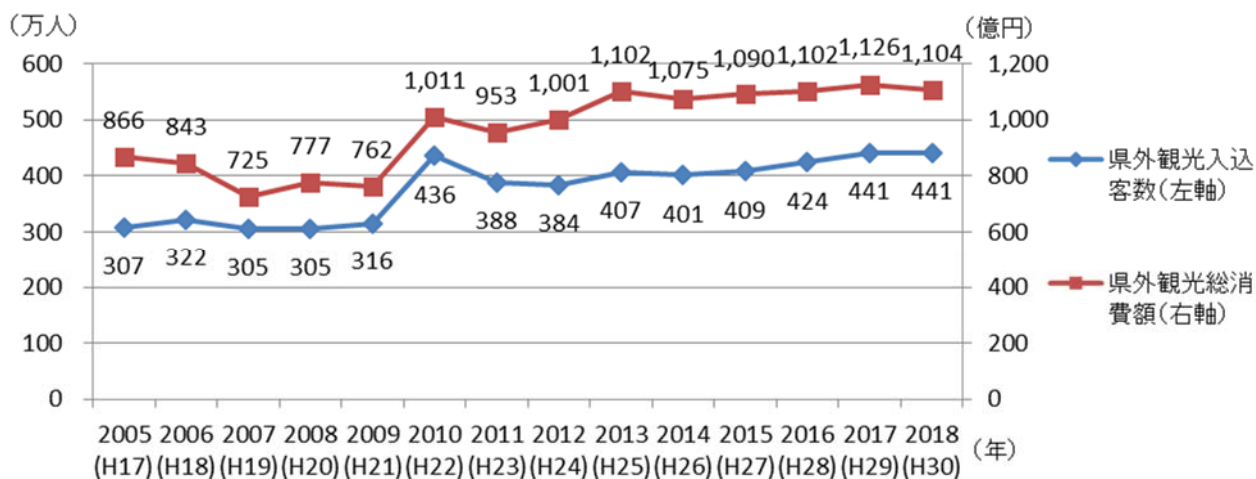
圏域における県外からの観光入込客数は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送や「土佐・龍馬であい博」の開催、高速道路料金の割引等の効果もあり、2010（平成22）年には前年を約120万人上回る勢いで増加するとともに400万人観光を実現し、県外観光総消費額は1千億円を超えた。2011（平成23）年にはその反動で減少に転じたものの、2013（平成25）年に再び400万人台となっており、以降は観光入込客数、県外観光総消費額ともに増加傾向で推移している。

また、観光施設利用実績の推移も、概ね観光入込客数と同様の傾向を示している。地域別では、高知市に立地する施設の利用者数が最も多いが、物部川地域における利用者も比較的多く、それ以外の地域でも比較的大きな増加が見られる年次がある。

観光客の出発地の地域ブロック別構成比を見ると、四国や近畿などの近場が6割程度を占めている。また、宿泊の傾向としては日帰りまたは1泊の観光客が7割以上を占めている。

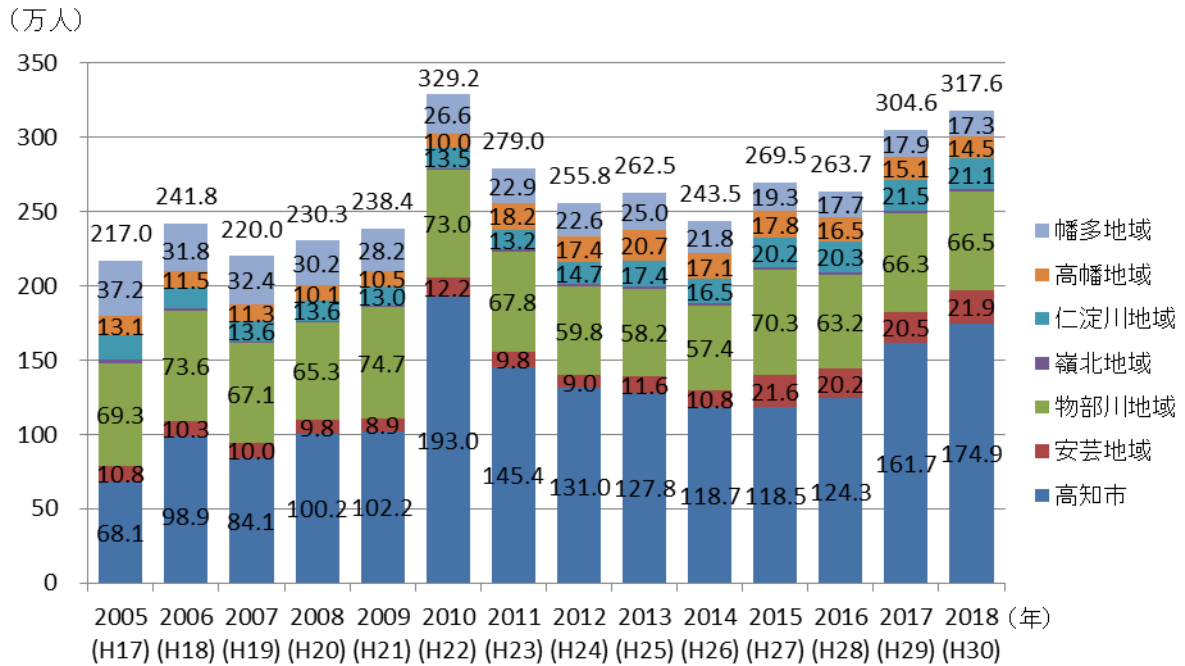
魅力的な資源の発掘・創出及び活用や、それらの効果的なPRを行うことで、高知市以外の地域に観光客を誘導することも十分可能であり、また、広域観光の場合は滞在時間が長くなり、宿泊が伴うことも予想される。さらに、外国人観光客のさらなる増加や、リピーターによる地方観光の増加など、ますますの観光需要が見込まれる。そのため、圏域全体で、情報発信や受入態勢の整備に取り組むことで、外貨獲得の機会をしっかりと捉えることが求められる。

図表Ⅱ-27 県外からの観光入込客数及び県外観光客の総消費額の推移



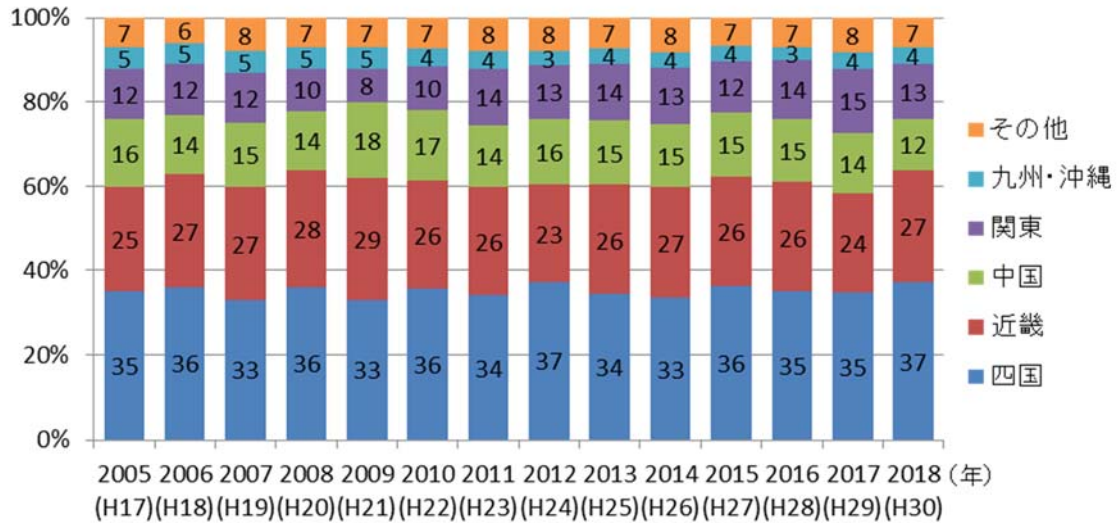
(資料)高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表Ⅱ-28 観光施設利用実績の推移



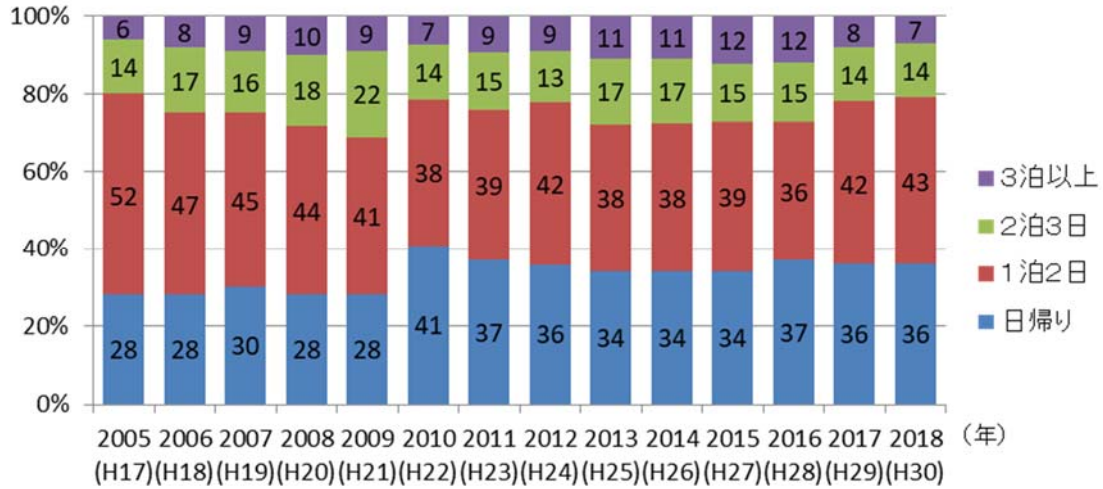
(注1) 観光施設における利用者数を集計したものであり、観光入込客数とは一致しない。
 (注2) 5万人未満は値ラベルの表示を省略している。
 (資料) 高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表Ⅱ-29 発地ブロック別県外観光入込客数構成比の推移



(資料) 高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表Ⅱ-30 日帰り／宿泊別県外観光入込客数構成比の推移



(資料)高知県「県外観光客入込・動態調査報告書」

図表Ⅱ-31 圏域内の主要な観光資源

地域	市町村	観光資源
高知市	高知市	高知城, 街路市, 桂浜, はりまや橋, 路面電車
安芸	室戸市	室戸ユネスコ世界ジオパーク, むろと廃校水族館, 吉良川町のまちなみ, だるま朝日・だるま夕日, 四国八十八箇所霊場と遍路道
	安芸市	野良時計, 岩崎彌太郎生家, 土居廓中(武家屋敷), 伊尾木洞, 童謡の里
	東洋町	白浜海水浴場, 生見サーフィンビーチ, 野根川
	奈半利町	サンゴ礁, 奈半利町伝統的建造物群, 野根山街道, ふるさと海岸, 琵琶ヶ滝
	田野町	だるま夕日, 岡御殿, 二十三士公園, 森林鉄道, 天日塩
	安田町	四国八十八箇所霊場と遍路道, 魚梁瀬森林鉄道遺構, ごめん・なはり線, 高知の山里, だるま朝日・だるま夕日
	北川村	中岡慎太郎館, モネの庭マルモッタン, 北川村温泉, 森林鉄道, 野根山街道
	馬路村	千本山, 朝日出の大杉, 旧魚梁瀬森林鉄道施設, 安田川, 馬路温泉
	芸西村	琴ヶ浜松原, メランジュ帯, 琴ヶ浜野外劇場, 伝承館, 旧末延堂医院
物部川	南国市	岡豊城跡, ものづくりサポートセンター, 土佐オナガドリ発祥の地, 西島園芸団地, 県立歴史民俗資料館
	香南市	どろめ祭り, 絵金, 弁天座, 手結住吉県立自然公園, ごめん・なはり線
	香美市	龍河洞, 轟の滝, ベふ峡, アンパンマンミュージアム, 秦山公園
嶺北	本山町	県立自然公園帰全山公園, 県立自然公園白髪山(白骨林と根下り松), 工石山の紅廉石, 汗見川溪谷と枕状溶岩, モンベルアウトドアヴィレッジ本山
	大豊町	吉野川, 杉の大杉, ラフティング, 梶ヶ森, ゆとりすとパーク
	土佐町	湖の駅さめうらレイクタウン, 吉野川, さめうら湖(早明浦ダム湖), 瀬戸川溪谷, 稲村山
	大川村	大座礼山, 平家平, 小金滝, 大北川溪谷, 早明浦ダム湖

地域	市町村	観光資源
仁淀川	土佐市	五色の浜横浪メランジュ, 仁淀川, 大綱まつり, 鎌田井筋, 四国八十八箇所霊場と遍路道
	いの町	紙の博物館, 土佐和紙工芸村, グリーン・パークほどの, 道の駅木の香, 町道瓶ヶ森線(UFOライン)
	仁淀川町	秋葉祭り, 土佐の神楽, 沈下橋, 仁淀川, 桜
	佐川町	酒蔵の町並み, 長谷溪谷(シャワークライミング), 牧野公園(牧野富太郎の植物), 青山文庫(江戸幕末期資料), 地質館
	越知町	高知の山里, コスモスまつり, 沈下橋, 仁淀川, キャンプ場
	日高村	沈下橋, 屋形船・仁淀川, 猿田洞, 調整池(フットパス), 日下川放水トンネル(インフラツーリズム)
高幡	須崎市	須崎市マスコットキャラクター「しんじょう君」, 二尺玉花火, 横浪黒潮ライン, 大谷のクスノキ, 上分大日如来座像
	中土佐町	大正町市場, 四万十川(沈下橋), 黒潮本陣・黒潮工房, 上ノ加江漁業体験, 矢井賀釣りイカダ
	梶原町	土佐の神楽(津野山神楽), 坂本龍馬脱藩の道, 四国カルスト, 森林セラピー基地・ロード, 隈研吾施設群
	津野町	津野山古式神楽, 四国カルスト, 四万十川源流点, 風車(風力発電), 長沢の滝
	四万十町	四国八十八箇所霊場と遍路道, 四万十川, 海洋堂ホビー館, 沈下橋, こいのぼりの川渡し
幡多	宿毛市	だるま夕日, 横瀬川ダムクライミング施設, 四国八十八箇所霊場と遍路道, 足摺宇和海国立公園(沖の島, 鶴来島), 宿毛まちのえき林邸
	土佐清水市	竜串・見残し海岸, SATOUMI, ジョン万次郎資料館, 足摺海底館, スノーピーク土佐清水キャンプフィールド
	四万十市	四万十川, Shimanto+Terrace はれのば, トンボ王国(トンボ自然公園), 道の駅よつて西土佐, 四万十川の駅カヌー館
	大月町	足摺宇和海国立公園, サンゴ礁, 四国八十八箇所霊場と遍路道, 宿毛湾, 風車(風力発電)
	三原村	山里の景観と田園風景, ヒメノボタンの里公園, 今ノ山, 里の古木, どぶろく農林文化祭
	黒潮町	入野松原(国指定文化財)・入野海岸, カツオふれあいセンター黒潮一番館, 大方ホエールウォッチング, 土佐西南大規模公園, 砂浜美術館

(資料)各市町村への照会により作成

(6)産業支援機関等の状況

圏域内には、工業や農林水産業など、専門分野の技術支援による産業振興を図る試験研究機関や、業種を問わず、中小企業等を支援する様々な機関が立地している。試験研究機関は、地場産業等に対応する形で、様々な地域に立地しているが、各種産業及び中小企業を対象とした支援機関は、高知市に集中している。

また、雇用促進や職業能力開発に関する機関は、高知市が多くなっているものの、各地域にも設置されている。

図表Ⅱ-32 産業支援機関等の状況

区分	分類	地域	施設・機関名 ※()は立地市町村名				
産業振興・中小企業等支援施設及び機関	工業系試験研究機関	高知市	高知県工業技術センター				
		安芸	高知県海洋深層水研究所(室戸市)				
		仁淀川	高知県立紙産業技術センター(いの町)				
	農林水産業系試験研究機関	高知市	高知県農業技術センター果樹試験場 高知県環境研究センター				
		物部川	高知県農業技術センター(南国市) 高知県病害虫防除所(南国市) 高知県立森林技術センター(香美市)				
			高知県内水面漁業センター(香美市)				
			仁淀川	高知県農業技術センター茶業試験場(仁淀川町) 高知県畜産試験場(佐川町)			
		高幡	高知県水産試験場(須崎市)				
		幡多	高知県水産試験場古満目分場(大月町)				
		各種産業及び中小企業等支援機関	高知市	高知県移住促進・人材確保センター 一般財団法人 高知県地産外商公社高知事務所 公益社団法人 高知県貿易協会 公益財団法人 高知県産業振興センター 高知県働き方改革推進支援センター 高知県ものづくり地産地消・外商センター 高知県事業引継ぎ支援センター ジェトロ<日本貿易振興機構>高知 高知県中小企業再生支援協議会 高知県経営改善支援センター 高知県中小企業団体中央会 一般社団法人 高知県発明協会 高知県産学官民連携センター 高知大学 高知県立大学 高知工科大学			
	物部川			公益財団法人 高知県観光コンベンション協会 高知大学(南国市) 高知工科大学(香美市) 高知工業高等専門学校(南国市)			
				幡多	高知県働き方改革推進支援センター幡多出張所		
	各市町村			商工会議所及び商工会			
	展示施設			高知市	高知ちばさんセンター 高知県立地域職業訓練センター		
					雇用促進・職業能力開発機関	高知市	高知県立高知高等技術学校 ハローワーク高知 ハローワークジョブセンターはりまや ハローワーク高知若者相談コーナー ジョブカフェうち ポリテクセンター高知 株式会社 高知ソフトウェアセンター 高知県職業能力開発協会 ひとり親家庭等就業・自立支援センター 高知家の女性しごと応援室 一般社団法人 高知県漁業就業支援センター
	安芸			ハローワーク安芸(安芸市)			
	物部川			高知県立林業大学校(香美市) 高知県林業労働力確保支援センター ハローワーク香美(香美市) 株式会社 南国オフィスパークセンター(南国市)			
				仁淀川			ポリテクカレッジ高知(香南市) 高知県立農業大学校(いの町) ハローワークいの(いの町)
				高幡			高知県立農業担い手育成センター(四万十町) ハローワーク須崎(須崎市)
	幡多			高知県立中村高等技術学校(四万十市) ハローワーク四万十(四万十市)			
				各市町村			ジョブカフェうち幡多サテライト(四万十市) シルバー人材センター

(資料)高知県資料

4 高次都市機能の状況

(1) 行政機関

行政機関は高知市に立地しているものが多いが、管轄省庁によっては高知市以外の地域に関連機関を設置しているところもある。

図表Ⅱ-33 行政機関の立地状況

府省名	機関名
総務省	高知行政監視行政相談センター
法務省	高知地方法務局 高知地方法務局各支局(安芸市, 香美市, 須崎市, 四万十市) 高知地方検察庁 高知地方検察庁各支部(安芸市, 須崎市, 四万十市) 高知刑務所 高知保護観察所 高知少年鑑別所 高松入国管理局高知出張所
財務省	神戸税関高知税関支署 神戸税関高知税関支署出張所(須崎市) 四国財務局高知財務事務所 各税務署(高知市, 安芸市, 南国市, いの町, 須崎市, 四万十市)
厚生労働省	高知労働局 各労働基準監督署(高知市, 安芸市, 須崎市, 四万十市) 各公共職業安定所(高知市, 安芸市, いの町, 須崎市, 四万十市) 高知公共職業安定所出張所(香美市) 広島検疫所高知出張所 中四国厚生支局高知事務所
農林水産省	四国森林管理局 各森林管理署(安芸市, 香美市, 本山町, 四万十市) 四万十川森林ふれあい推進センター(四万十市) 神戸植物防疫所坂出支所高知出張所 中四国農政局高知県拠点
国土交通省	高知海上保安部 各海上保安署(宿毛市, 土佐清水市) 高知地方气象台 四国運輸局高知運輸支局本庁舎・大津庁舎 大阪航空局高知空港事務所 四国地方整備局各河川国道事務所(高知市, 四万十市, 宿毛市, 仁淀川町)
環境省	土佐清水自然保護官事務所(土佐清水市)
防衛省	自衛隊高知地方協力本部 陸上自衛隊高知駐屯地(香南市)
裁判所	高知地方裁判所 高知地方裁判所各支部(安芸市, 須崎市, 四万十市) 高知家庭裁判所 高知簡易裁判所 高知検察審査会
日本年金機構	高知事務センター 各年金事務所(高知市, 南国市, 四万十市)

(注)所在地の記載がない機関は高知市に立地している。

(資料)高知県資料

(2) 医療機関

三次救急医療については、高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院（全て高知市）がその機能を提供しており、二次救急医療施設が各地域の医療をカバーしている。

また、周産期医療、小児救命救急医療等における高度医療については、それぞれ高知医療センター、高知大学医学部附属病院（南国市）、高知赤十字病院（小児のみ）等が医療提供を行っている。

図表Ⅱ-34 医療機関の立地状況

■救急医療

種別	地域	市町村	機関名称		
三次救急医療施設 (救命救急センター)	高知市	高知市	高知医療センター、高知赤十字病院、近森病院		
二次救急医療施設 (救急告示病院・診療所)	高知市	高知市	愛宕病院、いづみの病院、内田脳神経外科、国吉病院、高知医療センター、高知生協病院、高知整形・脳外科病院、高知赤十字病院、高知脳神経外科病院、国立病院機構高知病院、田中整形外科病院、近森病院、凶南病院、細木病院、高知高須病院、もみのき病院、地域医療機能推進機構高知西病院、永井病院、島津病院		
			安芸	安芸市	あき総合病院、森澤病院
			安芸	田野町	田野病院
			物部川	南国市	高知大学医学部附属病院、JA高知病院、南国中央病院
				香南市	野市中央病院
				香美市	前田メディカルクリニック
			嶺北	本山町	嶺北中央病院
			仁淀川	土佐市	土佐市民病院
				いの町	仁淀病院
				佐川町	高北国民健康保険病院、清和病院
	越知町	北島病院、前田病院、山崎外科整形外科病院			
	高幡	須崎市	須崎くろしお病院		
		梶原町	梶原病院		
		四万十町	くぼかわ病院		
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院		
		土佐清水市	渭南病院		
		大月町	大月病院		
二次救急医療施設 (病院群輪番制病院)	安芸	安芸市	あき総合病院、森澤病院		
		田野町	田野病院		
	高幡	須崎市	高陵病院、須崎くろしお病院		
		梶原町	梶原病院		
		四万十町	大西病院、くぼかわ病院		
	幡多	宿毛市	大井田病院、幡多けんみん病院		
		土佐清水市	渭南病院		
		四万十市	木俵病院、四万十市立市民病院、竹本病院、幡多病院、森下病院		
大月町		大月病院			
休日夜間急患センター	高知市	高知市	休日夜間急患センター		

■周産期医療

種別	地域	市町村	機関名称
総合周産期母子医療センター	高知市	高知市	高知医療センター
地域周産期母子医療センター	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院

■小児救急医療

種別	地域	市町村	機関名称
入院小児救急医療機関 (小児科病院群輪番制病院)	高知市	高知市	高知医療センター, 高知赤十字病院, 国立病院機構高知病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院, JA高知病院
入院小児救急医療機関 (小児科医師対応の救急告示病院)	安芸	安芸市	あき総合病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院
小児救命救急医療機関	高知市	高知市	高知医療センター, 高知赤十字病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院
平日夜間小児急患センター	高知市	高知市	平日夜間小児急患センター

■災害医療

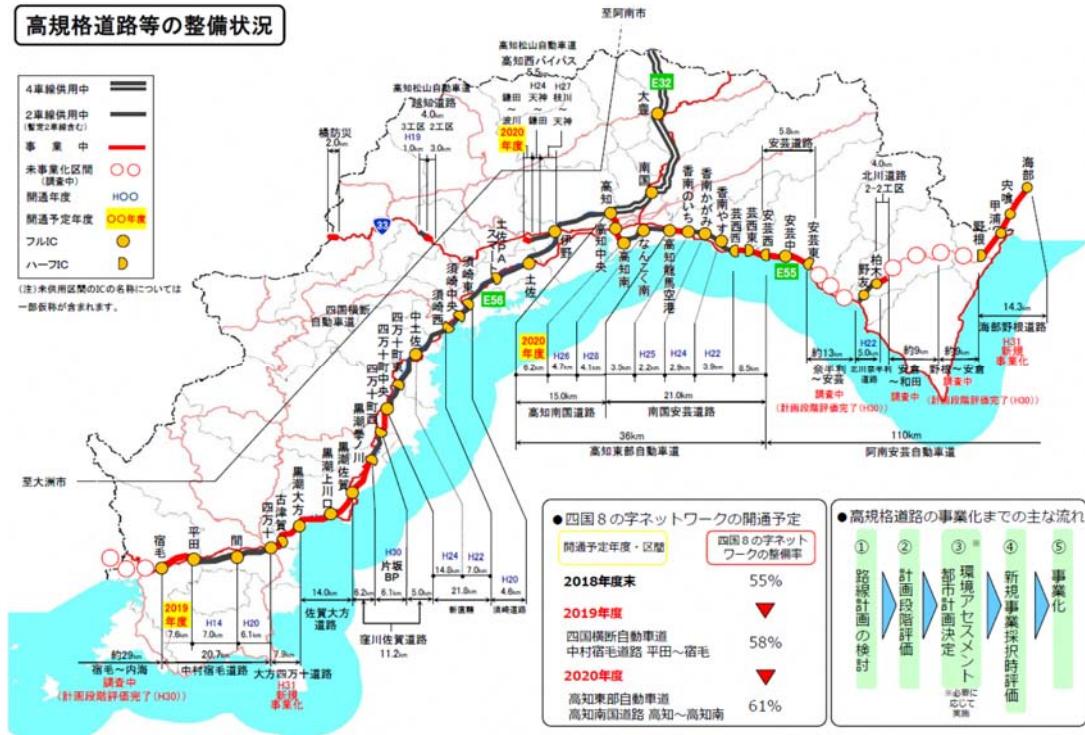
種別	地域	市町村	機関名称
広域的な災害拠点病院	高知市	高知市	高知医療センター, 高知赤十字病院
	物部川	南国市	高知大学医学部附属病院
災害拠点病院	高知市	高知市	近森病院, 国立病院機構高知病院
	安芸	安芸市	あき総合病院
	物部川	南国市	JA高知病院
	仁淀川	土佐市	土佐市民病院
		いの町	仁淀病院
	高幡	須崎市	須崎くろしお病院
		四万十町	くぼかわ病院
	幡多	宿毛市	幡多けんみん病院

(資料)高知県「第7期高知県保健医療計画」

(3) 広域的交通網

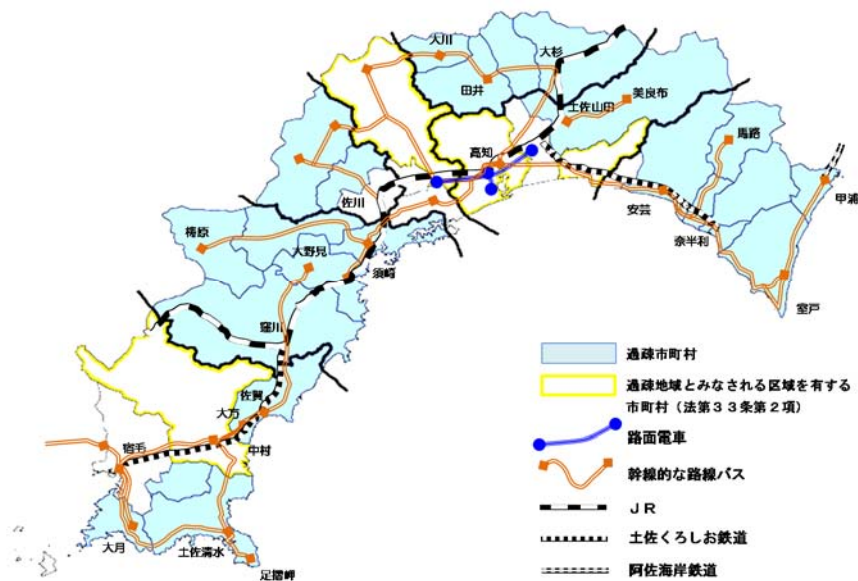
圏域内では、圏域を東西に結ぶ高規格道路の計画・整備が進められているものの、供用区間はまだ短く、かつ分断されている状況である。また、圏域を南北に結ぶ交通にも空白地帯が見られる。圏域住民の生活利便性の向上、圏域内外でのモノの流通や人の交流の促進のためには、高知市周辺に集積する高次都市機能への圏域全体からのアクセスを向上させる、広域交通ネットワークの早急な整備が求められる。

図表Ⅱ-35 高規格道路の整備状況



(資料)高知県資料

図表Ⅱ-36 広域公共交通の状況



(資料)高知県資料

(4) 高等教育機関

圏域内には、3つの大学と1つの短期大学が立地しており、大学院も含めると、約1万人の学生が在籍している。

地域活性化や産業振興のパートナーとなり得る大学等との交流・連携を積極的に推進するとともに、学生をはじめとする若者の知恵と力を活用した協働の推進や、地元企業への就職促進等による地域への定着を図り、将来の圏域活性化の担い手としての人材の確保・育成につなげることが求められる。

図表Ⅱ-37 大学の立地と学生数の状況(2020(令和2)年)

名称	所在地	学部・研究科	専攻	学生数	
高知大学	高知市	人文社会科学部		1,201	
		教育学部		564	
		理工学部		1,067	
		地域協働学部		269	
		土佐さきがけプログラム		39	
		総合人間自然科学研究科 修士課程	土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース	人文社会科学専攻	13
				教育学専攻	18
				理工学専攻	121
				地域協働学専攻	3
				総合人間自然科学研究科 専門職学位課程	教職実践高度化専攻
		総合人間自然科学研究科 博士課程	応用自然科学専攻	17	
		南国市	医学部		983
			農林海洋科学部		842
	総合人間自然科学研究科 修士課程		医科学専攻	26	
			看護学専攻	40	
			農林海洋科学専攻	74	
	総合人間自然科学研究科 博士課程		医学専攻	130	
		黒潮圏総合科学専攻	24		
	計			5,459	
高知県立大学	高知市	文化学部		656	
		看護学部		332	
		社会福祉学部		303	
		健康栄養学部		166	
		看護学研究科 博士前期課程		38	
		看護学研究科 博士後期課程		19	
		看護学研究科 博士一貫課程		8	
		人間生活学研究科 博士前期課程		18	
		人間生活学研究科 博士後期課程		5	
		計			1,545
高知工科大学	香美市	システム工学群		761	
		環境理工学群		408	
		情報学群		435	
		経済・マネジメント学群・マネジメント学部		704	
		大学院修士課程	知能機械工学コース	49	
			知能機械システム工学コース	2	
			航空宇宙工学コース	29	
			エネルギー工学コース	6	
			電子・光工学コース	31	
			社会システム工学コース	22	
			環境数理コース	12	
			化学コース	23	
			マテリアル工学コース	16	
			生命科学コース	20	
			情報学コース	54	
			起業マネジメントコース	4	
			高度教育実践コース	4	
			大学院博士後期課程	基盤工学コース	37
				起業マネジメントコース	15
		起業家コース		3	
		社会人特別コース		2	
		計			2,637
		高知学園短期大学	高知市	生活科学学科	
幼児保育学科				157	
医療衛生学科				144	
歯科衛生学科				42	
看護学科				196	
計			583		
合計				10,224	

(資料) 各大学ホームページ

(5)文化・スポーツ等関連施設

圏域内に立地する主な文化施設（ホール等，美術館・博物館）及びスポーツ施設は，以下に示すとおりである。

図表Ⅱ-38 主な文化・スポーツ施設

都市機能	高知市	連携市町村	
ホール等	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立県民文化ホール ・高知県立ふくし交流プラザ ・高知市文化プラザ かるぽーと 	安芸	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市保健福祉センター やすらぎ(室戸市) ・安芸市民会館(安芸市) ・東洋町町民会館 大ホール(東洋町) ・東洋町地域福祉センター 多目的ホール(東洋町) ・奈半利町民会館(奈半利町) ・田野町ふれあいセンター(田野町) ・安田町文化センター(安田町) ・北川村民会館(北川村) ・芸西村民会館(芸西村)
		物部川	<ul style="list-style-type: none"> ・香南市弁天座(香南市) ・香南市天然色劇場(香南市) ・香南市中央公民館サンホール(香南市) ・香南市夜須公民館マリンホール(香南市) ・香美市立中央公民館(香美市) ・香美市立保健福祉センター香北(香美市) ・奥物部ふれあいプラザ(香美市)
		嶺北	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町プラチナセンター(本山町)
		仁淀川	<ul style="list-style-type: none"> ・いのホール(いの町) ・いの町立伊野公民館(いの町) ・すこやかセンター伊野(いの町) ・いの町立吾北中央公民館(いの町) ・いの町立本川プラチナ交流センター(いの町) ・佐川町立 桜座(佐川町) ・越知町民会館(越知町) ・土佐市複合文化施設つないで(土佐市)
		高幡	<ul style="list-style-type: none"> ・須崎市立市民文化会館(須崎市) ・中土佐町民交流会館(中土佐町) ・中土佐町立文化館(中土佐町) ・中土佐町人権啓発センター(中土佐町) ・中土佐町大野見保健福祉センター(中土佐町) ・ゆすはら座(梶原町) ・ゆすはら・夢・未来館(梶原町) ・津野町酒蔵ホール(津野町) ・津野町福祉交流センター(津野町) ・津野町総合保健福祉センター(津野町) ・窪川四万十会館(四万十町) ・きらら大正(四万十町)

都市機能	高知市	連携市町村	
ホール等		幡多	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市総合社会福祉センター(宿毛市) ・宿毛市立宿毛文教センター(宿毛市) ・土佐清水市立市民文化会館(土佐清水市) ・土佐清水市立中央公民館(土佐清水市) ・四万十市立文化センター(四万十市) ・西土佐ふれあいホール(四万十市) ・三原村農業構造改善センター(三原村) ・三原村中央公民館(三原村) ・高知県立ふるさと総合センター(黒潮町) ・黒潮町立大方あかつき館(黒潮町)
美術館・博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立美術館 ・高知県立坂本龍馬記念館 ・高知県立高知城歴史博物館 ・高知市立自由民権記念館 	安芸	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅キラメッセ室戸・鯨館(室戸市) ・室戸海洋深層水アクアファーム(室戸市) ・室戸世界ジオパークセンター(室戸市) ・安芸市立歴史民俗資料館(安芸市) ・安芸市立書道美術館(安芸市) ・中岡慎太郎館(北川村) ・馬路村郷土館(馬路村) ・芸西村筒井美術館(芸西村) ・芸西村文化資料館(芸西村)
		物部川	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立歴史民俗資料館(南国市) ・高知県立埋蔵文化財センター(南国市) ・南国市ものづくりサポートセンター(南国市) ・絵金蔵(香南市) ・香美市立美術館(香美市) ・香美市立やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム(香美市) ・奥物部美術館(香美市) ・香美市立吉井勇記念館(香美市)
		嶺北	<ul style="list-style-type: none"> ・大原富枝文学館(本山町) ・青木幹勇記念館(土佐町)
		仁淀川	<ul style="list-style-type: none"> ・佐川町立青山文庫(佐川町) ・佐川地質館(佐川町) ・横倉山自然の森博物館(越知町) ・本の森図書館(越知町)
		高幡	<ul style="list-style-type: none"> ・まちかどギャラリー(須崎市) ・中土佐町立美術館(中土佐町) ・歴史民俗資料館 梶原千百年物語り(梶原町) ・雲の上の図書館(梶原町) ・郷土資料館(津野町) ・吉村虎太郎邸(津野町) ・四万十町立美術館(四万十町)
		幡多	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市立宿毛歴史館(宿毛市) ・宿毛まちなえき林邸(宿毛市) ・ジョン万次郎資料館(土佐清水市) ・四万十市郷土博物館(四万十市) ・四万十川学遊館(四万十市) ・黒潮町上林暁文学館(大方あかつき館内)(黒潮町)

都市機能	高知市	連携市町村	
スポーツ 施設	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県立県民体育館 ・高知県立春野総合運動公園 ・高知市総合運動場 ・高知市東部総合運動場 	安芸	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸市中央公園(相撲場・テニスコート・多目的グラウンド)(室戸市) ・室戸広域公園(野球場・屋内運動施設・アスレチック)(室戸市) ・高知県立室戸体育館(室戸市) ・室戸市勤労者体育センター(室戸市) ・MUROTO base 55(グランピング施設)(室戸市) ・安芸市営球場(安芸タイガース球場)(安芸市) ・安芸市多目的体育館(安芸ドーム)(安芸市) ・安芸市体育館(安芸市) ・東洋町B&G海洋センター(東洋町) ・東洋町総合運動公園(東洋町) ・奈半利港緑地公園グラウンド(奈半利町) ・田野町体育センター(田野町) ・中芸広域体育館(安田町) ・憩ヶ丘運動公園(芸西村)
		物部川	<ul style="list-style-type: none"> ・南国市立スポーツセンター(南国市) ・南国市立吾岡山文化の森スポーツ広場(南国市) ・香南市サイクリングターミナル 海のやど しおや宿(香南市) ・高知県立青少年センター(香南市) ・香南市野市ふれあい広場(香南市) ・香南市野市総合体育館(香南市) ・香南市マリンスポーツ施設(シーズポ)(香南市) ・土佐山田スタジアム(香美市) ・香北青少年の家周辺施設(香美市) ・香美市土佐山田体育館(香美市)
		嶺北	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町吉野クライミングセンター(本山町) ・本山町寺家カヌー競技会場(本山町) ・本山町吉野運動公園(本山町) ・大豊町大杉農村広場(大豊町) ・土佐町町民グラウンド(土佐町) ・さめうらカヌーテラス(土佐町) ・大川村山村広場(大川村) ・白滝スポーツコミュニティセンター(大川村)
		仁淀川	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐公園グラウンド(土佐市) ・土佐市立市民体育館(土佐市) ・いの町総合運動場(野球場・テニスコート)(いの町) ・吾北運動場(いの町) ・高知県立青少年体育館(いの町) ・いの町立伊野体育館(いの町) ・いの町立吾北体育館(いの町) ・スポーツパークさかわ(佐川町) ・佐川町民プール・テニスコート(佐川町) ・越知町民総合運動場(越知町) ・越知町民会館屋内運動場(越知町) ・スノーピークかわの駅おち(越知町) ・スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド(越知町) ・日高村総合運動公園(日高村)

都市機能	高知市	連携市町村	
スポーツ 施設		高幡	<ul style="list-style-type: none"> ・須崎市立スポーツセンター(須崎市) ・須崎市立市民体育館(須崎市) ・須崎市立市民体育館多ノ郷体育センター(須崎市) ・中土佐町スポーツ文化センター(中土佐町) ・中土佐町立大野見体育館(中土佐町) ・中土佐町立竹原体育館(中土佐町) ・中土佐町立寺野体育館(中土佐町) ・大野運動公園(中土佐町) ・大越グラウンド・体育館(梶原町) ・雲の上のプール(梶原町) ・津野町東津野B&G海洋センター・津野町西運動公園(津野町) ・津野町葉山運動公園(津野町) ・勤労者体育センター(津野町) ・新土居健康管理施設(津野町) ・四万十町窪川運動場(四万十町) ・四万十町窪川勤労者体育センター(四万十町) ・四万十町窪川B&G海洋センター(四万十町) ・四万十町立大正体育館(四万十町) ・四万十町十和体育館(四万十町)
		幡多	<ul style="list-style-type: none"> ・宿毛運動公園(野球場等)(宿毛市) ・宿毛市和田体育館(宿毛市) ・宿毛市総合運動公園(陸上競技場等)(宿毛市) ・平田公園(テニスコート等)(宿毛市) ・宿毛市東部運動場(宿毛市) ・土佐清水市立市民体育館(土佐清水市) ・土佐清水市総合公園多目的広場(土佐清水市) ・土佐清水市浦尻運動公園運動広場(土佐清水市) ・土佐清水市三崎運動広場(土佐清水市) ・土佐清水市下ノ加江運動広場(土佐清水市) ・安並運動公園(四万十市) ・具同体育センター(四万十市) ・四万十川下流交流センター(四万十市) ・四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ(四万十市) ・四万十川の駅カヌー館(四万十市) ・大月町町民総合グラウンド(大月町) ・三原村ふれあい広場(三原村) ・高知県立土佐西南大規模公園(体育館・運動場)(黒潮町) ・大方球場(黒潮町)

(資料)各市町村への照会により作成

5 生活関連機能の状況

(1) 地域医療

主要診療科目別の医療施設従事医師数（5千人当たり）を地域別にみると、内科は比較的医師数が多いものの、多くの地域では圏域の平均（圏域計）を下回っている。また、小児科、産婦人科では、人口5千人当たり（産婦人科は女性人口5千人当たり）の医師数が1人を超えているのは物部川地域だけであり、嶺北地域と高幡地域には産婦人科医師がいないことに加え、さらに嶺北地域では整形外科医師もいない状況となっているため、特定の地域で不足している医療サービスを圏域全体で補い合うための環境の整備が求められる。

図表Ⅱ-39 主要診療科目別医療施設従事医師数(人口5千人当たり・2018(平成30)年)

(単位:人)

	内科	小児科	精神科	外科	整形外科	産婦人科
圏域計	3.8	0.7	0.9	0.8	1.2	0.7
高知市	4.2	0.7	1.1	1.0	1.5	0.8
安芸地域	3.0	0.4	1.1	0.8	0.9	0.4
物部川地域	3.6	1.5	1.2	0.7	1.2	1.7
嶺北地域	4.7	0.4	0.4	0.9	-	-
仁淀川地域	3.3	0.3	0.5	0.5	1.1	0.2
高幡地域	3.6	0.4	0.4	0.8	1.1	-
幡多地域	3.1	0.8	0.6	0.8	0.8	0.6

(注1) 圏域における医療施設従事者数(従業地ベース)が100人以上の診療科及び産婦人科を抽出。

(注2) 医師が複数の診療科に従事している場合は主として従事する診療科でカウント。

(注3) 産婦人科のみ女性人口5千人あたりの値。

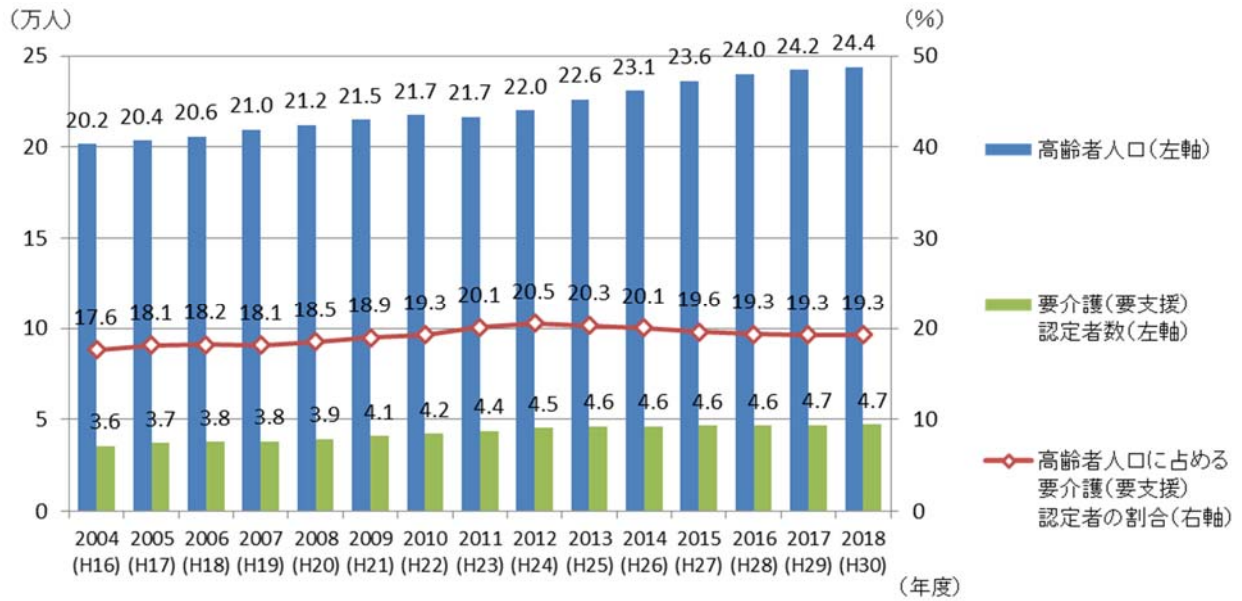
(資料) 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

(2) 介護・障がい者福祉

圏域内の高齢者人口は増加を続けており、高齢者人口に占める要介護（要支援）認定者の割合も、2012（平成24）年をピークに一旦減少傾向となったものの、2016（平成28）年からは横ばいとなり、依然として高い傾向にある。介護老人福祉施設の定員や職員は増加傾向にあるものの、今後の高齢化の進行により、要介護（要支援）認定者の増加が顕著になれば、介護の受け皿が不足する可能性も生じるため、圏域全体として、介護予防の取組による健康寿命の延伸や、介護が必要になった場合のサービスの確保を図っていくことが求められる。

障害者支援施設等については、近年施設数、在所者数とも概ね横ばいで推移しているが、今後も圏域内で必要に応じたサービスを維持することが求められる。

図表Ⅱ-40 介護を必要としている高齢者の割合



(資料)厚生労働省「介護保険事業報告」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

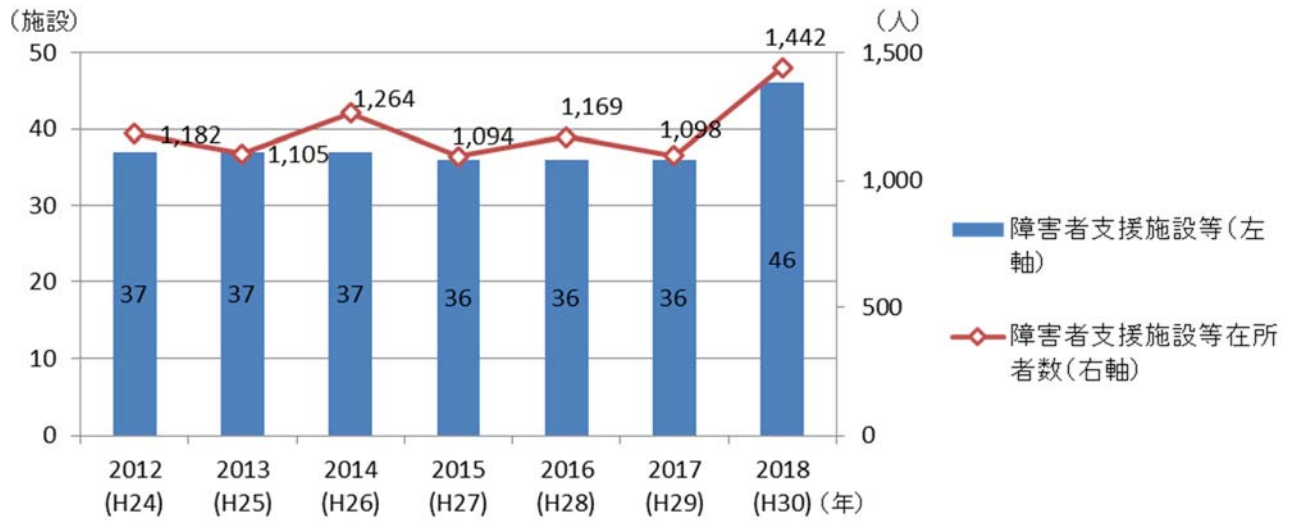
図表Ⅱ-41 介護老人福祉施設等の状況



(注)平成30年調査以降、全数調査から標本調査への移行により、結果は推計値となっている。

(資料)厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

図表Ⅱ-42 障害者支援施設等の状況



(注)平成30年調査以降、全数調査から標本調査への移行により、結果は推計値となっている。
 (資料)厚生労働省「社会福祉施設等調査」

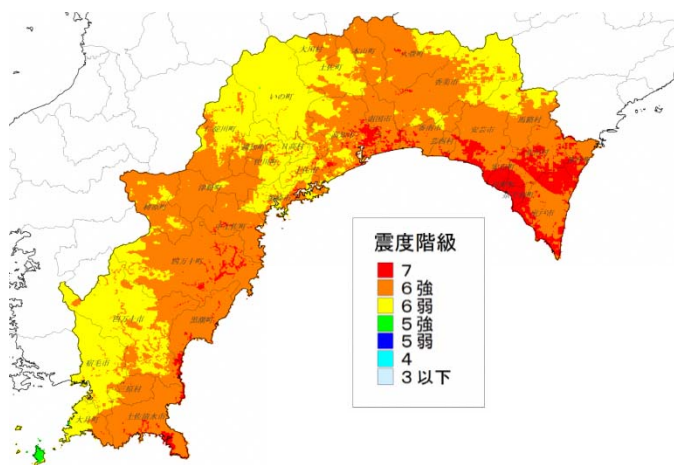
(3) 防災対策

30年以内に70%~80%の確率で発生すると言われている南海トラフ地震は、圏域にも大きな被害をもたらすことが想定されている。

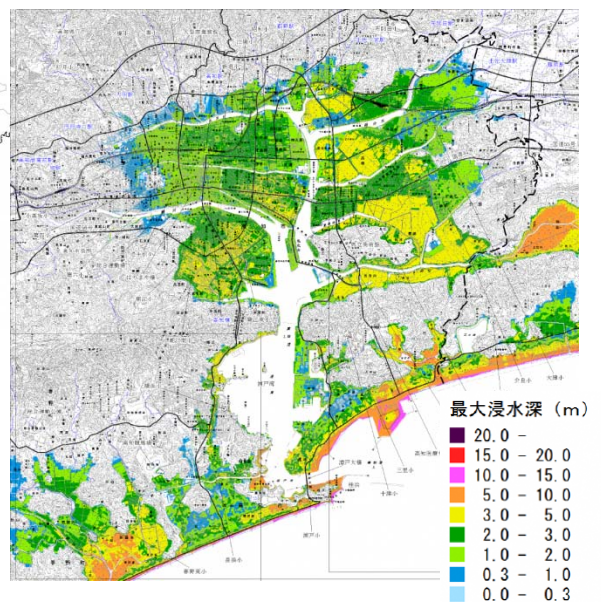
被害を最小限にするため、圏域内では、全ての市町村が相互に連携しながら、「命を守る」(被災前の防災対策)、「命をつなぐ」(被災直後の各種対応)、「生活を立ち上げる」(復興や暮らしの再建に向けた取組)の3段階で、各種の対策に取り組んでいる。また、災害発生時に拠点となる施設についても、圏域内の各所に配置されている。

図表Ⅱ-43 南海トラフ地震発生時の被害想定

[震度分布図]



[津波浸水予測図 (高知市)]



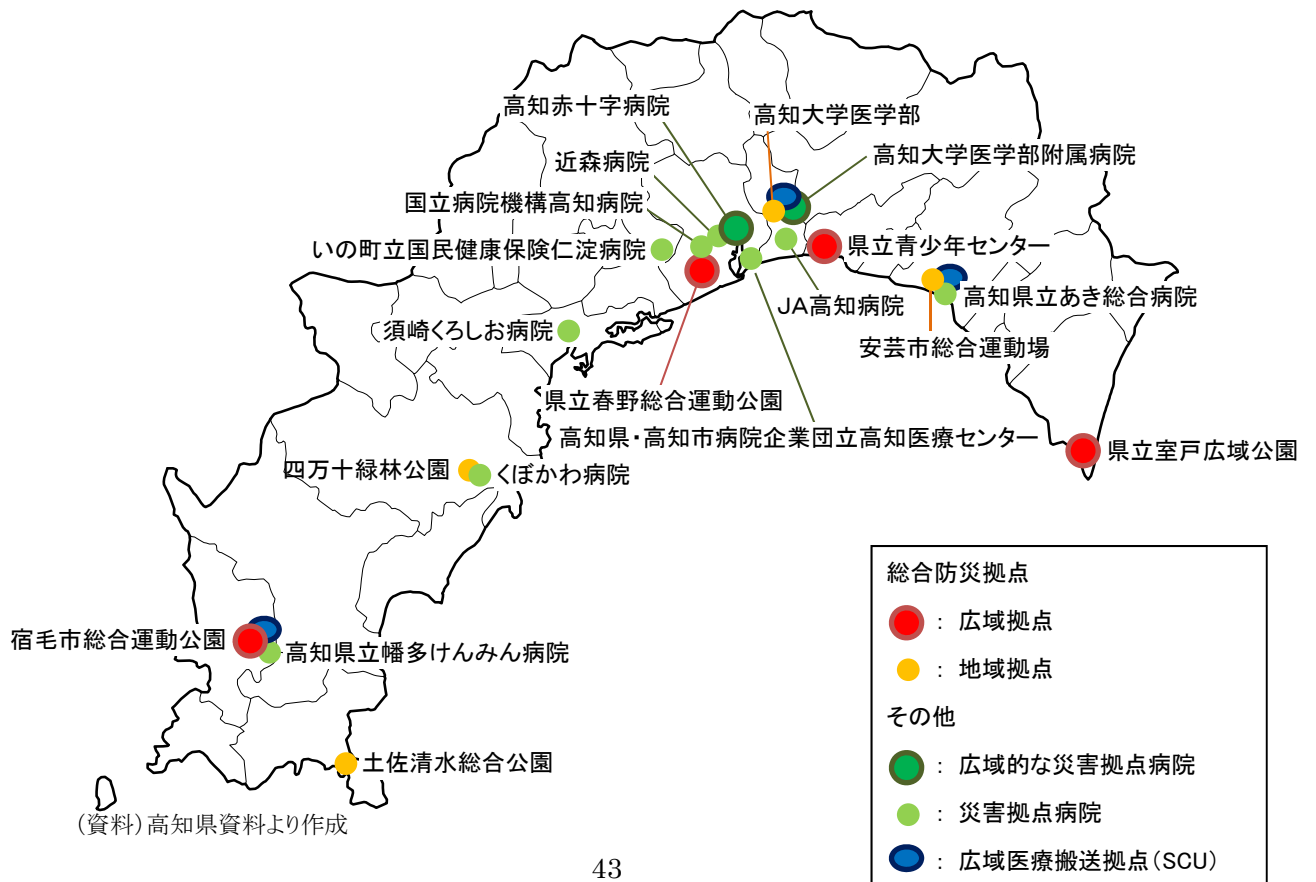
(注)「津波浸水予測図」については、全市町村分が高知県ホームページに掲載されている。
 (資料)高知県ホームページ

図表Ⅱ-44 圏域における南海トラフ地震対策の全体イメージ

	揺れ対策	津波対策	火災対策	臨時情報対策
命を守る	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の耐震化 室内の安全確保対策等 ブロック塀対策 など 	<ul style="list-style-type: none"> 避難対策 津波・浸水被害の軽減 要配慮者施設の高台移転 など 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の大規模火災等への対策 津波火災への対策 など 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインに基づく各種計画の見直し 見直した計画のPDCAの推進 様々な広告媒体を活用した啓発 など
	応急活動対策	被災者・避難所対策	医療救護対策	
命をつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> 輸送対策 応急活動体制の整備 応急期機能配置の検討 ライフライン対策 燃料確保対策 長期浸水対策の推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の確保と運営体制の充実 福祉避難所の確保 避難所及び福祉避難所における受援体制の整備 備蓄の促進 保健・衛生活動の充実 など 	<ul style="list-style-type: none"> 前方展開型の医療救護体制の確立 透析患者等への支援対策 など 	
	まちづくり	くらしの再建		
生活を 立ち上げる	<ul style="list-style-type: none"> 地籍調査 復興グランドデザインの検討 住宅の確保 など 	<ul style="list-style-type: none"> 復興組織体制の整備 災害廃棄物の処理 産業の復旧・復興 社会福祉施設のBCP策定 など 		

(資料)高知県資料より作成

図表Ⅱ-45 総合防災拠点等の立地状況



(資料)高知県資料より作成

Ⅲ 圏域の将来像と目標

1 圏域の特徴・強みと課題

れんけいこうち広域都市圏は、高知市を中心とする都市部と、山・川・海をはじめとする豊かな自然環境が生み出す、多様な魅力に恵まれた地域である。

圏域の強みである農業や食料品製造業の集積を背景とした豊かな「食」は、圏域住民はもとより、圏域外でも享受されているほか、圏域内の各地で、地域特性を活かした産業クラスターの形成が進んでいる。また、坂本龍馬をはじめとする歴史資源や、魅力的な自然資源は、圏域外から多くの観光客を呼んでいる。さらに、県内の商業機能が集積する高知市は、人口や観光客が集中していることから、圏域内各地から集まるモノが消費される一大マーケット及び圏域外への移出のハブ機能としての役割を果たしている。

また、近年は、圏域外からの移住者が年々増加しており、地域での暮らしや経済活動の担い手として、圏域に活気をもたらしている。

一方、圏域の中でも、中山間地域では人口減少と高齢化が顕著に進行することが予想されており、それぞれの地域の住民が、住み慣れた場所での生活を継続できるよう、地域での生活関連サービス機能を維持・向上させるほか、高知市に集積する高次の都市機能をはじめとして、圏域内の様々な機能を相互に活用することや、そのために交通利便性を向上することが求められている。さらに、交通利便性の向上は、圏域住民の生活利便性の向上のみならず、圏域内でのモノの流通や人の交流の促進にもつながる。

2 圏域がめざす将来像

れんけいこうち広域都市圏では、人口や都市機能が集中、集積する高知市が県内全市町村と連携し、そのマーケット機能や、人やモノのハブ機能を活かした取組や全国への情報発信を積極的に推進することで、圏域全体をけん引し、各市町村がまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけて行う、雇用の創出、新しい人の流れの創出、結婚・出産・子育て支援、安心な暮らしを守る取組等との相乗効果を発揮して、人口減少の大きな波に打ち克つことのできる圏域をめざす。



3 将来人口の目標

れんけいこうち広域都市圏の人口は、高知県の総人口と一致するため、「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示された高知県人口の将来展望「2060（令和42）年に約55万7千人」という目標を踏まえ、本ビジョンに基づく取組による相乗効果により、「2060（令和42）年時点で、高知県人口の将来展望（約55万7千人）を上回る」ことを、将来人口の目標とする。

また、連携中枢都市圏の将来人口は、構成市町村の人口の将来展望を合算した、2060（令和42）年時点の人口約47万7千人を上回ることを目標とする。

4 圏域づくりの基本方針

圏域の将来像及び将来人口の目標の実現に向けて、以下の基本方針に基づき、圏域づくりを進める。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

① 戦略的な産業振興の推進

県、大学、産業支援機関、金融機関等との連携のもと、統計データを活用した客観的な地域経済分析に基づき、より高い効果が期待される産業振興方策を検討・展開する。

② 強みを活かした経済活性化の促進

地域資源を活用した特産品等の開発・生産・ブラッシュアップや、高知市を拠点とする「二段階移住」の取組による新たな人の流れの創出とともに、販路開拓につながる一大マーケット、一大ショーケースとして高知市を活用することで、圏域経済の活性化を促進する。

③ 地域資源を活かした広域観光の推進

圏域内の観光資源・地域資源の魅力を束ね、一体的にPRするとともに、ガイドツアーや体験プログラムなどを通じて魅力を体感できる体制を整え、外国人観光客を含めた誘客を推進する。

(2) 高次の都市機能の集積・強化

① 高度医療の体制整備

高度な医療サービス提供の中心的な担い手となる施設等に対する支援を行い、圏域における高度医療体制・災害時医療体制の強化を図る。

② 高次の学習・体験機会の提供

圏域内で高知市に唯一立地する科学館「高知みらい科学館」の機能強化や活用により、科学的に思考・判断する力を持つ、圏域の将来の担い手となる人材を育成する。

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

①健康・安心な暮らしを支える地域医療・介護サービスの充実

介護予防を含めた健康づくりのための取組を促進するとともに、医療・介護が必要になった時にも、地域で適切なサービスを受けられるような環境の整備を推進する。

②安心して子育てができる環境の整備

圏域内のどの地域に居住しても、安心して子育てができるよう、保育や相談、情報発信をはじめとする子育て支援サービスの充実を図る。

③学び・活動の機会を通じた圏域住民の活力向上

様々な分野での学びや活動の機会を提供することで、圏域住民の活力向上につなげる。

④災害に強い圏域づくりの推進

大規模災害の発生を想定し、防災・減災に対応するための連携・協力体制を整えるとともに、住民一人ひとりによる防災への備えを支援することにより、圏域全体の防災力向上を図る。

⑤圏域への関心を高め、愛着を育む取組の推進

イベントやまちづくり活動、地産地消等を通じて、圏域住民の地域への関心を高める機会を創出し、圏域への定着促進と愛着の醸成を図る。

⑥行政機能向上に資する取組の推進

人材確保・育成やノウハウの共有等、行政機能向上に資する取組を、圏域全体で推進する。

5 成果指標（KPI）

圏域の将来像及び将来人口の目標の実現並びに基本方針の着実な実施に向け、各連携分野において以下のとおり成果指標（KPI）を設定し、進捗管理を行う。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

指標	基準値 (2016 (H28))	目標値 (2022 (R4))
製造品出荷額等	5,678 億円	6,400 億円以上
	5,036 億円	5,677 億円以上
県外観光客入込数	424 万人	454 万人以上
	318 万人	341 万人以上
観光総消費額	1,101 億円	1,246 億円以上
	826 億円	935 億円以上
県外からの移住組数	683 組	1,225 組以上
	320 組	637 組以上

※基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

(2) 高次の都市機能の集積・強化

指標	基準値 (2016 (H28))	目標値 (2022 (R4))
高知赤十字病院のドクターヘリ搬入患者数（受入のみ）	20 人	150 人
	10 人	79 人
高知みらい科学館利用者数	—	200,000 人
	—	200,000 人

※基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

指標	基準値 (2016 (H28))	目標値 (2022 (R4))
新規就農者数	276 人	320 人以上
	183 人	212 人以上
自主防災組織の組織率	93.3%	100%
	91.9%	100%
ファミリー・サポート・センター提供会員数	486 人	920 人以上
	486 人	840 人以上

※基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

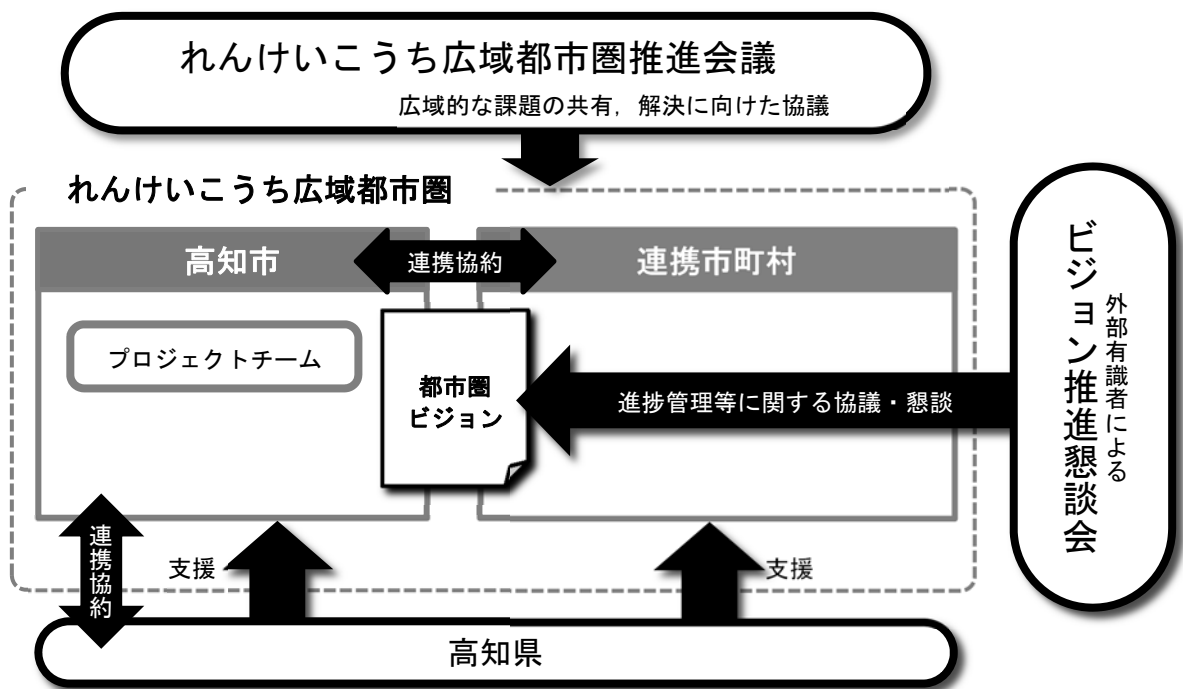
6 ビジョンの推進体制

ビジョンの推進にあたっては、圏域市町村の首長及び高知県知事で構成する「れんけいこうち広域都市圏推進会議」で広域的な課題の共有，解決に向けた協議を行うとともに，産学金官民の外部有識者で構成する「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」においてビジョンの進捗管理等に関する協議，懇談を行う。

また，高知市及び圏域内6市町村並びに高知県で構成する「事業調整チーム」と高知市職員で構成する広域連携事業推進プロジェクトチーム「れんけいこうち」で連携事業や連携体制に関する報告，提案，協議，調整等を行い，圏域の市町村が常に情報共有を図りながら相互の協力体制を確保しつつ，各連携事業に取り組む。

さらに，高知県による，連携中枢都市圏以外の市町村に対する交付金制度や，市町村間の調整，連携事業と相乗効果を発揮する事業の実施等の支援により，円滑で効果的な連携事業の推進をめざす。

【組織の役割分担】



【推進体制のイメージ】

【圏域市町村の首長等による定期的な協議】

「れんけいこうち広域都市圏推進会議」

- 構成員：県内34市町村の首長，高知県知事
- 協議事項：広域的な課題の共有，解決に向けた協議
- 開催頻度：年1～2回程度

【産学金官民の有識者による懇談会】

「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」

- 構成員：産学金官民の外部有識者15人以内
- 協議事項：ビジョンの進捗管理等に関する協議，懇談
- 開催頻度：年2～3回程度

意見

意見

都市圏
ビジョン

圏域の中長期的な将来像
具体的な取組
成果指標

ビジョンの検討，事業の検証

ビジョンに基づく事業の実施

事業実施主体（れんけいこうち広域都市圏の構成市町村）等

【圏域市町村間の連絡調整】

「事業調整チーム」

- 構成員：高知市，圏域内6市町村企画担当課，高知県
- 協議事項：新規事業及び連携体制の提案，協議，報告，調整
- 開催頻度：年2～3回程度

高知県

市町村振興課
計画推進課
地域産業振興監

事業関係課

連携
協約

れんけいこうち広域
都市圏の推進・支援

調整等

参画

参画

市町村（連携市町村）

【企画担当課】

- 進捗管理

【事業担当課】

- 個別事業の執行，進捗管理

高知市

【政策企画課】

- 進捗管理

【事業担当課】

- 個別事業の執行，進捗管理

【プロジェクトチーム】

「広域連携事業推進プロジェクトチーム『れんけいこうち』」

- 構成員：事業所管部局の副部長級職員及び各事業所管課長級～課長補佐級職員
- 所管事項：市町村及び県との協議，事業の検討・推進
- 開催頻度：随時

連携協約

協議・調整

協議・調整

IV 将来像の実現に向けた具体的な取組

平成30年4月に圏域を形成して以降、人口減少・少子高齢化の克服に向け、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の分野において、取組を実施している。

令和2年に入り、新型コロナウイルスが猛威を振り始め、様々な分野に影響が及んでいる。人が集まるイベントやセミナーなどの取組は三密対策を余儀なくされ、取組によっては、延期、中止、手法の変更等の対応をとることとなった。

また、断続的な人の往来の制限や様々な活動の自粛など、地域の経済活動は大きなダメージを受け、特に国外からの移動制限により、インバウンド観光や外国客船の入港は皆無に近い状況となった。各市町村は、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び緊急経済対策を最優先に実施しながら、当該ビジョンに搭載された事業に取組んでいる。

このような状況から、令和2年度に各事業について、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた事業内容や事業手法等の見直しを行った。今後についても、社会全体におけるデジタル化、オンライン化の急速な普及等も踏まえながら、状況に応じて臨機応変な対応を図っていく。

1 圏域全体の経済成長のけん引

【基本方針】

①戦略的な産業振興の推進

県、大学、産業支援機関、金融機関等との連携のもと、統計データを活用した客観的な地域経済分析に基づき、より高い効果が期待される産業振興方策を検討・展開する。

②強みを活かした経済活性化の促進

地域資源を活用した特産品等の開発・生産・ブラッシュアップや、高知市を拠点とする「二段階移住」の取組による新たな人の流れの創出とともに、販路開拓につながる一大マーケット、一大ショーケースとして高知市を活用することで、圏域経済の活性化を促進する。

③地域資源を活かした広域観光の推進

圏域内の観光資源・地域資源の魅力を束ね、一体的にPRするとともに、ガイドツアーや体験プログラムなどを通じて魅力を体感できる体制を整え、外国人観光客を含めた誘客を推進する。

連携して取り組む分野	事業名称
(1) 産学金官民一体となった経済戦略の策定及び国の成長戦略実施のための体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及びれんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営 ・統計データ活用事業
(2) 産業クラスターの形成, イノベーション実現, 新規創業促進及び地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	
(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜市出店事業 ・地場産品販路拡大推進事業 ・圏域事業者販売等支援事業 ・伝統産業推進事業 ・6次産業化推進事業
(4) 戦略的な観光施策	<ul style="list-style-type: none"> ・大型船舶寄港誘致・誘客促進事業 ・広域観光推進事業 ・インバウンド観光推進事業 ・人工知能(AI)を活用した外国人観光客への対応
(5) その他圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等情報発信事業 ・二段階移住推進事業

※連携して取り組む分野は連携協約に示された項目であり, 事業名称が空欄の分野についても検討を継続していく。

(1) 産学金官民一体となった経済戦略の策定及び国の成長戦略実施のための体制整備

事業名	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会及びれんけいこうち広域都市圏推進会議の開催・運営										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	<p>産学金官民の外部有識者で構成する「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」及び圏域市町村の首長及び高知県知事で構成する「れんけいこうち広域都市圏推進会議」を開催・運営し、ビジョンの進捗管理や広域的な課題の共有、解決に向けた協議を行うとともに、取組成果の検証やビジョンの見直し作業を適宜実施する。</p> <p>連携事業の実施運営の効率化を図るため、ウェブサイトを活用して圏域市町村の事業担当者間の情報共有効率化やアドレス帳などの管理運営を行う。</p> <p>また、圏域内の住民等に取組を広報する。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な連携事業の検討及び検証 ・連携事業の充実及び圏域の活性化 ・効率的な情報共有・情報発信 ・市町村住民への普及啓発 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	797	2,000	800	515	515	4,627					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会及び推進会議の開催及び事務局としての運營業務 ・懇談会及び推進会議で出された意見の集約及び総合調整 ・ウェブサイトの構築・運営管理 ・事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会及び推進会議への参加 ・懇談会及び推進会議で出された意見の集約及び調整を支援 ・市町村情報の提供 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))					
	懇談会の開催回数		—			3回					
	推進会議の開催回数		—			1回					
	ウェブサイトの閲覧件数		—			4,800ビュー					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	統計データ活用事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	<p>各市町村の職員を対象とした基礎研修会を通じて、統計資料等のデータ活用の重要性を共有するとともに活用人材の育成を図る。</p> <p>また、各種統計データの活用に関するプラットフォームとしての役割を担う研究会組織を設置し、各種統計資料の活用事例の収集、パターン別統計データ分析ツールの開発に向けた検討等を進め、各市町村単位に留まらず、広域エリアにわたり相乗効果を創出するような施策立案につなげる。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員のデータ活用能力の向上 ・ 市町村間での分析モデルの共有 ・ 数値に基づいた戦略的な産業振興につなげる施策立案・評価 ・ 市町村連携による効果的な施策の立案 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	892	2,170	2,576	1,989	1,989	9,616					
役割分担 費用負担等	高知市		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会を主催者として開催 ・ 研究会組織の立ち上げ、運営 ・ 事業実施に要する費用を負担 								
	連携市町村		<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会への参加 ・ 研究会組織の立ち上げ、運営 ・ 分析モデルの共有 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 								
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値 (2017 (H29))			目標値 (2022 (R4))				
	研修会への参加者数			—			累計 340 人				
				—			累計 210 人				
	応用学習会への参加市町村数			—			22 市町村				
			—			13 市町村					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

事業名	日曜市出店事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
連携市町村	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業概要	<p>日曜日の中に圏域市町村の出店スペース（れんけい小間）を設け、各市町村が輪番制で観光PRなどの情報発信や農産物・加工品等特産品の販売等を行う。</p> <p>また、出店市町村と連携しれんけい小間をPRするミニイベント等を行う。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携市町村の認知度向上 ・ 連携市町村を訪れる高知市民の増加 ・ 日曜日への出店による売上、顧客創出 ・ 日曜日への出店者増によるにぎわい創出、日曜市の魅力向上 										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	14,436	14,173	17,204	12,402	12,402	70,617					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日曜市の安全管理、備品管理、出店場所確保等の運営全般 ・ 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出店者の確保、PR素材や商品等の準備 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		基準値(2017(H29))				目標値(2022(R4))				
	「れんけい小間」延べ開設数		—				300回				
	「れんけい小間」への来客数		—				153回				
										24,000人	
										12,302人	

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	地場産品販路拡大推進事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	<p>バイヤーの多様なニーズに圏域で連携して対応できるよう販路拡大に関する圏域市町村のネットワークを構築する。</p> <p>高知市が主催・出展する見本市等について、参加者要件を高知市内事業者から圏域全体に拡大し共同出展することでスケールメリットによる販路開拓等の機会を創出する。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内地場産品の販路拡大，市町村の知名度向上 ・ 生産者，事業者の収益向上 ・ 共同での見本市等出展によるPR等の出展効果向上 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	14,316	36,846	35,328	41,283	41,283	169,056					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村と連携しての商談 ・ 見本市や商談会，物産展などの情報提供や共同出展 ・ 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知市及び他市町村と連携しての商談 ・ 事業者に見本市等の情報提供，PRや販路拡大 ・ 必要に応じて，事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値 (2017 (H29))			目標値 (2022 (R4))				
	見本市等における商談成立 件数			—			75 件				
	見本市等における参加事業 者数			—			30 事業者				
						24 事業者					

※重要業績評価指標 (KPI) の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	圏域事業者販売等支援事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	J Aグループ高知が整備する新たな複合施設において、高知市を訪れる県外観光客等をターゲットとした地場製品の展示・販売の場「れんけいブース」を確保し、事業者の販売支援・商品力向上及び連携市町村への周遊促進を図る。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内地場製品の販路拡大，知名度・商品力の向上 ・ 生産者，事業者の収益向上 ・ 連携市町村への高知市民及び観光客の周遊促進 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	-	3,608	5,864	5,865	5,865	21,202					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場製品等の展示・販売の場の確保 ・ 地場製品等の情報収集，セレクトショップへの情報提供 ・ 地域情報，地場製品等の情報発信 ・ P Rイベントの実施 ・ 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場製品等の情報収集，セレクトショップへの情報提供 ・ 地域情報，地場製品等の情報発信 ・ P Rイベントの実施 ・ 必要に応じて，事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (K P I)	指標		基準値 (2018 (H30))				目標値 (2022 (R4))				
	「れんけいブース」における年間販売額		—				3,200 万円				
	「れんけいブース」における事業者支援件数		—				28 件				

※重要業績評価指標 (KPI) の基準値・目標値欄において、上段がれんけいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	伝統産業推進事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	伝統産業の強みを活かしたブランド力・知名度の向上、販路拡大に向けた支援を行うことにより伝統産業の振興を図る。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統産業事業者の所得向上による地域経済の活性化 ・ 雇用の場の創出による労働力人口の流出阻止 										
事業費 (千円)	2018 (H30)		2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)		計
	5,400		3,500		10,387		3,664		3,664		26,615
役割分担 費用負担等	高知市		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知市内における伝統産業の販路拡大、後継者育成対策支援 ・ 事業実施に要する費用を負担 								
	連携市町村		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村における伝統産業の販路拡大、後継者育成対策支援 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 								
重要業績 評価指標 (KPI)	指標				基準値 (2017 (H29))				目標値 (2022 (R4))		
	パンフレット配布部数				—				5,200 部		
					—				3,480 部		
	ウェブサイト閲覧数				—				63,000 ビュー		
				—				63,000 ビュー			

※重要業績評価指標 (KPI) の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	6次産業化推進事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	高知市が主催する農商工連携セミナーの参加者要件を高知市内事業者から圏域全体に拡大する等、一次・二次・三次産業事業者の交流・マッチングの機会を創出・拡充することで、事業者間のコラボレーションによる新商品開発や販路開拓の促進を図る。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村での6次産業化及び農商工連携の促進 ・新商品開発や販路拡大に伴う事業者の所得向上、産業の活性化 ・マッチング対象の拡大による新商品開発や販路拡大の機会創出 										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	4,567	518	1,163	857	857	7,962					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域全体を対象としたセミナー・マッチングの場の提供 ・事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村への参加者募集に関する周知 ・生産者・事業者への支援 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2016(H28))			目標値(2022(R4))				
	マッチングセミナーへの参加事業者数			29事業者			50事業者				
			29事業者			42事業者					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

(4) 戦略的な観光施策

事業名	大型船舶寄港誘致・誘客促進事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
連携市町村	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業概要	高知新港への大型客船等の誘致を進めるとともに、連携市町村の新たな観光資源の掘り起こしや磨き上げにより受入態勢を整備し、高知新港に大型客船等が寄港する際に、連携市町村への無料バスを運行するほか、圏域市町村のPRイベントを実施することにより、乗船客等の圏域での周遊促進や、連携市町村の知名度向上及びリピーターの増加、地場産品の販路拡大等による地域経済の活性化及び観光振興、高知新港の寄港地としての魅力向上を図る。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高知新港の寄港地としての魅力向上及び大型船舶寄港回数の増加 ・乗船客等の圏域での周遊促進 ・観光消費額の増加による地域経済の活性化及び観光振興 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)		計	
	-	53,301		68,770		21,104		21,104		164,279	
役割分担 費用負担等	高知市		<ul style="list-style-type: none"> ・高知県と連携しての寄港誘致 ・無料バスの手配・運行 ・PRイベントの共同実施 ・観光資源の磨き上げ等による受入態勢整備 ・事業実施に係る費用を負担 								
	連携市町村		<ul style="list-style-type: none"> ・日帰り観光ルートの検討・設定 ・PRイベントの共同実施 ・観光資源の磨き上げ等による受入態勢整備 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 								
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値 (2018 (H30))				目標値 (2022 (R4))			
	高知新港への大型客船寄港回数			40回				100回			
	無料バス運行地域数			—				6地域			
	無料バス乗客数			—				180人			

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

※重要業績評価指標(KPI)のうち、「高知新港への大型客船寄港回数」の基準値は2017(平成29)年度である。

事業名	広域観光推進事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	<p>携帯電話の位置情報ビッグデータを活用し、圏域市町村を訪れる観光客の移動軌跡調査・分析を行うことにより、観光エリアの特徴・課題を把握する。</p> <p>ビッグデータを活用した観光客動態調査を基に、ターゲット等に応じた効果的な商品開発やプロモーションを圏域市町村で連携して行う。また、必要に応じて観光資源や受入態勢の整備を行っていく。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の動態分析による潜在観光資源の発掘 ターゲットごとの具体的な施策の立案 連携市町村でターゲットを絞った効果的なPR 観光客及び観光消費額の増加 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	25,150	10,676	8,981	9,455	29,455	83,717					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の整理、分析地点選定、動態調査委託 広域観光ルートの研究や設定 観光客の受入態勢整備、観光プロモーション 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の整理、分析地点選定 広域観光ルートの研究や設定 観光客の受入態勢整備、観光プロモーション 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
	新規周遊観光商品数			—			3本				
	旅行会社発行の紙・WEB			—			30商品				
	媒体への造成商品掲載数			—			30商品				

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	インバウンド観光推進事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	<p>外国人観光客に対応するため、外国語対応可能な観光案内所を高知市中心市街地に常設し、専任スタッフによる観光案内及び圏域市町村と連携した観光PR等を行い、周遊促進を図る。</p> <p>(新型コロナウイルスによる一時的な対応)</p> <p>外国からの入国制限により外国人観光客の入込が見込めないことから、一時的に観光案内所のメインターゲットを日本人に変更する。</p> <p>今後、事業内容の変更等に応じてKPIの追加等も検討する。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客への連携市町村の観光PRによる圏域への周遊促進及び観光客の増加による観光消費額の増加 外国人観光客のニーズにあった広域的な観光案内によるインバウンド観光の推進 										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	80,998	32,306	40,276	35,212	35,212	224,004					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地への常設観光案内所の設置・運営、誘客促進 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等による情報提供、多言語看板などの受入環境整備 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
	観光案内所の外国人利用者数			—			3,370人				
				—			3,370人				

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	人工知能（A I）を活用した外国人観光客への対応										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	観光客の満足度及び回遊性向上のため、圏域の観光資源や交通情報、飲食等の情報を多言語で発信する、人工知能（A I）を活用した外国人向け観光案内システムを構築する。										
効果	・外国人観光客への連携市町村の情報発信による外国人観光客の満足度及び回遊性の向上										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	18,181	8,032	7,921	7,921	7,921	49,976					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語観光案内システムの構築・運用 ・事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源等に関する情報提供 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
評価指標 (KPI)	外国人観光客のシステム利用者数			—			3,662人				
	—			—			3,662人				

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

(5) その他圏域全体の経済成長のけん引に係る施策

事業名	空き店舗等情報発信事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	圏域内の空き店舗情報及び自治体の支援策を共有し、出店希望者に対し一元的に情報提供することで、出店の促進を図る。										
効果	・圏域の空き店舗情報及び創業支援情報等の一元化による新規出店の促進										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)		計	
	1,530	422		86		86		86		2,210	
役割分担 費用負担等	高知市		<ul style="list-style-type: none"> ・圏域市町村の空き店舗情報，創業支援メニュー，チャレンジショップ事業等の情報集約 ・ウェブサイトの構築・運用 ・事業実施に要する費用を負担 								
	連携市町村		<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗情報，創業支援メニュー，チャレンジショップ事業等の情報提供 ・必要に応じて，事業実施に要する費用を負担 								
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値 (2017 (H29))			目標値 (2022 (R4))				
	ホームページの閲覧数			—			42,000 ビュー				
						42,000 ビュー					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	二段階移住推進事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	高知市を拠点とした二段階移住を推進し、圏域全体への移住・定住の促進を図るために、大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象として、二段階移住のPR（ハンドブック作成、ポータルサイトの新設など）に取り組む。また、一段階目の高知市でのお試し移住補助・レンタカー補助、市町村のお試し滞在施設との相互利用、連携した相談体制の充実などに取り組む。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな移住ターゲットの掘り起こし ・連携市町村における移住者の増加及び定住促進 ・県外からの新しい人の流れの創出 										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	55,780	42,227	41,201	33,384	33,384	205,976					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村情報の収集 ・二段階移住に関するプロモーションの実施 ・一段階目の受け皿となるお試し移住、圏域への二段階移住での連携 ・パンフレット等による市町村の紹介や市町村窓口への案内・引き継ぎ ・事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村情報の提供 ・二段階移住に関するプロモーションの実施 ・高知市内を拠点とする二段階移住希望者に対する移住相談及び支援 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		基準値(2017(H29))				目標値(2022(R4))				
	二段階移住新規相談件数		—				累計490件				
	二段階移住パスポート発行部数		—				累計185部				
	二段階移住組数		—				累計60組				
						累計32組					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

2 高次の都市機能の集積・強化

【基本方針】

①高度医療の体制整備

高度な医療サービス提供の中心的な担い手となる施設等に対する支援を行い、圏域における高度医療体制・災害時医療体制の強化を図る。

②高次の学習・体験機会の提供

圏域内で高知市に唯一立地する科学館「高知みらい科学館」の機能強化や活用により、科学的に思考・判断する力を持つ、圏域の将来の担い手となる人材を育成する。

連携して取り組む分野	事業名称
(1) 高度な医療サービスの提供	・新高知赤十字病院への支援
(2) 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	
(3) 高等教育・研究開発の環境整備	
(4) その他高次の都市機能の集積・強化に係る施策	・高知みらい科学館機能の強化

※連携して取り組む分野は連携協約に示された項目であり、事業名称が空欄の分野についても検討を継続していく。

(1) 高度な医療サービスの提供

事業名	新高知赤十字病院への支援										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	高知赤十字病院の津波長期浸水エリア外への移転を支援し、救急医療等の拠点機能を確保するとともに、南海トラフ地震発生時の県内の災害拠点病院としての機能を確保し、圏域全体が平時・災害時を問わず必要な医療サービスを受受できる環境の整備を図る。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平時の救急・高度医療提供体制確保 ・ 災害時の医療提供体制確保 										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	-	41,291	41,307	41,303	41,299	165,200					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤十字病院の移転に要する経費を高知県と協調して支援 ・ 赤十字病院等を核としたさらなる連携方法の検討 ・ 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤十字病院等を核としたさらなる連携方法の検討 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))					
	高知赤十字病院から圏域内 への助産師派遣回数		—			36回					
			—			36回					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

(4) その他高次の都市機能の集積・強化に係る施策

事業名	高知みらい科学館機能の強化										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業概要	圏域の児童・生徒等の科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を養い、次代を担う人材を養成するため、県内唯一の科学館である「高知みらい科学館」の機能を強化し、圏域の小中学校等を対象とした理科学習や出前教室、圏域住民を対象とした科学体験の機会の提供に取り組む。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> 高知みらい科学館の活用による高次の学習・体験機会の確保 圏域における理科教育振興，科学文化振興 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	-	10,000	9,493	9,819	9,819	39,131					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> 学校等への科学館活用機会の提供 理科学習等に必要な設備・備品の調達・維持管理 事業実施に係る費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> 学校等への理科学習・出前教室等の周知 理科学習等に係る学校等との調整 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値 (2018 (H30))			目標値 (2022 (R4))				
	理科学習の実施校数・児童生徒数			—			100校・5,700人				
	出前教室の実施校数・児童生徒数			—			95校・5,650人				
	科学体験展示実施延べ市町村数			—			40校・800人				
	科学体験展示実施延べ市町村数			—			40校・800人				
科学体験展示実施延べ市町村数			—			16市町村					
科学体験展示実施延べ市町村数			—			16市町村					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

【基本方針】

- ①健康・安心な暮らしを支える地域医療・介護サービスの充実
介護予防を含めた健康づくりのための取組を促進するとともに、医療・介護が必要になった時にも、地域で適切なサービスを受けられるような環境の整備を推進する。
- ②安心して子育てができる環境の整備
圏域内のどの地域に居住しても、安心して子育てができるよう、保育や相談、情報発信をはじめとする子育て支援サービスの充実を図る。
- ③学び・活動の機会を通じた圏域住民の活力向上
様々な分野での学びや活動の機会を提供することで、圏域住民の活力向上につなげる。
- ④災害に強い圏域づくりの推進
大規模災害の発生を想定し、防災・減災に対応するための連携・協力体制を整えるとともに、住民一人ひとりによる防災への備えを支援することにより、圏域全体の防災力向上を図る。
- ⑤圏域への関心を高め、愛着を育む取組の推進
イベントやまちづくり活動、地産地消等を通じて、圏域住民の地域への関心を高める機会を創出し、圏域への定着促進と愛着の醸成を図る。
- ⑥行政機能向上に資する取組の推進
人材確保・育成やノウハウの共有等、行政機能向上に資する取組を、圏域全体で推進する。

連携して取り組む分野	事業名称	
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	ア 地域医療	
	イ 介護	
	ウ 福祉	・子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）
	エ 教育・文化・スポーツ	
	オ 土地利用	
	カ 地域振興	・新規就農者の確保 ・体験型地域資源開発・活用事業
	キ 災害対策	・防災リーダー育成事業
	ク 環境	・水道事業広域実施（人材育成等）
(2) 結び付きやネットワークの強化に係る政策分野	ア 地域公共交通	
	イ ICTインフラ整備	
	ウ 道路等の交通インフラの整備・維持	
	エ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	
	オ 地域内外の住民との交流・移住促進	
	カ その他結び付きやネットワークの強化に係る連携	
	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	ア 人材の育成
イ 外部からの行政及び民間人材の確保		
ウ 圏域市町村の職員等の交流		・職員交流による連携強化と能力向上
エ その他圏域マネジメント能力の強化に係る連携		

※連携して取り組む分野は連携協約に示された項目であり、事業名称が空欄の分野についても検討を継続していく。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

ウ 福祉

事業名	子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○		○	○	○		○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	連携市町村のファミリー・サポート・センター設置に向けた支援、市町村域を越えたサービスの提供及び援助会員養成講習会の開催等を行うことにより、圏域全体のサービスの質の向上を図りながら、子育て中の家庭への支援を拡充する。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・提供する子育て支援サービスの質等の確保・統一化 ・連携市町村におけるファミリー・サポート・センター運営のノウハウ取得 ・センター利用者拡大、利便性の向上 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	990	30	15	55	55	1,145					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター運営ノウハウの提供 ・広域利用ルールの策定等 ・事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの設置検討 ・広域利用ルールの策定等 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
	ファミサポ設置に向けた検討等について高知市が関わった(相談等含む)市町村数			—			累計12市町村 累計7市町村				
	講習会への広域受講市町村数			—			累計12市町村 累計8市町村				
	広域利用に向けた検討等について高知市が関わった(相談等含む)市町村数			—			累計12市町村 累計8市町村				
	情報交換・情報共有した市町村数			—			累計33市町村 累計20市町村				

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

カ 地域振興

事業名	新規就農者の確保										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山市	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	高知市と連携市町村が合同で、就農相談会を高知県内で開催する。 新規就農者及び研修受入農家等に対する助成、受入農家の交流促進・合同研修なども検討する。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の増加 ・圏域の農業の維持・発展 										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	3,512	3,872	5,742	3,117	3,117	19,360					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・県内での合同就農相談会の開催 ・事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・合同就農相談会開催に係る周知 ・合同就農相談会でのブース設置 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
	相談会での個別相談件数			—			累計150件 累計93件				

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

事業名	体験型地域資源開発・活用事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		○	○	○		○	○	○	○	○	
事業概要	地域の資源（自然・文化・食や、事業者・住民の技術等）をコンテンツ化する方法を地域住民が習得・実践する機会（セミナーやワークショップ等）の提供及び体験型プログラム等の実施により、地域振興及び交流人口拡大を目指す。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源のコンテンツ化ノウハウの習得 ・交流人口の拡大 ・収入源や生きがいの創出 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	-	-	5,911	22,209	22,209	50,329					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体のPR ・体験型イベントのPR 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源開発（セミナー・ワークショップ等） ・体験型イベントの実施、PR ・体験型イベントのPR ・事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
	実施プログラム数			—			累計 300 件				
				—			累計 300 件				
	イベント実施エリア外からの参加割合			—			70%				
			—			70%					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

キ 災害対策

事業名	防災リーダー育成事業										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	<p>圏域全体の防災力向上を図るため、地域で防災活動に取り組む防災リーダー「災害に強い人」を育成する。高知市が開催する防災の各専門分野の講師による全8回の講座において、参加者要件を高知市内在住・在勤者から圏域全体に拡大するとともに圏域内数か所にサテライト会場を設置し双方向による受講を可能とする。</p> <p>また、高知市会場の講座修了生等を対象に防災士資格取得を支援する。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> 圏域で防災知識を持つ人材が増加することによる市町村の防災力向上及び災害時の被害軽減並びに早期復興 										
事業費 (千円)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	計					
	9,232	6,736	6,877	6,458	6,458	35,761					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> 防災人づくり塾の開催・運営 防災士資格取得支援 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> 人づくり塾の市町村住民への周知・開催協力 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
	防災人づくり塾修了者数			138人 138人			累計1,050人 累計990人				

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

ク 環境

事業名	水道事業広域実施（人材育成等）										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業概要	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事業概要	水道事業の知識や技術の継承及び災害時対応について、高知市が行う水道事業実務研修の対象者を圏域全体に拡大することで効率的な人材育成に努める。 また、圏域市町村での情報の共有・統一化等により業務の効率化を図る。										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の能力向上，技術継承 ・ 研修機会の増加及び内容の充実 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	212	0	0	0	0	212					
役割分担 費用負担等	高知市		<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携可能な業務の調査・提案 ・ 研修の開催案内 ・ 事業実施に要する費用を負担 								
	連携市町村		<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携希望業務の洗い出し ・ 研修への参加 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 								
重要業績 評価指標 (KPI)	指標				基準値 (2017 (H29))			目標値 (2022 (R4))			
	高知市職員研修への参加者数				—			累計 127 人			
					—			累計 80 人			

※重要業績評価指標 (KPI) の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ウ 圏域市町村の職員等の交流

事業名	職員交流による連携強化と能力向上										
連携市町村	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	南国市	香南市
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	香美市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	土佐市	いの町	仁淀川町	佐川町	越知町	日高村
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
事業概要	<p>連携市町村から高知市へ派遣職員の受入及び交流派遣を行い、多様な行政案件を処理することで派遣職員の能力の向上を図るとともに、高知市職員研修への参加機会の提供等により職員の能力向上を図る。</p> <p>また、共通した行政課題について、圏域市町村間での情報交換を行うほか、相互連携が可能な事業については共同して事業を実施する。</p>										
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の専門的能力向上 ・ 法改正等に伴う制度変更への迅速な対応 										
事業費 (千円)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	計					
	948	631	589	577	577	3,322					
役割分担 費用負担等	高知市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の派遣・受入の調整 ・ 研修開催についての情報提供、参加者の調整 ・ 共同事業の実施、情報交換 ・ 事業実施に要する費用を負担 									
	連携市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の派遣・受入の調整 ・ 研修への参加申し込み、参加 ・ 共同事業の実施、情報交換 ・ 必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 									
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			基準値(2017(H29))			目標値(2022(R4))				
	高知市への派遣職員数			—			6人				
				—			4人				
	高知市職員研修への参加者数			—			50人				
				—			34人				
防災士資格取得者数			—			10人					
			—			6人					

※重要業績評価指標(KPI)の基準値・目標値欄において、上段がれんげいこうち広域都市圏、下段が連携中枢都市圏の値を表す。

れんけいこうち広域都市圏ビジョン

発行年月 2018（平成 30）年 3 月
改訂年月 2021（令和 3）年 3 月
編集・発行 高知市総務部市長公室政策企画課
〒780-8571 高知市本町 5 丁目 1 - 45
TEL : 088-823-9407
FAX : 088-823-9382
E-MAIL : kc-010900@city.kochi.lg.jp

れんけいこうち広域都市圏ビジョンの主な改訂内容（新旧対照表）

1 本文・事業内容等

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
3	II 圏域の現状 1 構成自治体の概要 〇市町村への照会に基づく修正	<p>【田野町】</p> <p>・田野町は、<u>山・川・海の豊かな自然に囲まれた町であり、町の中心にはスーパーなどの生活環境施設、医療施設、図書館などの文化施設や公共交通機関が集約しており、四国で一番小さな町でありながら、コンパクトで住みやすい「暮らしやすさ」が自慢の町である。</u></p>	<p>・田野町は高知県東部に位置する、四国で一番小さい町である。町の中心にはスーパーなどの商業施設、医療施設、図書館などの文化施設や公共施設が集約しており、コンパクトで住みやすい「暮らしやすさ」が自慢の町である。</p>
5		<p>【土佐町】</p> <p>・土佐町は<u>四国の中央部に位置し、町を東西に吉野川が流れており、「四国の水がめ」と呼ばれる早明浦ダムがある自然に囲まれた町である。農林業と畜産が盛んで、良質米と「土佐あかうし」の産地でもある。また先進的な福祉や教育に取り組んでおり、近年移住者が増加している。</u></p>	<p>・土佐町は<u>四国のまんなか、吉野川の源流域に位置し「四国の水がめ」と呼ばれる早明浦ダムがある水源の町。農林業が盛んで、棚田米と「土佐あかうし」の産地である。SDGsを通じた「持続可能なまちづくり」を掲げ、教育や福祉の充実に取り組んでおり、近年は移住者が増加している。</u></p>
		<p>【大川村】</p> <p>・大川村は、高知県の最北端、県都高知市の真北に位置しており、農畜林業等の第一次産業を基幹とした山村である。また、<u>北面には四国山脈が連なり、登山客からの人気が高いほか、黒牛・土佐はちきん地鶏を食すイベント謝肉祭には、多くの人が訪れている。</u></p>	<p>・大川村は、高知県の最北端、県都高知市の真北に位置しており、農畜林業等の第一次産業を基幹産業とした山村である。また、<u>北部の四国山脈に通じる登山道は登山ファンからの人気が高いほか、特産品である大川黒牛・土佐はちきん地鶏を食すイベント「大川村謝肉祭」には、毎年多くの人が訪れている。</u></p>
6		<p>【日高村】</p> <p>・日高村は<u>絶滅危惧種などの動植物を抱える自然豊かな環境がある一方、高知市から約16kmと意外に近い村である。また、国宝を擁する貴重な文化遺産もあり、文化的にも歴史を感じることができる。特産品はシュガートマトや霧山茶など自然を活かしたものが多い。</u></p>	<p>・高知市から約16kmと意外に近い村でありながら、<u>二つのゴルフ場を有し、仁淀川での屋形船やサップなど自然を生かした体験型観光を推進している。特産品はシュガートマトや霧山茶や芋けんぴ。世界的に有名な土佐和紙の生産やオムライス街道など話題に事欠かない村となっている。</u></p>
		<p>【梶原町】</p>	

改訂ビジョン案		旧	新
頁	該当項目	(改訂前)	(改訂案)
		<p>・梶原町は、高知県の中西部、愛媛県との県境に位置し、四国カルストに抱かれた山間の町で、「雲の上のまち」ともよばれている。主要産業は農林業である。現在は、環境モデル都市の認定を受け、風力や水力など自然エネルギーを活かした町づくりを進めている。</p>	<p>・梶原町は、高知県の中西部、愛媛県との県境に位置し、四国カルストに抱かれた山間の町で、「雲の上の町」ともよばれている。主要産業の農林業のほか、町内に6つある建築家の隈研吾氏による建造物を生かした観光の取り組みを進め、多くの方々が訪れている。</p>
7		<p>【三原村】</p> <p>・三原村は、高知県西南部の幡多地域に位置し、標高約120mの高原盆地を形成する水と緑の豊かな村である。主要産業は農林業で、<u>どぶろく</u>が特産品であるほか、<u>柚子の産地化</u>にも取り組んでいる。</p>	<p>・三原村は、高知県西南部の幡多地域に位置し、標高約120mの高原盆地を形成する水と緑の豊かな村である。主要産業は農林業で、<u>米やどぶろく</u>が特産品であるほか、<u>柚子の産地化</u>にも取り組んでいる。</p>
9	<p>2 人口の動向</p> <p>(1) 人口の推移と見通し</p> <p>○最新データへの更新に伴う文言修正</p>	<p>・圏域の総人口は今後も減少することが見込まれており、年少人口と生産年齢人口が減少する一方で、<u>老年人口は増加し、高齢化率も上昇することが予想されている。</u></p> <p>圏域人口を地域別にみると、10万人未満の地域がほとんどである中、高知市は約34万人と圧倒的に多く、人口の約46%が高知市に集中している。また、<u>人口の減少や高齢化率の上昇のスピードは、連携中枢都市圏に比べ、れんけいこうち広域都市圏においてより顕著に表れている。</u></p> <p>(後略)</p>	<p>・圏域の総人口は今後も減少することが見込まれており、年少人口と生産年齢人口が減少する一方で、<u>老年人口は2025年以降減少に転じるものの、高齢化率は上昇することが予想されている。</u></p> <p>圏域人口を地域別にみると、10万人未満の地域がほとんどである中、高知市は約34万人と圧倒的に多く、人口の約46%が高知市に集中している。また、<u>人口の減少は、連携中枢都市圏に比べ、れんけいこうち広域都市圏においてより顕著に表れており、いずれにおいても高齢化率は上昇し続けている。</u></p> <p>(後略)</p>
11	<p>(2) 自然増減の動向</p> <p>○瑕疵修正</p>	<p>・圏域の自然増減(出生者数・死亡者数)の動向をみると、1990(平成2)年以降一貫して自然減が続いており、またその規模も拡大している。<u>出生数の増加は地域の活力維持につながるため、どの地域でも安心して出産・子育てができる環境づくりが求められる。</u></p>	<p>・圏域の自然増減(出生者数・死亡者数)の動向をみると、1990(平成2)年以降一貫して自然減が続いており、またその規模も拡大している。<u>出生者数の増加は地域の活力維持につながるため、どの地域でも安心して出産・子育てができる環境づくりが求められる。</u></p>
14	<p>3 経済・産業の動向</p> <p>(1) 産業構造</p> <p>○最新データへの更新に伴う文言修正</p>	<p>・(前略)</p> <p>圏域の生産額に占める構成比が最も大きい産業は<u>保健衛生・社会事業、卸売・小売業、次いで不動産業であり、ともに総額の1割以上を占めている。</u>それ以外では、製造業、建設業などの構成比が大きい。</p>	<p>・(前略)</p> <p>圏域の生産額に占める構成比が最も大きい産業は<u>保健衛生・社会事業であり、次いで卸売・小売業、不動産業が大きく、ともに総額の1割以上を占めている。</u>それ以外では、製造業、建設業などの構成比が大きい。</p>

改訂ビジョン案		旧	新
頁	該当項目	(改訂前)	(改訂案)
		(後略)	(後略)
16	(2) 農林漁業 ○最新データへの更新に伴う文言修正	<p>・(前略)</p> <p>また、圏域内の各地で、1次産業を核とした<u>地域産業クラスター</u>の形成及びプロジェクトの取組が進んでいる。</p>	<p>・(前略)</p> <p>また、圏域内の各地で、1次産業を核とした<u>地域産業クラスター</u>プロジェクトの取組が進んでいる。</p>
20	(3) 製造業 ○最新データへの更新に伴う文言修正等	<p>・<u>2017(平成29)年</u>における業種別の従業者構成比で製造業の構造をみると、圏域全体では食料品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、生産用機械器具製造業における構成比が大きくなっており、特に食料品製造業では2割を超えている。</p> <p>地域別では、嶺北地域を除いて食料品製造業の構成比が大きいほか、製造業の<u>就業者数</u>構成比が大きい物部川地域では生産用機械器具製造業が約2割、<u>電子部品・デバイス・電子回路製造業</u>が約1割であり、<u>仁淀川地域</u>ではパルプ・紙・紙加工品製造業が約4割にのぼる。また、嶺北地域と高幡地域では、木材・木製品製造業と窯業・土石製品製造業の構成比が比較的大きい。</p> <p>(中略)</p> <p>圏域における製造品出荷額等は、2009(平成21)年に大きく落ちこんだものの、2011(平成23)年に増加に転じて以降増加を続けており、特に機械器具製造業で増加している。しかし、従業者数は<u>全ての地域</u>で減少しており、特に電気機械器具製造業での落ち込みが顕著である。</p> <p>多くの地域で一定の集積があり、製造品出荷額等の規模も比較的大きい食料品製造業は、圏域内で一定の<u>就業者規模</u>をもつ農業とつながりが強いいため、地産地消はもちろんのこと、6次産業化やブランド化により外貨を獲得できる産業に育成することが求められる。</p> <p>(後略)</p>	<p>・<u>2018(平成30)年</u>における業種別の従業者<u>数</u>構成比で製造業の構造をみると、圏域全体では食料品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、生産用機械器具製造業における構成比が大きくなっており、特に食料品製造業では2割を超えている。</p> <p>地域別では、嶺北地域を除いて食料品製造業の構成比が大きいほか、製造業の<u>従業者数</u>構成比が大きい物部川地域では生産用機械器具製造業が2割以上、<u>仁淀川地域</u>ではパルプ・紙・紙加工品製造業が4割以上にのぼる。また、嶺北地域と高幡地域では、木材・木製品製造業と窯業・土石製品製造業の構成比が比較的大きい。</p> <p>(中略)</p> <p>圏域における製造品出荷額等は、2009(平成21)年に大きく落ちこんだものの、2011(平成23)年に増加に転じて以降増加を続けており、特に機械器具製造業で増加している。しかし、従業者数は<u>物部川地域を除く地域</u>で減少しており、特に電気機械器具製造業での落ち込みが顕著である。</p> <p>多くの地域で一定の集積があり、製造品出荷額等の規模も比較的大きい食料品製造業は、圏域内で一定の<u>従業者規模</u>をもつ農業とつながりが強いいため、地産地消はもちろんのこと、6次産業化やブランド化により外貨を獲得できる産業に育成することが求められる。</p> <p>(後略)</p>

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
24	(4) 小売業 ○最新データへの更新に伴う文言修正	<p>・小売業の売場面積が2007（平成19）年まで拡大していた一方で、年間商品販売額は1997（平成9）年以降減少を続けており、2014（平成26）年には、売場面積も大きく縮小した。人口減少が進行している地域では、それに伴い商業が衰退することが予想されるため、生活に欠かせない小売業を維持するための取組が必要になると考えられる。</p> <p>一方で、同様に年間商品販売額や売場面積の減少は見られるものの、百貨店をはじめとする大型の商業施設が集積し、かつ県内他地域や県外からの来訪者が多い高知市は、マーケットとしてのポテンシャルを有すると言えるため、高知市の商業基盤を活用し、他地域産品の販売拡大につなげることが期待できる。</p>	<p>・小売業の売場面積は2007（平成19）年以降全ての地域で減少しているが、年間商品販売額は1997（平成9）年以降減少していたものの、2014（平成26）年を底として2016（平成28）年には増加に転じている。2014（平成26）年以降の売場面積の減少と商品販売額の増加という状況からは、店舗数が減少しているものの、1店舗当たりの商品販売額は増加していると推察される。</p> <p>店舗の減少は、人口減少が進行している地域では住民の利便性の低下につながる恐れがあることから、生活に欠かせない小売業を維持するための取組が必要になると考えられる。</p>
40	5 生活関連機能の状況 (2) 介護・障がい者福祉 ○最新データへの更新に伴う文言修正	<p>・圏域内の高齢者人口は増加を続けており、高齢者人口に占める要介護（要支援）認定者の割合も、徐々に上昇しつつある。介護老人福祉施設の定員や職員は増加傾向にあるものの、今後の高齢化の進行により、要介護（要支援）認定者の増加が顕著になれば、介護の受け皿が不足する可能性も生じるため、圏域全体として、介護予防の取組による健康寿命の延伸や、介護が必要になった場合のサービスの確保を図っていくことが求められる。</p> <p>(後略)</p>	<p>・圏域内の高齢者人口は増加を続けており、高齢者人口に占める要介護（要支援）認定者の割合も、2012（平成24）年をピークに一旦減少傾向となったものの、2016（平成28）年からは横ばいとなり、依然として高い傾向にある。介護老人福祉施設の定員や職員は増加傾向にあるものの、今後の高齢化の進行により、要介護（要支援）認定者の増加が顕著になれば、介護の受け皿が不足する可能性も生じるため、圏域全体として、介護予防の取組による健康寿命の延伸や、介護が必要になった場合のサービスの確保を図っていくことが求められる。</p> <p>(後略)</p>
47	III 圏域の将来像と目標 5 成果指標（KPI） (1) 圏域全体の経済成長のけん引 ○KPI（分野）の見直しに伴う修正	<p>(指標・目標値)</p> <p>・製造品出荷額等</p> <p>目標値 <u>6,550億円</u>以上（れんけいこうち） <u>5,810億円</u>以上（連携中枢都市圏）</p>	<p>(指標・目標値)</p> <p>・製造品出荷額等</p> <p>目標値 <u>6,400億円</u>以上（れんけいこうち） <u>5,677億円</u>以上（連携中枢都市圏）</p>

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外観光客入込数 目標値 <u>455 万人</u>以上 (れんけいこうち) 341 万人以上 (連携中枢都市圏) ・ 観光総消費額 目標値 <u>1,324 億円</u>以上 (れんけいこうち) <u>993 億円</u>以上 (連携中枢都市圏) ・ 県外からの移住組数 目標値 <u>1,000 組</u>以上 (れんけいこうち) <u>520 組</u>以上 (連携中枢都市圏) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外観光客入込数 目標値 <u>454 万人</u>以上 (れんけいこうち) 341 万人以上 (連携中枢都市圏) ・ 観光総消費額 目標値 <u>1,246 億円</u>以上 (れんけいこうち) <u>935 億円</u>以上 (連携中枢都市圏) ・ 県外からの移住組数 目標値 <u>1,225 組</u>以上 (れんけいこうち) <u>637 組</u>以上 (連携中枢都市圏)
47	(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 OKPI (分野) の見直しに伴う修正	(指標・基準値・目標値) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ファミリー・サポート・センター設置市町村数</u> 基準値 <u>3 市町</u> (れんけいこうち) <u>3 市町</u> (連携中枢都市圏) 目標値 <u>13 市町村</u> (れんけいこうち) <u>9 市町村</u> (連携中枢都市圏) 	(指標・基準値・目標値) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ファミリー・サポート・センター提供会員数</u> 基準値 <u>486 人</u> (れんけいこうち) <u>486 人</u> (連携中枢都市圏) 目標値 <u>920 人以上</u> (れんけいこうち) <u>840 人以上</u> (連携中枢都市圏)
50	IV 将来像の実現に向けた具体的な取組 ○新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた新設	【見出し】 <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>(新設)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>平成 30 年 4 月に圏域を形成して以降、人口減少・少子高齢化の克服に向け、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の分野において、取組を実施している。</u> <u>令和 2 年に入り、新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、様々な分野に影響が及んでいる。人が集まるイベントやセミナーなどの取組は三密対策を余儀なくされ、取組によっては、延期、中止、手法の変更等の対応をとることとなった。</u>

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
			<p><u>また、断続的な人の往来の制限や様々な活動の自粛など、地域の経済活動は大きなダメージを受け、特に国外からの移動制限により、インバウンド観光や外国客船の入港は皆無に近い状況となった。各市町村は、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び緊急経済対策を最優先に実施しながら、当該ビジョンに登載された事業に取り組んでいる。</u></p> <p><u>このような状況から、令和2年度に各事業について、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた事業内容や事業手法等の見直しを行った。今後についても、社会全体におけるデジタル化、オンライン化の急速な普及等も踏まえながら、状況に応じて臨機応変な対応を図っていく。</u></p>
51	<p>1 圏域全体の経済成長のけん引 (表)</p> <p>○事業統合に伴う修正</p>	<p>(連携して取り組む分野・事業名称)</p> <p>(4) 戦略的な観光施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型船舶寄港誘致・誘客促進事業 ・<u>観光客動態調査事業</u> ・広域観光推進事業 ・インバウンド観光推進事業 ・人工知能(AI)を活用した外国人観光客への対応 <p>(5) その他圏域全体の経済成長のけん引に係る施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等情報発信事業 ・<u>二段階移住PR事業</u> ・二段階移住推進事業 	<p>(連携して取り組む分野・事業名称)</p> <p>(4) 戦略的な観光施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型船舶寄港誘致・誘客促進事業 ・<u>(削除)</u> ・広域観光推進事業 ・インバウンド観光推進事業 ・人工知能(AI)を活用した外国人観光客への対応 <p>(5) その他圏域全体の経済成長のけん引に係る施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等情報発信事業 ・<u>(削除)</u> ・二段階移住推進事業
52	<p>(1) 産学金官民一体となった経済戦略の策定及び国の成長戦略実施のための体制整備</p> <p>れんけいこうち広域都市圏ビジョン</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学金官民の外部有識者で構成する「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」及び圏域市町村の首長及び高知県知事で構成する「れんけいこうち広域都市圏推進会議」を開催・運営し、ビジョ 	<ul style="list-style-type: none"> ・産学金官民の外部有識者で構成する「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」及び圏域市町村の首長及び高知県知事で構成する「れんけいこうち広域都市圏推進会議」を開催・運営し、ビジョ

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
	推進懇談会及びれんけいこうち広域 都市圏推進会議の開催・運営 ○事業統合に伴う修正	ンの進捗管理や広域的な課題の共有，解決に向けた協議を行うとと もに，取組成果の検証やビジョンの見直し作業を適宜実施する。	ンの進捗管理や広域的な課題の共有，解決に向けた協議を行うとと もに，取組成果の検証やビジョンの見直し作業を適宜実施する。 <u>連携事業の実施運営の効率化を図るため，ウェブサイトを活用し て圏域市町村の事業担当者間の情報共有効率化やアドレス帳などの 管理運営を行う。</u> <u>また，圏域内の住民等</u> に取組を広報する。
		【効果】 ・多角的な連携事業の検討及び検証 ・連携事業の充実及び圏域の活性化 ・ <u>(新設)</u> ・ <u>(新設)</u>	・多角的な連携事業の検討及び検証 ・連携事業の充実及び圏域の活性化 ・ <u>効率的な情報共有・情報発信</u> ・ <u>市町村住民への普及啓発</u>
		【役割分担 費用負担等】 (高知市) ・懇談会及び推進会議の開催及び事務局としての運営業務 ・懇談会及び推進会議で出された意見の集約及び総合調整 ・ <u>(新設)</u> ・事業実施に要する費用を負担 (連携市町村) ・懇談会及び推進会議への参加 ・懇談会及び推進会議で出された意見の集約及び調整を支援 ・ <u>(新設)</u> ・ <u>(新設)</u>	(高知市) ・懇談会及び推進会議の開催及び事務局としての運営業務 ・懇談会及び推進会議で出された意見の集約及び総合調整 ・ <u>ウェブサイトの構築・運営管理</u> ・事業実施に要する費用を負担 (連携市町村) ・懇談会及び推進会議への参加 ・懇談会及び推進会議で出された意見の集約及び調整を支援 ・ <u>市町村情報の提供</u> ・ <u>必要に応じて，事業実施に要する費用を負担</u>
		【重要業績評価指標 (K P I)】 (指標・目標値) ・ <u>(新設)</u>	(指標・目標値) ・ <u>ウェブサイトの閲覧件数</u>

改訂ビジョン案		旧	新
頁	該当項目	(改訂前)	(改訂案)
			<u>目標値 4,800 ビュー (れんけいこうち)</u> <u>4,800 ビュー (連携中枢都市圏)</u>
55	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大 地場産品販路拡大推進事業 ○事業内容の一部変更に伴う修正	【重要業績評価指標 (KPI)】 (指標・目標値) ・まるごとにつぼんにおける年間販売額 <u>目標値 800 万円 (れんけいこうち)</u> <u>800 万円 (連携中枢都市圏)</u> ・まるごとにつぼんにおけるパンフレット配布部数 <u>目標値 3,000 部 (れんけいこうち)</u> <u>3,000 部 (連携中枢都市圏)</u>	(指標・目標値) ・ <u>(削除)</u>
57	伝統産業推進事業 ○KPI (事業) の見直しに伴う修正	【重要業績評価指標 (KPI)】 (指標・目標値) ・ウェブサイト閲覧数 <u>目標値 36,000 ビュー (れんけいこうち)</u> <u>36,000 ビュー (連携中枢都市圏)</u>	(指標・目標値) ・ウェブサイト閲覧数 <u>目標値 63,000 ビュー (れんけいこうち)</u> <u>63,000 ビュー (連携中枢都市圏)</u>
—	(4) 戦略的な観光施策 観光客動態調査事業 ○事業統合に伴う修正	【事業】	・ <u>(事業を削除)</u>
60	広域観光推進事業 ○事業統合に伴う修正	【事業概要】 ・ビッグデータを活用した観光客動態調査を基に、ターゲット等に応じた効果的な商品開発やプロモーションを圏域市町村で連携して行う。また、必要に応じて観光資源や受入態勢の整備を行っていく。	・ <u>携帯電話の位置情報ビッグデータを活用し、圏域市町村を訪れる観光客の移動軌跡調査・分析を行うことにより、観光エリアの特徴・課題を把握する。</u> ビッグデータを活用した観光客動態調査を基に、ターゲット等に応じた効果的な商品開発やプロモーションを圏域市町村で連携して行う。また、必要に応じて観光資源や受入態勢の整備を行っていく。

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
		<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新設) ・(新設) ・連携市町村でターゲットを絞った効果的なPR ・観光客及び観光消費額の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の動態分析による潜在観光資源の発掘 ・ターゲットごとの具体的な施策の立案 ・連携市町村でターゲットを絞った効果的なPR ・観光客及び観光消費額の増加
		<p>【事業費（千円）】</p> <p>(2018 (H30))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>3,750</u> <p>(2022 (R4))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>8,943</u> <p>(計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>41,293</u> 	<p>(2018 (H30))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>25,150</u> <p>(2022 (R4))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>28,943</u> <p>(計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>82,693</u>
		<p>【役割分担 費用負担等】</p> <p>(高知市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新設) ・広域観光ルートの研究や設定 ・観光客の受入態勢整備，観光プロモーション ・事業実施に要する費用を負担 <p>(連携市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新設) ・広域観光ルートの研究や設定 ・観光客の受入態勢整備，観光プロモーション ・必要に応じて，事業実施に要する費用を負担 	<p>(高知市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域資源の整理，分析地点選定，動態調査委託</u> ・広域観光ルートの研究や設定 ・観光客の受入態勢整備，観光プロモーション ・事業実施に要する費用を負担 <p>(連携市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域資源の整理，分析地点選定</u> ・広域観光ルートの研究や設定 ・観光客の受入態勢整備，観光プロモーション ・必要に応じて，事業実施に要する費用を負担

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
		<p>【重要業績評価指標 (KPI)】</p> <p>(指標・目標値)</p> <p>・(新設)</p>	<p>(指標・目標値)</p> <p>・旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品掲載数</p> <p><u>目標値 30 商品 (れんけいこうち)</u></p> <p><u>30 商品 (連携中枢都市圏)</u></p>
61	<p>インバウンド観光推進事業</p> <p>○事業内容の一部変更に伴う修正</p>	<p>【事業概要】</p> <p>・外国人観光客に対応するため、外国語対応可能な観光案内所を高知市中心市街地に常設し、専任スタッフによる観光案内及び圏域市町村と連携した観光PR等を行い、周遊促進を図る。</p>	<p>・外国人観光客に対応するため、外国語対応可能な観光案内所を高知市中心市街地に常設し、専任スタッフによる観光案内及び圏域市町村と連携した観光PR等を行い、周遊促進を図る。</p> <p><u>(新型コロナウイルスによる一時的な対応)</u></p> <p><u>外国からの入国制限により外国人観光客の入込が見込めないことから、一時的に観光案内所のメインターゲットを日本人に変更する。</u></p> <p><u>今後、事業内容の変更等に応じてKPIの追加等も検討する。</u></p>
—	<p>(5) その他圏域全体の経済成長のけん引に係る施策</p> <p>二段階移住PR事業</p> <p>○事業統合に伴う修正</p>	<p>【事業】</p>	<p>・(事業を削除)</p>
64	<p>二段階移住推進事業</p> <p>○事業統合及びKPI(事業)の見直しに伴う修正</p>	<p>【事業概要】</p> <p>・高知市を拠点とした二段階移住を推進し、圏域全体への移住・定住の促進を図るために、一段階目の高知市でのお試し移住補助・レンタカー補助、市町村のお試し滞在施設との相互利用、連携した相談体制の充実などに取り組む。</p>	<p>・高知市を拠点とした二段階移住を推進し、圏域全体への移住・定住の促進を図るために、<u>大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象として、二段階移住のPR(ハンドブック作成、ポータルサイトの新設など)に取り組む。</u></p> <p><u>また、一段階目の高知市でのお試し移住補助・レンタカー補助、市町村のお試し滞在施設との相互利用、連携した相談体制の充実などに取り組む。</u></p>

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
		【事業費（千円）】 (2018 (H30)) ・ <u>32,271</u> (2019 (R1)) ・ <u>20,915</u> (2020 (R2)) ・ <u>17,770</u> (2021 (R3)) ・ <u>17,770</u> (2022 (R4)) ・ <u>17,770</u> (計) ・ <u>106,496</u>	(2018 (H30)) ・ <u>55,780</u> (2019 (R1)) ・ <u>42,227</u> (2020 (R2)) ・ <u>41,201</u> (2021 (R3)) ・ <u>41,201</u> (2022 (R4)) ・ <u>41,201</u> (計) ・ <u>221,610</u>
		【役割分担 費用負担等】 (高知市) ・ (新設) ・ (新設) ・ 一段階目の受け皿となるお試し移住，圏域への二段階移住での連携 ・ パンフレット等による市町村の紹介や市町村窓口への案内・引き継ぎ	(高知市) ・ <u>市町村情報の収集</u> ・ <u>二段階移住に関するプロモーションの実施</u> ・ 一段階目の受け皿となるお試し移住，圏域への二段階移住での連携 ・ パンフレット等による市町村の紹介や市町村窓口への案内・引き継ぎ

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に要する費用を負担 <p>(連携市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新設) ・(新設) <ul style="list-style-type: none"> ・高知市内を拠点とする二段階移住希望者に対する移住相談及び支援 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に要する費用を負担 <p>(連携市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村情報の提供 ・二段階移住に関するプロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・高知市内を拠点とする二段階移住希望者に対する移住相談及び支援 ・必要に応じて、事業実施に要する費用を負担
		<p>【重要業績評価指標 (KPI)】</p> <p>(指標・目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新設) <ul style="list-style-type: none"> ・二段階移住パスポート発行部数 目標値 累計 <u>450部</u> (れんけいこうち) 累計 <u>450部</u> (連携中枢都市圏) ・二段階移住組数 目標値 累計 <u>150組</u> (れんけいこうち) 累計 <u>80組</u> (連携中枢都市圏) 	<p>(指標・目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二段階移住新規相談件数 <u>目標値 累計 490件 (れんけいこうち)</u> <u>累計 490件 (連携中枢都市圏)</u> ・二段階移住パスポート発行部数 目標値 累計 <u>185部</u> (れんけいこうち) 累計 <u>185部</u> (連携中枢都市圏) ・二段階移住組数 目標値 累計 <u>60組</u> (れんけいこうち) 累計 <u>32組</u> (連携中枢都市圏)
69	<p>3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 (表)</p> <p>○新規事業化及び事業統合に伴う修正</p>	<p>(連携して取り組む分野・事業名称)</p> <p>(1) 生活機能の強化に係る政策分野</p> <p>カ 地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ・(新設) 	<p>(1) 生活機能の強化に係る政策分野</p> <p>カ 地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 ・体験型地域資源開発・活用事業

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
		(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 エ その他圏域マネジメント能力の強化に係る連携 ・ウェブサイトを活用による情報共有・普及啓発	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 エ その他圏域マネジメント能力の強化に係る連携 ・(削除)
72	(1) 生活機能の強化に係る政策分野 カ 地域振興 ○新規事業化に伴う修正	・(新設)	【事業名】 <u>体験型地域資源開発・活用事業</u> 【連携市町村】 <u>室戸市, 安芸市, 東洋町, 奈半利町, 田野町, 安田町, 芸西村, 南国市, 香南市, 香美市, 本山町, 大豊町, 土佐町, 大川村, 土佐市, いの町, 仁淀川町, 佐川町, 越知町, 日高村, 梶原町, 津野町, 四万十町, 土佐清水市, 四万十市, 大月町, 三原村, 黒潮町</u> 【事業概要】 <u>・地域の資源(自然・文化・食や, 事業者・住民の技術等)をコンテンツ化する方法を地域住民が習得・実践する機会(セミナーやワークショップ等)の提供及び体験型プログラム等の実施により, 地域振興及び交流人口拡大を目指す。</u> 【効果】 <u>・地域資源のコンテンツ化ノウハウの習得</u> <u>・交流人口の拡大</u> <u>・収入源や生きがいの創出</u> 【事業費(千円)】 <u>(2020 (R2))</u> <u>・5,911</u>

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
			<u>(2021 (R3))</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>22, 209</u> <u>(2022 (R4))</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>22, 209</u> <u>(計)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>50, 329</u> <u>【役割分担 費用負担等】</u> <u>(高知市)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>事業全体のPR</u> ・ <u>体験型イベントのPR</u> <u>(連携市町村)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>地域資源開発 (セミナー・ワークショップ等)</u> ・ <u>体験型イベントの実施, PR</u> ・ <u>体験型イベントのPR</u> ・ <u>事業実施に要する費用を負担</u> <u>【重要業績評価指標 (KPI)】</u> <u>(指標・目標値)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>実施プログラム数</u> <ul style="list-style-type: none"> <u>目標値 累計 300 件 (れんけいこうち)</u> <u>累計 300 件 (連携中枢都市圏)</u>

改訂ビジョン案		旧 (改訂前)	新 (改訂案)
頁	該当項目		
			<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施エリア外からの参加割合 <p>目標値 <u>70% (れんけいこうち)</u></p> <p><u>70% (連携中枢都市圏)</u></p>
74	ク 環境 水道事業広域実施 (人材育成等) OKPI (事業) の見直しに伴う修正	【重要業績評価指標 (KPI)】 (指標・目標値) ・高知市職員研修への参加者数 目標値 <u>累計 80 人 (れんけいこうち)</u> <u>累計 60 人 (連携中枢都市圏)</u>	(指標・目標値) ・高知市職員研修への参加者数 目標値 <u>累計 127 人 (れんけいこうち)</u> <u>累計 80 人 (連携中枢都市圏)</u>
—	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 エ その他圏域マネジメント能力の強化に係る連携 ウェブサイトの活用による情報共有・普及啓発 ○事業統合に伴う修正	【事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・(事業を削除)

2 図表データ

頁	図表番号・タイトル	改訂内容
11	Ⅱ－7 自然増減の推移	・最新のデータに更新
12	Ⅱ－8 年齢5歳階級別の転出入の状況（2015（平成27）年～2020（令和2）年平均）	・最新のデータに更新予定
13	Ⅱ－10 移住組数の推移（地域別）	・最新のデータに更新
14	Ⅱ－11 経済活動別総生産の推移	
17	Ⅱ－16 圏域における主な1次産業産品	・市町村への照会に基づき更新
18	Ⅱ－17 第1次産業を核とした地域産業クラスターに関する取組の状況	・最新のデータに更新
20	Ⅱ－18 製造業の業種別従業者数の構成比（地域別・2018（平成30）年）	
21	Ⅱ－19 圏域における主な2次産業産品	・市町村への照会に基づき更新
22	Ⅱ－20 製造業の産業別製造品出荷額等の推移	・最新のデータに更新
	Ⅱ－21 製造業の業種別従業者数の増減数（地域別・2004（平成16）年→2018（平成30）年）	
23	Ⅱ－22 製造業の主要業種別従業者数の変化（地域別）	
24	Ⅱ－23 地域別小売業の年間商品販売額の推移	
	Ⅱ－24 地域別小売業の売場面積の推移	
25	Ⅱ－25 県全体の売場面積に占める市町村別売場面積の構成比（2016（平成28）年）	
	Ⅱ－26 主な大型商業施設（店舗面積5,000㎡以上）	
26	Ⅱ－27 県外からの観光入込客数及び県外観光客の総消費額の推移	・最新のデータに更新予定
27	Ⅱ－28 観光施設利用実績の推移	
	Ⅱ－29 発地ブロック別県外観光入込客数構成比の推移	
28	Ⅱ－30 日帰り／宿泊別県外観光入込客数構成比の推移	
	Ⅱ－31 圏域内の主要な観光資源	
30	Ⅱ－32 産業支援機関等の状況	・最新のデータに更新
34	Ⅱ－35 高規格道路の整備状況	・最新のデータに更新予定
	Ⅱ－36 広域公共交通の状況	・最新のデータに更新
35	Ⅱ－37 大学の立地と学生数の状況（2020（令和2）年）	
36	Ⅱ－38 主な文化・スポーツ施設	・市町村への照会に基づき更新
41	Ⅱ－40 介護を必要としている高齢者の割合	・最新のデータに更新

頁	図表番号・タイトル	改訂内容
41	Ⅱ－41 介護老人福祉施設等の状況	・最新のデータに更新
42	Ⅱ－42 障害者支援施設等の状況	
43	Ⅱ－44 圏域における南海トラフ地震対策の全体イメージ	
	Ⅱ－45 総合防災拠点等の立地状況	

れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会委員名簿

参考資料 I

(敬称略)

No.	分野	所属	役職	氏名
1	商工業	高知県商工会議所連合会	専務理事	すぎもと まさとし 杉本 雅敏
2	商工業	高知県商工会連合会	専務理事	かめい ひでひこ 亀井 秀彦
3	防災	国立大学法人 高知大学	防災推進センター 副センター長	はら ただし 原 忠
4	大学等	国立大学法人 高知大学	理事	うけだ ひろゆき 受田 浩之
5	大学等	高知県公立大学法人 高知県立大学	副学長	いおろい たかひろ 五百藏 高浩
6	大学等	高知県公立大学法人 高知工科大学	学長特別補佐 (教育担当)	ちやうの しげおみ 蝶野 成臣
7	金融機関	株式会社 四国銀行	地域振興部 部長	にしむら じゅんこ 西村 純子
8	金融機関	株式会社 高知銀行	地域連携ビジネスサポート部長 (兼) 農林水産支援室長	かわぶち たかし 川 渕 孝
9	医療・福祉	一般社団法人 高知県医師会	副会長	のなみ せいじ 野 並 誠二
10	医療・福祉	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	会長	たむら そうじ 田村 壮児
11	交通・観光	とさでん交通株式会社	常務取締役	みょうじん こうへい 明神 公平
12	観光	公益財団法人 高知県観光コンベンション協会	専務理事	おかばやし ひでのり 岡林 秀典
13	移住・定住	南国生活技術研究所	代表	くろささ やすし 黒笹 慈幾
14	行政	高知県	総務部長	いのうえ ひろゆき 井上 浩之

れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会設置要綱を次のように定める。

平成30年7月9日

高知市長 岡崎 誠也

れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会設置要綱

(設置)

第1条 れんけいこうち広域都市圏（本市と高知県内の他の市町村が地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づく連携協約（以下「連携協約」という。）を締結して形成する広域都市圏をいう。）の目指す将来像及び連携協約に基づき実施する具体的な取組等について定めたれんけいこうち広域都市圏ビジョン（以下「ビジョン」という。）の推進及び改訂に当たり、民間、地域等の関係者による協議又は懇談を行うため、れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会（以下「懇談会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について協議又は懇談を行うものとする。

- (1) ビジョンの内容に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、ビジョンに関し市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 懇談会は、市長が委嘱する委員15人以内をもって組織する。

(座長及び副座長)

第4条 懇談会に座長及び副座長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 座長は、会務を総理する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を行う。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(会議)

第6条 懇談会の会議は、市長が必要に応じて招集し、座長が議長となる。

- 2 委員は、事故その他やむを得ない理由により懇談会の会議に出席できないときは、あらかじめ市長の承認を得て、代理人を出席させることができる。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、総務部政策企画課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成30年7月9日から施行する。

令和2年度第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会 出席者名簿

1 懇談会委員

所属	役職	氏名
高知県商工会議所連合会	専務理事	杉本 雅敏
国立大学法人 高知大学	理事	受田 浩之
高知県公立大学法人 高知県立大学	副学長	五百藏 高浩
高知県公立大学法人 高知工科大学	学長特別補佐（教育担当）	蝶野 成臣
株式会社 四国銀行	地域振興部部长	西村 純子
一般社団法人 高知県医師会	副会長	野並 誠二
とさでん交通株式会社	常務取締役	明神 公平
南国生活技術研究所	代表	黒笹 慈幾
高知県	総務部長	井上 浩之

（代理出席）

所属	役職	氏名
株式会社 高知銀行	地域連携ビジネスサポート部 主任業務役	伊藤 泰彦

（欠席）

所属	役職	氏名
高知県商工会連合会	専務理事	亀井 秀彦
国立大学法人 高知大学	防災推進センター 副センター長	原 忠
社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	会長	田村 壮児
公益財団法人 高知県観光コンベンション協会	専務理事	岡林 秀典

令和2年度第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会 出席者名簿

2 自治体関係者

自治体名	所属	役職	氏名
高知県	総務部市町村振興課	課長	梅 森 実
	総務部市町村振興課	チーフ	坂 本 桂
	総務部市町村振興課	主査	谷 口 任 史
	産業振興推進部計画推進課	企画監	太 郎 田 弘 志
	産業振興推進部	地域産業振興監（高知市地域担当）	松 下 和 清
	産業振興推進部	地域産業振興監（安芸地域担当）	鍵 山 匡 彦
	産業振興推進部	地域産業振興監（仁淀川地域担当）	廣 瀬 成 典
	産業振興推進部	地域産業振興監（高幡地域担当）	森 田 健 嗣
高知市	—	市長	岡 崎 誠 也
	—	副市長	中 澤 慎 二
	総務部	部長	森 田 洋 介
	総務部	政策担当理事市長公室長事務取扱	林 充
	総務部	副部長	加 藤 勝 巳
	総務部	総務部参事政策企画課長事務取扱	西 成 英 丈
	総務部市長公室政策企画課	課長補佐兼地方創生・れんけいこうち広域都市圏推進室長	大 宮 剛 夫
	総務部市長公室政策企画課	地方創生・れんけいこうち広域都市圏推進担当係長	岸 田 執 和
	総務部市長公室政策企画課	主査	木 下 里 佳 子
	総務部市長公室政策企画課	主査	濱 田 貴 大
	総務部市長公室地域活性化推進課	課長補佐兼移住・定住促進室長	森 田 加 奈 子
	防災対策部	副部長	有 澤 聡
	防災政策部防災政策課	課長補佐	植 田 耕 太 郎
	財務部	副部長	澤 村 素 志
	健康福祉部健康福祉総務課	地域共生社会推進室長	川 田 智 恵
	こども未来部	副部長	中 城 純 一
	こども未来部子ども育成課	課長補佐	安 松 久 恵
	商工観光部	副部長商工振興課長事務取扱	山 脇 弘 道
	商工観光部産業政策課	課長補佐	吉 本 忠 邦
	商工観光部商工振興課	課長補佐兼中心市街地・地域商業活性化推進室長	水 野 知 宣
商工観光部観光振興課	課長補佐	古 谷 直 己	
農林水産部	副部長	宮 地 邦 彦	
農林水産部農林水産課	課長補佐	尾 崎 美 世	
上下水道局	次長	植 田 浩 二	
上下水道局企画財務課	課長補佐	大 杉 奈 見	
教育委員会図書館・科学館課	課長補佐兼高知みらい科学館副館長	弘 田 加 代	
室戸市	企画財政課	課長	辻 さ お り
	企画財政課	課長補佐	福 留 裕 治
安芸市	企画調整課	主事	山 岡 遥
東洋町	総務課	課長	大 坪 靖 幸
田野町	総務課	課長補佐	西 山 司
南国市	企画課	課長	松 木 和 哉
		課長補佐	森 本 拓 也
		企画調整係長	小 野 佑 希 子
香美市	企画財政課	班長	西 村 安 史
土佐町	企画推進課	企画調整係長	尾 崎 康 隆
大川村	総務課	課長	近 藤 淳
土佐市	改革推進課	主事	井 上 健 太 郎
いの町	総合政策課	課長補佐兼企画調整係長	竹 崎 友 紀
越知町	企画課	係長	三 橋 公 平
		主幹	松 田 ゆ り え
須崎市	企画政策課	係長	山 崎 多 恵 子
中土佐町	まちづくり課	課長補佐	市 川 伸
梶原町	企画財政課	課長	橋 田 淳 一
津野町	企画調整課	課長補佐	橋 田 佐 智
宿毛市	企画課	主事	中 山 絢 可
土佐清水市	企画財政課	課長補佐	池 正 澄
三原村	地域振興課	係長	岡 野 太 朗